

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

2018 年

(2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 30 日)

2018 年は風しんの大きな流行がありました。16 週から 29 週にかけては週に 1～2 人の散発的な報告数でしたが、30 週には 4 人となりその後増加を続け 42 週には 91 人とピークとなり以降は減少したものの、週当たり 20～30 人の報告が続いています。2018 年は合計で 947 人の報告数になり、2008 年に定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更されて以降 2013 年の 3,445 人に次ぐ大きな流行となりました。10 月 22 日には米国疾病予防管理センター（CDC）から予防接種や過去の感染歴がない妊婦は日本に渡航しないよう勧告がなされました。患者は男性の 20 歳代から 50 歳代が多く、最も多かったのは 40 歳代の男性でした。2013 年の流行時でも最も多かったのは 30 歳代後半の男性であったことからこの年代とその前後の予防接種を受けていない男性を中心に今後も流行が継続してゆく恐れがあり、抗体検査とワクチン接種の重点的な対応がとられることとなりました。

また、10 月から 12 月にかけて都内の保育園などで合計 3 件の赤痢の集団発生がありました。いずれも園児に加え、職員あるいは保護者にも感染がみられました。最も規模が大きいのものでは園児 28 人、職員 4 人、保護者 4 人の感染者が出ています。3 事例とも起因菌はソルネ菌でした。近年細菌性赤痢が重症化することは少なくなっていますが感染力が非常に強く特に乳幼児等が集団生活をする施設では十分な注意が必要です。

2018 年の梅毒の報告数は 1,775 人で、2017 年の 1,788 人と比較してまだ増加に歯止めがかからない状況です。特に全国の集計では 2017 年の 5,826 人に対して 2018 年は 7,001 人と増加中です。このためなお一層の対策が求められています。

本年も報告書を取りまとめることが出来ました。調査事業にご協力いただいた定点医療機関の先生方と関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。またご指導いただきました東京都医師会の川上一恵理事、副委員長の岡部信彦、萩原温久の両先生を始めとする検討委員会の諸先生方、円滑な委員会運営にご尽力いただいた事務局の皆様に厚く感謝をいたします。

令和元年 7 月

東京都感染症予防検討委員会
前委員長 長岡常雄

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たし、内科定点は疑似症定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2018 年 12 月 31 日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (14)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症単独定点 (2)	24	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において報告基準を満たす患者が発生した場合に、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に送付する（疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する）。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）は、保健所か

らの情報を確認後、国へ送信する。

(4) 情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>) で公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第4木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近2か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

2 本年(2018年)の概況

(1) 一～四類、五類(全数把握対象)

百日咳が2018年1月1日より、五類定点把握対象疾患から五類全数把握対象疾患に変更となった。また、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)が5月1日より五類全数把握対象疾患に追加された。

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：2018年は届出がなかった。

細菌性赤痢：109件の届出があった。菌種は *sonnei* 96件、*flexneri* 9件、*boydii* 1件、*dysenteriae* 1件、不明2件であった。推定感染地は国内68件、国外40件、国内又は国外1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：466件の届出があった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が163件、O157 VT2 が119件、その他の O157 が28件、O26 VT1 が29件、O111 VT1 が15件等であった。症状別では患者327人(うちHUS 8人)、無症状病原体保有者139人で、推定感染地は国内396件、国外14件、国内又は国外2件、不明54件であった。

腸チフス：11件の届出があった。

パラチフス：10件の届出があった。

エ 四類感染症

E型肝炎：101件の届出があった。推定感染地は国内82件、国外5件、国内又は国外3件、不明11件であった。

A型肝炎：421件の届出があり、2003年以来最多となった。推定感染地は国内370件、国外18件、国内又は国外4件であった。推定感染経路は、経口感染94件、性的接触241件、経口感染又は性的接触31件、その他1件、不明54件であった。

オウム病：2件の届出があった。

Q熱：2件の届出があった。推定感染地はいずれも国外であった。

つつが虫病：12件の届出があった。推定感染地はいずれも国内（都内10件、千葉県2件）であった。

デング熱：61件（デング出血熱はなし）の届出があった。推定感染地はすべて国外であった。

ボツリヌス症：1件の届出があった。

マラリア：14件の届出があり、熱帯熱マラリア13件、不明1件であった。

ライム病：1件の届出があり、推定感染地は国外であった。

類鼻疽：1件の届出があり、推定感染地は国外であった。

レジオネラ症：164件の届出があった。病型は肺炎型158件、ポンティアック熱型6件で、死亡例が2人あった。推定感染地は国内144件、国外5件、国内又は国外1件、不明14件であり、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは28件だった。

レプトスピラ症：5件の届出があった。推定感染地は国内4件、国外1件であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢：163件の届出があった。腸管アメーバ症153件、腸管外アメーバ症8件、腸管及び腸管外アメーバ症2件であった。推定感染地は国内108件、国外29件、国内又は国外4件、不明22件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）：69件の届出があった。B型肝炎58件、C型肝炎10件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：233件の届出があった。推定感染地は国内212件、国外5件、不明16件であった。

急性弛緩性麻痺：8件の届出があった。推定感染地は国内7件、不明1件であった。

急性脳炎：65件の届出があった。病原体はインフルエンザウイルス23件、ヒトヘルペスウイルス3件、アデノウイルス2件、エンテロウイルス2件、ロタウイルス、単純ヘルペスウイルス、RSウイルス、ノロウイルス、肺炎球菌各1件、不明30件であった。

クリプトスポリジウム症：3件の届出があった。

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）：25件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型CJD22件、孤発性プリオン病・その他2件、遺伝性プリオン病・家族性CJD1件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症：87件の届出があり、過去10年で最も多い届出数となった。血清群別では、A群37件、B群14件、F群1件、G群34件、不明1件であった。19人の死亡例が報告された。

後天性免疫不全症候群：422件の届出があり、AIDS患者71人、HIV感染者351人（指標疾患以外の有症者61人、無症候性キャリア290人）であった。推定感染地は国内349件、国外22件、国内又は国外3件、不明48件であった。推定感染経路は、性的接触378件（同性間306件、異性間57件、両性間8件、不明7件）、静注薬物使用1件、2経路以上2件、不明41件であった。

ジアルジア症：19件の届出があった。推定感染地は国内8件、国外10件、国内又は国外1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症：40件の届出があった。血清型はf型2件、型別不明30件、検査未実施8件であった。Hibワクチン接種歴は、4回接種が2件、3回接種が4件、1回接種が1件のほ

か、接種なし5件、不明28件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症：6件の届出があった。血清群はY群3件、不明3件であった。推定感染地はすべて国内で、ワクチン接種歴は、なし2件、不明4件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症：401件の届出があった。死亡例は25人報告された。ワクチン接種歴は4回接種41件、3回接種19件、2回接種7件、1回接種53件、接種歴なし145件、接種歴不明136件であった。

水痘（入院例）：61件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内56件、国外2件、不明3件であった。

梅毒：1,775件の届出があった。早期顕症梅毒Ⅰ期555件、早期顕症梅毒Ⅱ期717件、晩期顕症梅毒30件、無症候472件、先天梅毒1件であった。

播種性クリプトコックス症：18件の届出があった。推定感染地は国内17件、不明1件であった。

破傷風：8件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：7件の届出があった。耐性遺伝子型はvanB3件、vanM1件、不明3件であった。

百日咳：届出は2,434件であった。百日咳含有ワクチン接種歴は、4回1,421件、3回89件、2回13件、1回25件、なし120件、不明766件であった。

風しん：届出は947件であった。検査診断例923件（うちPCR陽性例は515件）、臨床診断例24件であった。

麻しん：23件の届出があった。検査診断例17件、臨床診断例1件、修飾麻しん5件であった。推定感染地は国内12件、国外7件、国内または国外1件、不明3件であった。PCR検査で麻しんウイルスが確認された21件の遺伝子型別はD8型19件、B3型1件、H1型1件であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：4件の届出があった。

五類感染症のうち先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

（2）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2017年と比較して10%以上報告数が減少した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎の5疾患であった。定点当たりの報告数が前年並みであった疾患はインフルエンザ、A群溶血レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発しん、不明発しん症、川崎病の6疾患であった。定点当たりの報告数が前年と比べ10%以上増加した疾患は伝染性紅斑、ヘルパンギーナの2疾患であった。

【前年比減少疾患】

RSウイルス感染症：2018年の報告数は7,830人、定点当たり30.49人であった。定点当たりの当年/前年比は0.88であった。

咽頭結膜熱：2018年の報告数は4,671人、定点当たり17.96人であった。定点当たりの当年/前年比は0.64であった。

水痘：2018年の報告数は4,515人、定点当たり17.35人であった。定点当たりの当年/前年比は0.88であった。

手足口病：2018年の報告数は8,452人、定点当たり32.65人であった。定点当たりの当年/前年比は0.25であった。

流行性耳下腺炎：2018年の報告数は1,246人、定点当たり4.79人であった。定点当たりの当年/前年比は0.43であった。

【前年並みであった疾患】

インフルエンザ：2018年の報告数は137,262人、定点当たり331.57人であった。定点当たりの当年/前年比は1.06であった。

A群溶血レンサ球菌咽頭炎：2018年の報告数は32,120人、定点当たり123.25人であった。定点当たりの当年/前年比は1.05であった。

感染性胃腸炎：2018年の報告数は79,282人、定点当たり304.52人であった。定点当たりの当年/前年比は0.93であった。

突発性発しん：2018年の報告数は6,771人、定点当たり26.05人であった。定点当たりの当年/前年比は0.96であった。

不明発しん症：2018年の報告数は1,073人、定点当たり4.14人であった。定点当たりの当年/前年比は0.98であった。

川崎病：2018年の報告数は214人、定点当たり0.82人であった。定点当たりの当年/前年比は1.04であった。

【前年比増加疾患】

伝染性紅斑：2018年の報告数は10,733人、定点当たり41.36人であった。定点当たりの当年/前年比は8.21であった。

ヘルパンギーナ：2018年の報告数は8,188人、定点当たり32.01人であった。定点当たりの当年/前年比は1.21であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：報告数は14人、定点当たり0.37人だった。2018年は過去5年間の定点当たり報告数とほぼ同等（定点当たり0.28～0.37人）だった。

流行性角結膜炎：報告数は1,060人、定点当たり28.22人だった。過去3年間は定点当たり30人を超えていたが、2018年はやや減少した。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2018年の報告数は32人、定点当たり1.28人であった。定点当たりの当年/前年比は0.78であった。

無菌性髄膜炎：2018年の報告数は33人、定点当たり1.32人であった。定点当たりの当年/前年比は0.85であった。

マイコプラズマ肺炎：2018年の報告数は230人、定点当たり9.20人であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2018年の報告数は40人、定点当たり1.60人であった。定点当たりの当年/前年比は0.87であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2018年の報告数は110人、定点当たり4.40人であった。定点当たりの当年/前年比は0.47であった。

インフルエンザ入院：2018年の報告数は1,113人、定点当たり44.52人であった。定点当たりの当年/前年比は1.23であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2018年の報告数は804人、定点当たり32.16人であった。定点当たりの当年/前年比は0.91であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2018年の報告数は102人、定点当たり4.08人であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2018年の報告数は9人、定点当たり0.36人であった。定点当たりの当年/前年比は3.00であった。

オ 性感染症

2018年における東京都の年間患者報告数で前年より増加が認められた性感染症は、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、膣トリコモナス症であった。膣トリコモナス症を除いて、他の性感染症は女性より男性が多く届け出がなされていた。

性器クラミジア感染症：報告数は2,551人、定点当たり46.46人であった。男性の報告数は1,422人、定点当たり25.90人（前年比1.09）、女性の報告数は1,129人、定点当たり20.56人（前年比1.14）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数は1,037人、定点当たり18.88人であり、男性の報告数は674人、定点当たり12.27人（前年比0.74）、女性の報告数は363人、定点当たり6.61人（前年比0.99）であった。

尖圭コンジローマ：報告数は1,051人、定点当たり19.14人であり、男性の報告数は740人、定点当たり13.47人（前年比1.07）、女性の報告数は311人、定点当たり5.99人（前年比1.00）であった。

淋菌感染症：報告数は1,104人、定点当たり20.11人であり、男性の報告数は818人、定点当たり14.90人（前年比0.99）、女性の報告数は286人、定点当たり5.21人（前年比1.01）であった。

膣トリコモナス症：報告数は128人、定点当たり2.33人で昨年に比べ報告数は18人増加した。男性の報告数は6人、定点当たり0.11人（前年比3.00）、女性の報告数は122人、定点当たり2.22人（前年比1.13）であった。

（3）疑似症（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

摂氏38℃以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）は3人、発熱及び発しん又は水疱は4人報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数)

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
二類	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,874	2,671	2,533	2,306	2,340	2,213	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 *10	/	/	-	-	-	-	-
三類	鳥インフルエンザ(H5N1) *1	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) *7	/	-	-	-	-	-	-
	コレラ	-	-	3	1	2	2	-
	細菌性赤痢	75	36	41	53	40	34	109
	腸管出血性大腸菌感染症	258	382	362	335	452	467	466
四類	腸チフス	13	23	27	14	18	8	11
	パラチフス	11	20	8	9	8	6	10
	E型肝炎	21	32	27	39	37	57	101
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	35	19	38	39	65	65	421
四類	エキノкокクス症	1	-	-	1	-	1	-
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	2	3	-	2	-	2
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	1	-	-	-	-	2	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	3	-	-	-	-	2
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	1	4	-	2	2	1	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症 *11	/	/	/	/	3	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 *4	/	-	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 *2	3	4	5	7	4	3	-
	つつが虫病	19	12	18	14	7	13	12
	デング熱	56	66	163	92	90	65	61
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	1	-	1	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	4	2	1	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	-	1	2	1

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
四 類	マラリア	24	12	27	16	18	27	14
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	7	2	2	-	1	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	1	-	1	-	1	1
	レジオネラ症	60	80	107	153	143	159	164
	レプトスピラ症	6	6	6	10	7	9	5
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	198	187	229	205	222	219	163
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	60	72	48	53	69	67	69
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*8	/	/	56	236	190	212	233
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)*13	/	/	/	/	/	/	8
	急性脳炎	33	46	52	47	85	74	65
	クリプトスポリジウム症	2	7	82	3	2	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	18	19	17	24	16	19	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23	37	41	62	65	72	87
	後天性免疫不全症候群	461	469	512	435	464	464	422
	ジアルジア症	16	22	15	19	17	24	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*5	/	12	22	29	46	56	40
	侵襲性髄膜炎菌感染症*5	/	11	9	8	5	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症*5	/	124	225	323	356	390	401
	水痘(入院例)*8	/	/	11	55	56	55	61
	髄膜炎菌性髄膜炎*6	-	-	/	/	/	/	/
	先天性風しん症候群	-	13	3	-	-	-	-
	梅毒	297	419	507	1,044	1,673	1,788	1,775
	播種性クリプトコックス症*8	/	/	4	11	20	15	18
	破傷風	5	4	10	2	4	9	8
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	10	8	6	2	2	8	7	
百日咳*12	/	/	/	/	/	/	2,434	
風しん*3	672	3,445	99	33	19	22	947	
麻しん*3	84	69	94	10	22	28	23	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*9	/	/	3	13	1	6	4	

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2003年11月5日より四類(全数把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった後、2013年4月1日より届出対象から除外。

*7 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*8 2014年9月19日より追加指定。

*9 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*10 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*11 2016年2月15日より追加指定。

*12 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*13 2018年5月1日より追加指定。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のラクダ*1							
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
小児科定点数	150	150	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	290	290	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	142,140 495.53	12,614 43.97	99,940 240.03	135,064 323.29	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57
RSウイルス感染症*1	845 5.73	2,153 14.52	3,628 13.94	6,349 24.51	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49
咽頭結膜熱	1,339 9.07	1,979 13.37	4,936 18.95	5,510 21.20	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	10,058 68.03	11,231 75.80	25,487 97.66	25,224 96.60	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25
感染性胃腸炎	37,599 254.50	63,372 427.41	95,910 367.56	118,967 455.28	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52
水痘	7,079 47.94	9,472 63.93	15,679 60.11	12,995 49.75	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35
手足口病	3,426 23.36	6,257 42.52	24,786 95.84	5,411 20.90	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65
伝染性紅斑	1,558 10.54	2,929 19.79	6,317 24.23	1,626 6.23	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36
突発性発しん	4,463 30.24	4,397 29.74	8,447 32.44	8,547 32.85	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05
百日咳	225 1.53	506 3.42	450 1.73	286 1.10	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44	
ヘルパンギーナ	2,574 17.63	8,400 57.06	14,431 55.78	13,548 52.28	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01
流行性耳下腺炎	5,175 35.05	5,154 34.87	4,488 17.23	3,089 11.88	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79
不明発しん症*2	657 4.48	622 4.21	1,506 5.78	1,400 5.40	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14
川崎病*2	71 0.48	89 0.60	217 0.83	177 0.68	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82

*1 2003年45週より実施

*2 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	53 1.37	74 1.91	31 0.84	19 0.50	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37
流行性角結膜炎	703 18.28	951 24.60	842 22.73	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28
無菌性髄膜炎	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32
マイコプラズマ肺炎	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60
感染性胃腸炎*1 (ロタウイルスによる)					22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40
インフルエンザ入院*2			12 0.48	610 24.40	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,290 54.44	1,312 55.36	1,136 46.67	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	552 23.30	635 26.77	596 24.55	440 17.72	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08
薬剤耐性緑膿菌感染症	22 0.93	26 1.10	37 1.52	24 0.97	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36
薬剤耐性アシネト* バクター感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00				

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,295 42.51	2,376 44.07	2,426 44.37	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46
性器ヘルペスウイルス感染症	954 17.69	1,194 22.15	1,236 22.60	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88
尖圭コンジローマ	727 13.47	842 15.62	837 15.31	877 16.17	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14
淋菌感染症	950 17.61	1,067 19.81	1,212 22.15	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11
膣トリコモナス症*	138 2.55	150 2.78	136 2.49	129 2.38	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33
梅毒様疾患*	94 1.74	83 1.54	117 2.14	120 2.21	136 2.53	135 2.50	221 4.05			

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(疑似症定点)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	315	315	443	443	443	443	443	443	443	443
発熱及び呼吸器症状*	147	20	9	10	38	147	126	49	26	3
発熱及び発しん・水疱*	6	9	4	15	16	20	21	5	3	4

* 2008年7月より実施

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

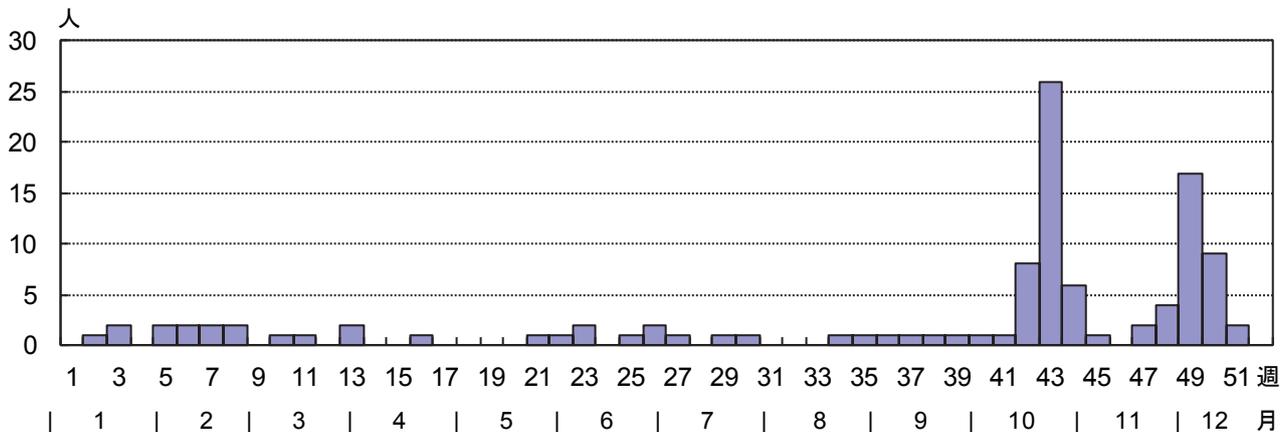
2018年は届出がなかった。

② 細菌性赤痢

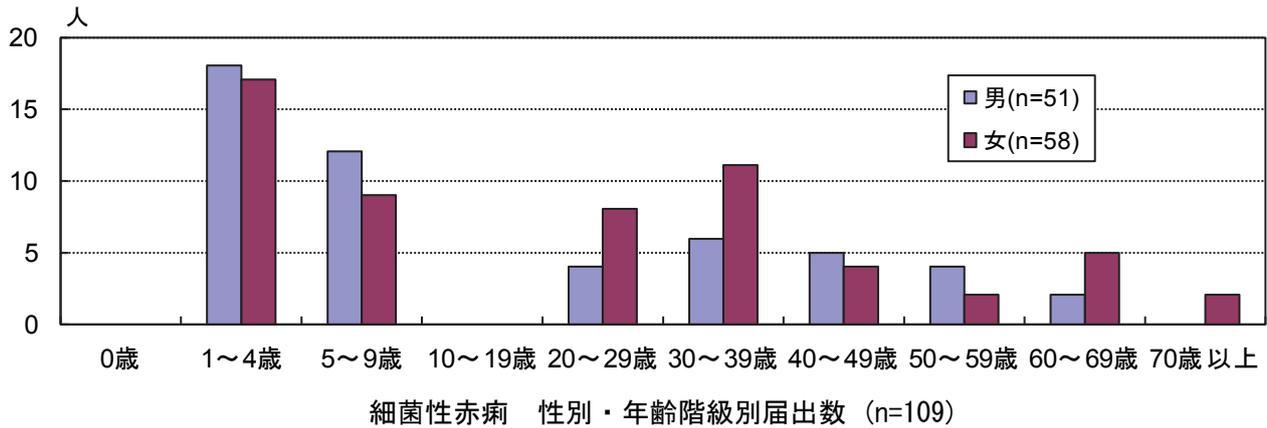
2018年は109件の届出があった。菌種は *sonnei* 96件、*flexneri* 9件、*boydii* 1件、*dysenteriae* 1件、不明2件であった。特に10～12月に集団事例の発生に伴い増加した。性別は男性51人、女性58人で、年齢階級別では10歳未満56人（うち5歳未満35人）、20～29歳12人、30～39歳17人、40～49歳9人、50～59歳6人、60～69歳7人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内68件、国外40件（フィリピン5件、インド4件、中国、モロッコ、米国各3件、カンボジア、エチオピア、インドネシア各2件、マレーシア、ミャンマー、スリランカ、ケニア、ボツワナ、ポリビア、ペルー各1件、二か国以上9件）、国内又は国外（タイ）1件であった。

症例の集積は、第42～45週に保育園関係が36人、第48～51週にこども園関係で26人、第50～51週に保育園関係が5人であった。



細菌性赤痢 週別届出数 (n=109)



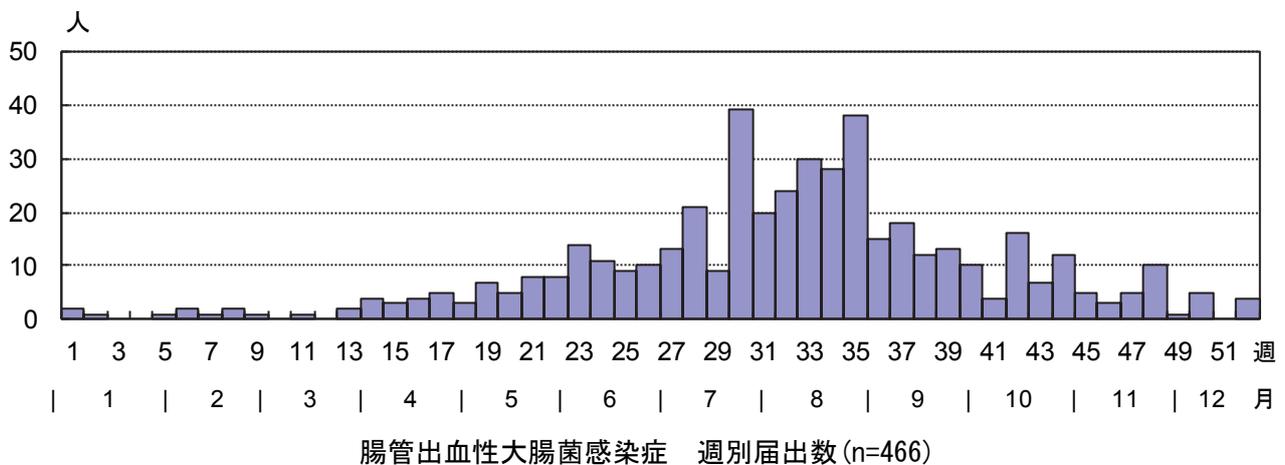
③ 腸管出血性大腸菌感染症

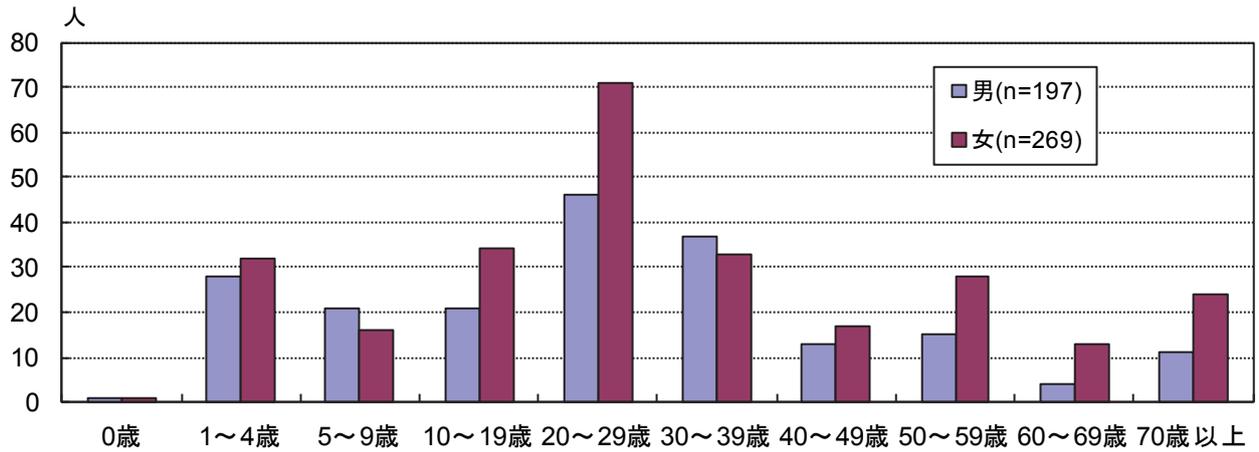
2018年は466件の届出があった。症状別では患者327人、無症状病原体保有者139人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に7~8月に集団事例の発生に伴い増加した。性別は男性197人、女性269人で、年齢階級別では10歳未満99人（うち5歳未満62人）、10~19歳55人、20~29歳117人、30~39歳70人、40~49歳30人、50~59歳43人、60~69歳17人、70歳以上35人であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が163件で最多であった。

推定感染地は国内396件、国外14件（韓国3件、中国、ベトナム、インドネシア各2件、UAE、フィリピン、ペルー、マルタ、ロシア各1件）、国内又は国外（韓国、フィリピン各1件）2件、不明54件であった。

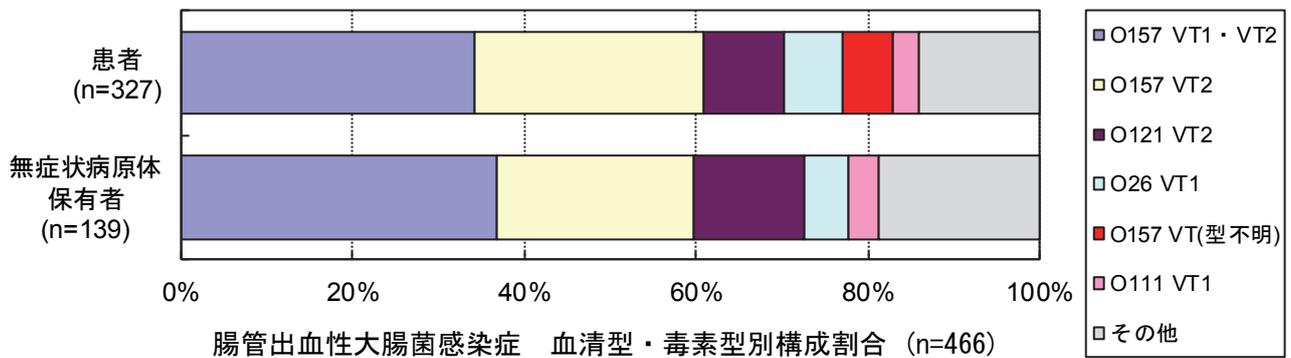
症例の集積は、第27~29週にO157 VT2による焼肉店関連が13人、第29~31週にO121 VT2による保育園関連が28人、35週にO157 VT1・VT2によるホテル関連が16人あった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明している者は8人おり、内訳は10歳未満5人（うち5歳未満3人）、10歳代2人、70歳代1人であった。





腸管出血性大腸菌感染症 性別・年齢階級別届出数 (n=466)



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別構成割合 (n=466)

腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=466)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O8	VT2	1	O125	VT1	1
	VT1	29		VT1	2
O26	VT2	1	O128	VT2	1
	不明	4	O145	VT2	2
O63	VT1	1		VT1	7
O63, O157	VT1・VT2	1		VT2	119
O78	VT1	1	O157	VT1・VT2	163
O91	VT1	1		VT1とVT2	1
	VT1	7		VT1・VT2とVT2	1
O103	不明	2		不明	19
	VT1	15		VT1	10
O111	VT1・VT2	1		VT2	13
	不明	2	不明	VT1・VT2	7
O115	VT1	1		不明	4
O121	VT2	49			

溶血性尿毒症症候群発症例 (n=8)

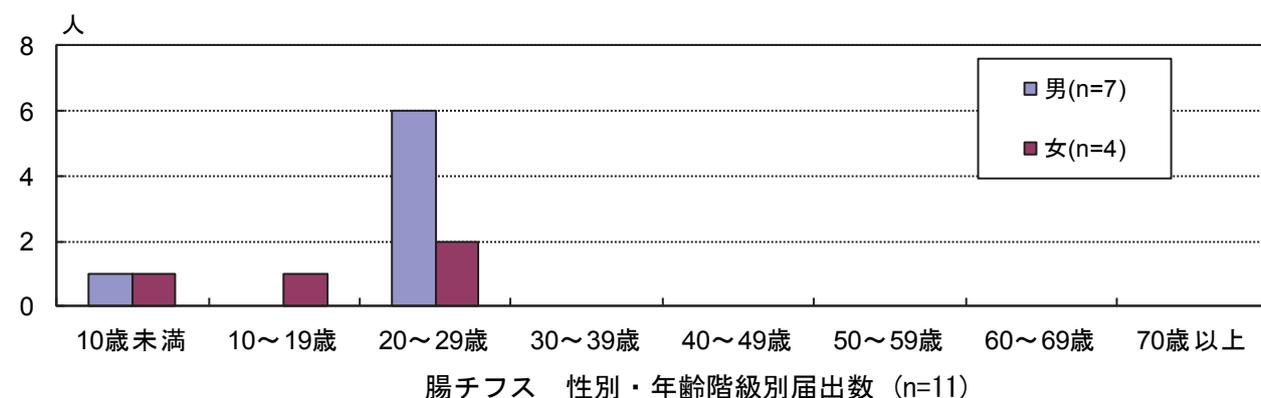
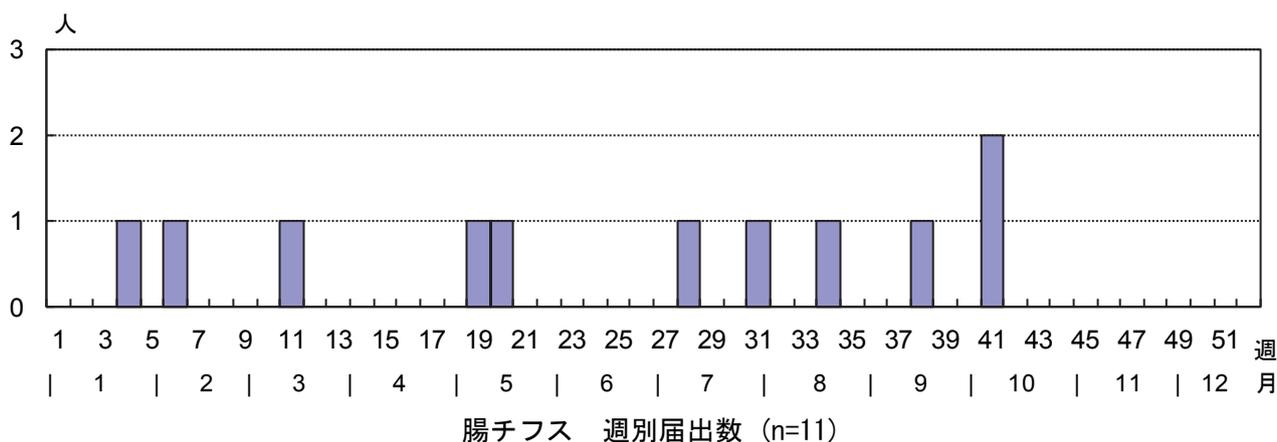
受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
2/9	女	17	血清型・毒素型不明	国内	焼き肉
5/17	男	77	O157 VT1・VT2	国内	
8/10	男	11	O157 毒素型不明	国内	
8/10	女	2	O157 VT1・VT2	不明	焼き鳥のレバー
8/22	男	1	血清型・毒素型不明	国内	
8/22	女	2	O157 VT2	不明	
8/31	男	6	O157 VT2	国内	焼き肉、生卵、魚
11/26	男	6	O157 VT1・VT2	国内	

④ 腸チフス

2018年は11件の届出があった。性別では男性7人、女性4人、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳1人、20～29歳8人であった。

ファージ型別はUVS4が3株、E1が2株、DVSが2株、M1が1株、UVS1が1株、不明が2株であった。

推定感染地はすべて国外で、インド5件、ネパール2件、バングラデシュ、パキスタン、ミャンマー、バングラデシュ又はタイ各1件であった。



⑤ パラチフス

2018年は10件の届出があった。性別は男性6人、女性4人であり、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳3人、30～39歳2人、40～49歳2人、50～59歳2人であった。

ファージ型別はUT (Untypable) が3株、1型が2株、2型が2株、不明が3株であった。

推定感染地は国外9件 (インド5件、カンボジア2件、バングラデシュ1件、インド又はネパール

1件)、不明1件であった。

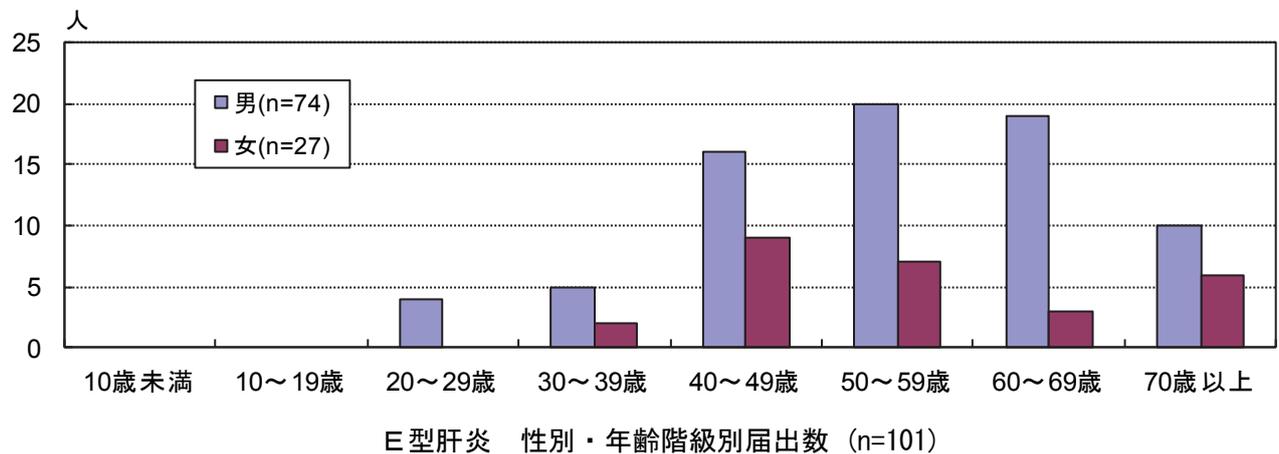
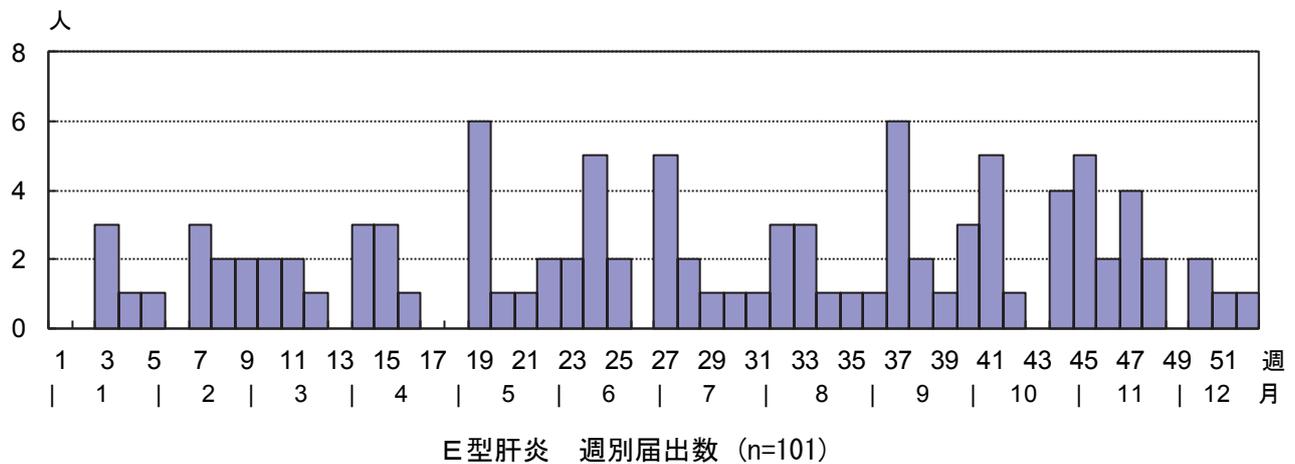
エ 四類感染症

① E型肝炎

2018年は101件の届出があった。性別は男性74人、女性27人で、年齢階級別では20～29歳4人、30～39歳7人、40～49歳25人、50～59歳27人、60～69歳22人、70歳以上16人であった。

推定感染地は国内82件、国外5件（インド2件、台湾2件、バングラデシュ1件）、国内又は国外（インドネシア1件、インド又はミャンマー1件、渡航先不明1件）3件、不明11件であった。

推定感染経路は経口感染62件、不明39件であった。経口感染62件のうち、2件で魚介類、26件で肉類、1件で魚介及び肉類、1件で水が感染原因として疑われており、他32件の感染原因は不明だった。

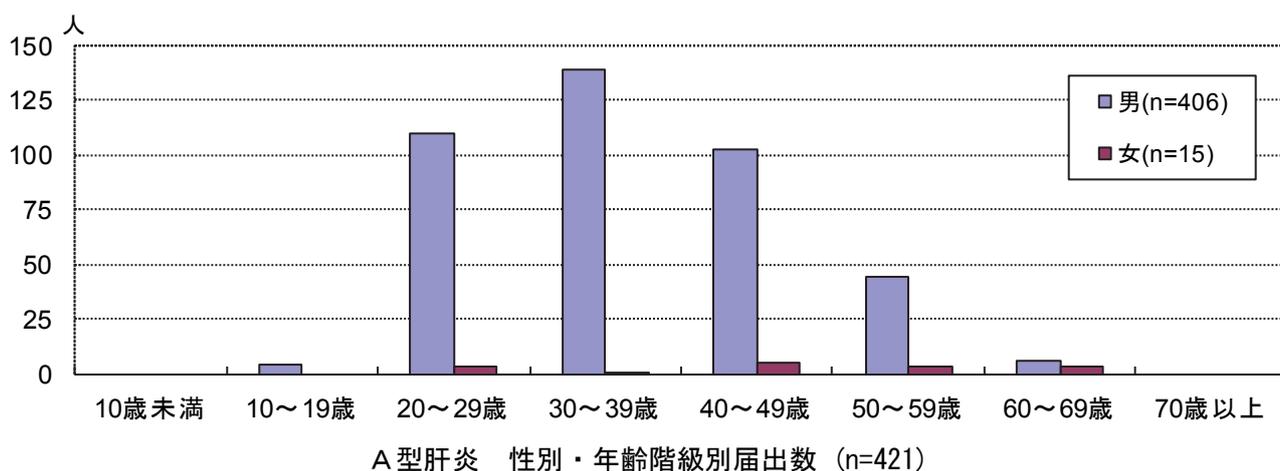
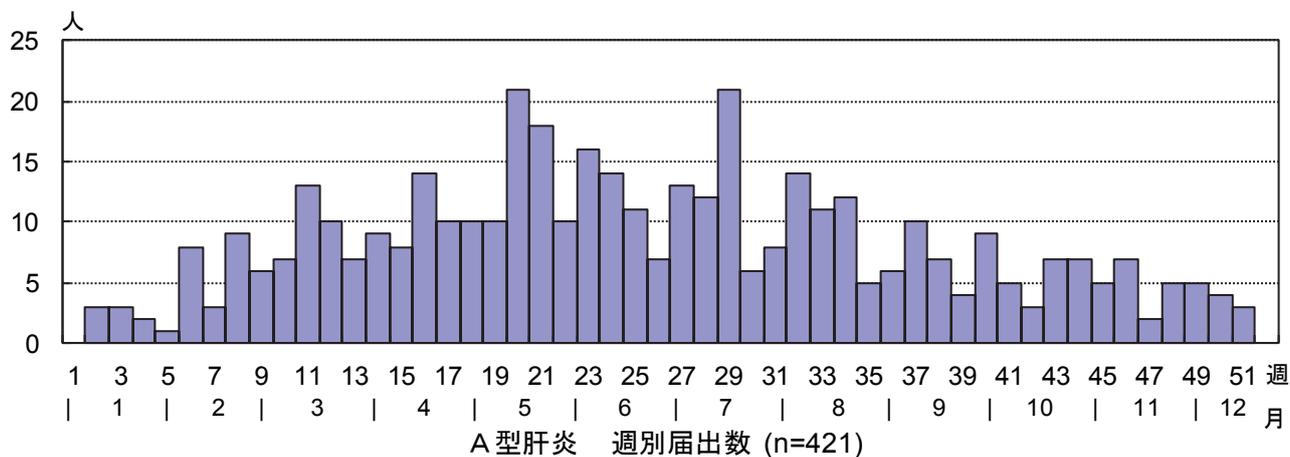


② A型肝炎

2018年は421件の届出があった。性別は男性406人、女性15人で、年齢階級別では10～19歳4人、20～29歳113人、30～39歳140人、40～49歳108人、50～59歳47人、60～69歳9人であった。

推定感染地は国内370件、国外18件、国内又は国外4件、不明29件であった。国外感染と推定された18件の推定感染国はタイ3件、韓国、米国、インドネシア、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、モロッコ、香港、台湾、中国、北朝鮮各1件、インドネシア又はフィリピン1件、カンボジア又はタイ1件、韓国又はタイ1件、モロッコ又はイタリア又は米国1件であった。

推定感染経路は、飲食物を介した経口感染 94 件、性的接触 241 件、経口感染又は性的接触 31 件、その他 1 件、不明 54 件であった。経口感染 94 件の推定原因食品は、魚介類が 38 件（うちカキ 23 件、他の貝類 4 件）、肉類 4 件、肉類と魚介類 2 件、その他 2 件、不明 48 件であった。性的接触 241 件の内訳は、男性 240 件（同性間 219 件、異性間 8 件、両性間 4 件、性別不明 9 件）、女性 1 件（性別不明）であった。



③ オウム病

2018 年は 2 件の届出があった。性別は男性 1 人、女性 1 人で、年齢階級別では 30～39 歳 1 人、40～49 歳 1 人であった。推定感染地は国内、感染経路はいずれも鳥類との接触が推定された。

④ Q 熱

2018 年は 2 件の届出があった。性別は男性 1 人、女性 1 人で、年齢階級別では 0～9 歳 1 人、40～49 歳 1 人であった。推定感染地はいずれも国外（マラウイ）で、感染経路は動物との接触、家畜の塵埃感染が推定された。

⑤ つつが虫病

2018 年は 12 件の届出があった。性別は男性 11 人、女性 1 人であった。年齢階級別は 30～39 歳 1 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 3 人、70 歳以上 5 人であった。推定感染地はいずれも国内で、東京都 10 件（多摩地区 3 件、島しょ地区 7 件）、千葉県 2 件であった。

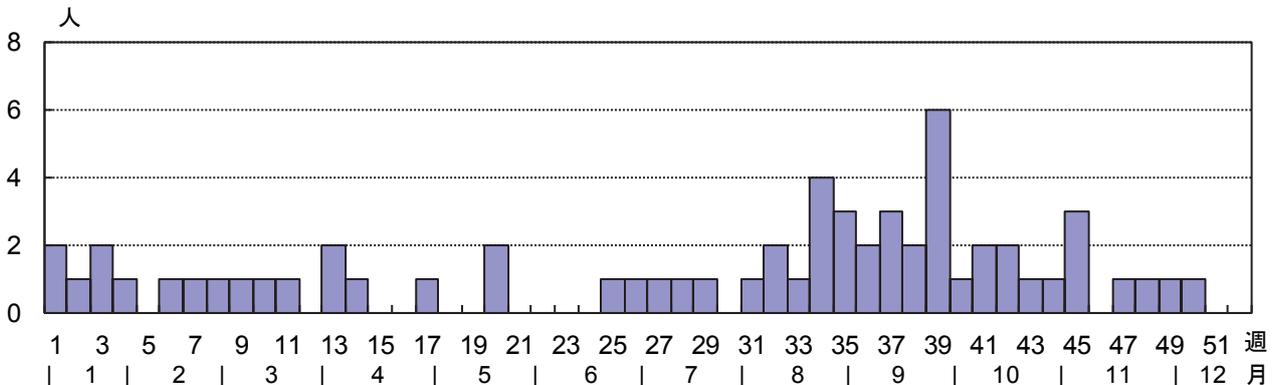
つつが虫病届出例 (n=12)

受理日	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/15	女	39	東京都 (島しょ)	
2/5	男	59	東京都 (島しょ)	
2/6	男	56	東京都 (島しょ)	屋外飼育の飼い猫からの感染
2/23	男	61	東京都 (島しょ)	
10/31	男	71	東京都 (多摩)	山でダニによくさされる
11/8	男	85	東京都 (多摩)	
11/27	男	87	東京都 (多摩)	
12/7	男	61	東京都 (島しょ)	野外、草むら
12/14	男	68	千葉県	
12/25	男	54	東京都 (島しょ)	
12/25	男	72	東京都 (島しょ)	
12/28	男	71	千葉県	

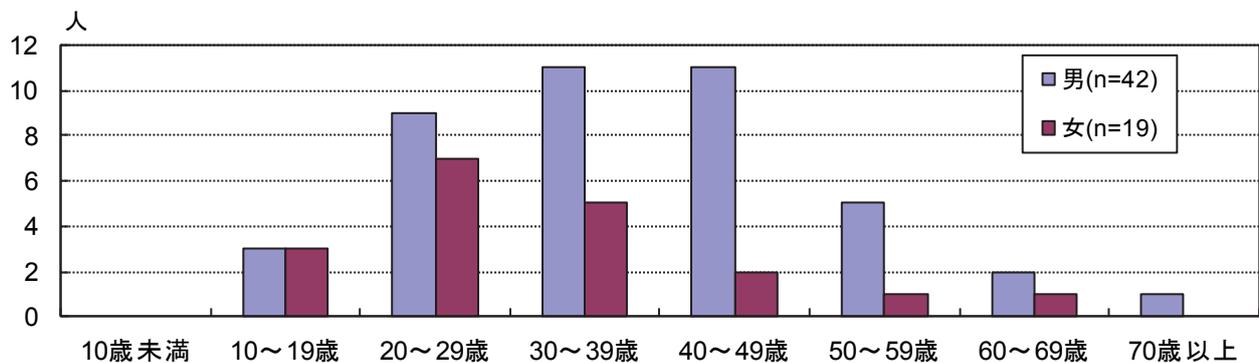
⑥ デング熱

2018年は61件の届出があった。デング出血熱の届出はなかった。性別は男性42人、女性19人、年齢階級別は10～19歳6人、20～29歳16人、30～39歳16人、40～49歳13人、50～59歳6人、60～69歳3人、70歳以上1人であった。血清型は16件報告されており、その内訳は1型3件、2型9件、3型4件であった。

推定感染地はすべて国外で、フィリピン13件、ベトナム8件、カンボジア6件、インドネシア6件、タイ4件、インド4件、マレーシア2件、バングラデシュ2件、仏領ポリネシア、ミャンマー、パラグアイ、スリランカ、サウジアラビア、キューバ各1件、二か国以上10件であった。



デング熱 週別届出数 (n=61)



デング熱 性別・年齢階級別届出数 (n=61)

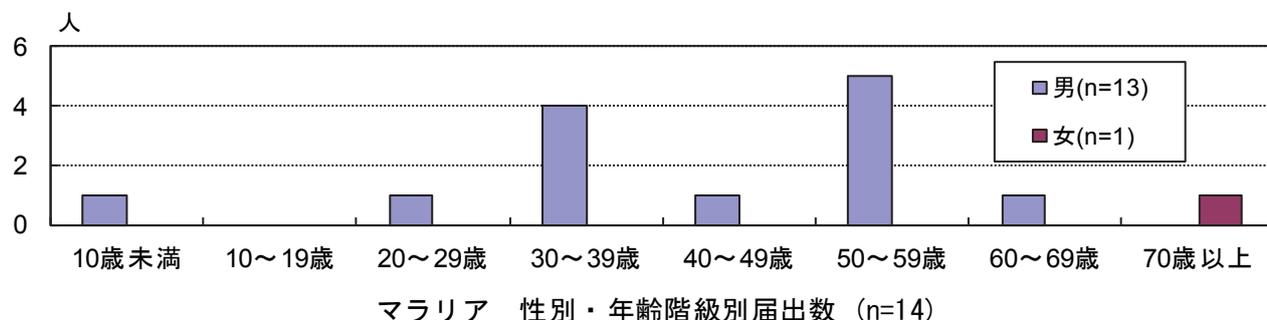
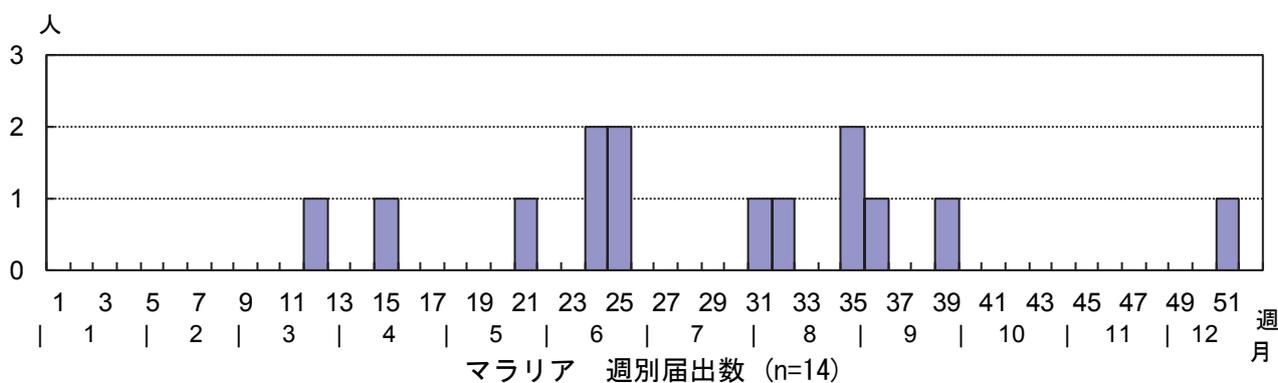
⑦ ボツリヌス症

2018年は1件の届出があった。症例は60歳代男性で、病型は成人腸管定着型、毒素はA型であった。推定感染地は国内で、ハチミツを摂取しており、便からボツリヌス菌が検出された。

⑧ マラリア

2018年は14件の届出があった。熱帯熱マラリア13人、不明1人であった。性別は男性13人、女性1人、年齢階級別は10歳未満1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳1人、50～59歳5人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

推定感染地はすべてアフリカであった。熱帯熱と診断された症例の推定感染地は、ナイジェリア3件、コートジボアール及びベナン各2件、ニジェール、ブルキナファソ、マダガスカル、モザンビーク、中央アフリカ及び南スーダン各1件で、病原虫種不明の1件はルワンダであった。



⑨ ライム病

2018年は1件の届出があった。症例は30歳代の女性で、推定感染地は国外（クロアチア）で、森の中の草むらにいたマダニからの感染が推定された。

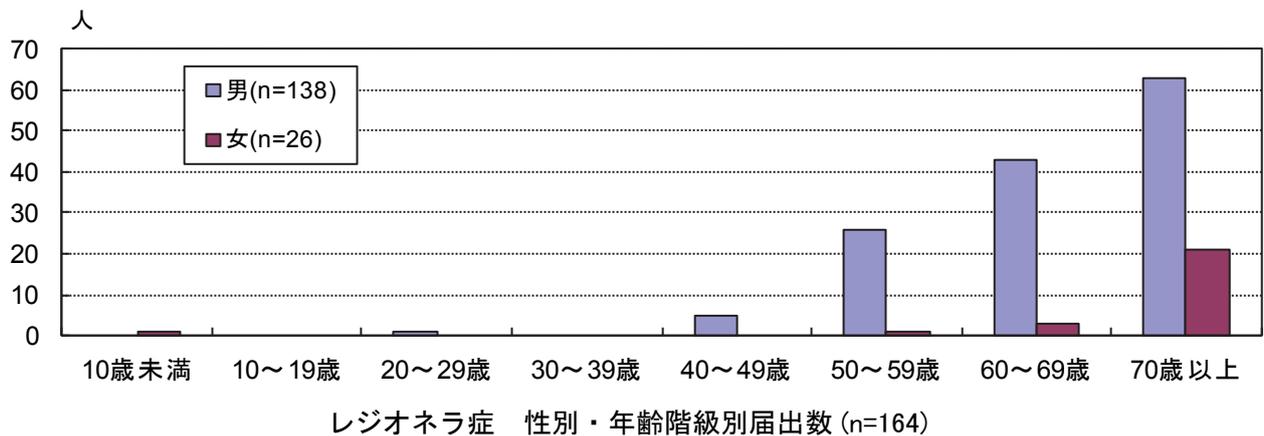
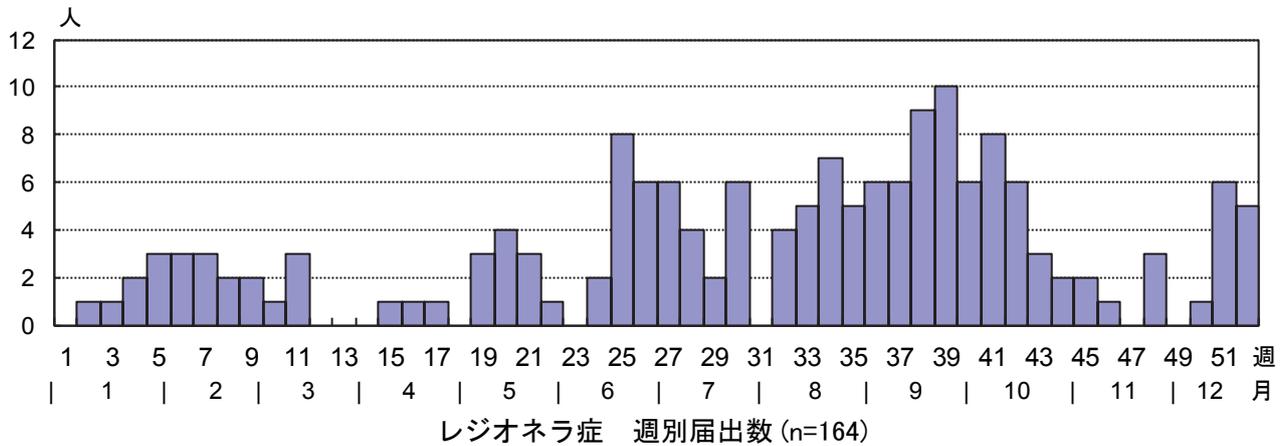
⑩ 類鼻疽

2018年は1件の届出があった。症例は20歳代の女性であった。推定感染地は国外（ベトナム）であった。飼い犬に咬まれて受傷し、化膿した皮膚からの感染が疑われた。

⑪ レジオネラ症

2018年は164件の届出があった。病型は肺炎型158件、ポンティアック熱型6件であった。死亡例は2人報告された。性別は男性138人、女性26人、年齢階級別は0～9歳1人、20～29歳1人、40～49歳5人、50～59歳27人、60～69歳46人、70歳以上84人であった。

推定感染地は国内 144 件、国外 5 件（インド 2 件、米国、中国、北朝鮮各 1 件）、国内又は国外（渡航先不明）1 件、不明 14 件であった。推定感染経路は、水系感染 67 件、塵埃感染 9 件、水系又は塵埃感染 1 件、その他 31 件、不明 56 件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 28 件であった。



⑫ レプトスピラ症

2018 年は 5 件の届出があった。性別は男性 3 人、女性 2 人、年齢階級別は 10～19 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、70 歳以上 1 人であった。推定感染地は国内 4 件、国外（タイ）1 件であった。

レプトスピラ症届出例 (n=5)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路、接触場所、滞在歴
5/31	男	59	国内	ネズミ
9/26	男	49	国内	河川
9/30	女	78	国内	
10/15	女	51	国内	沢登り中に川に転落し裂創受傷
10/19	男	18	タイ	ラフティング、川の飲水

⑬ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、エキノコックス症、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兔病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱

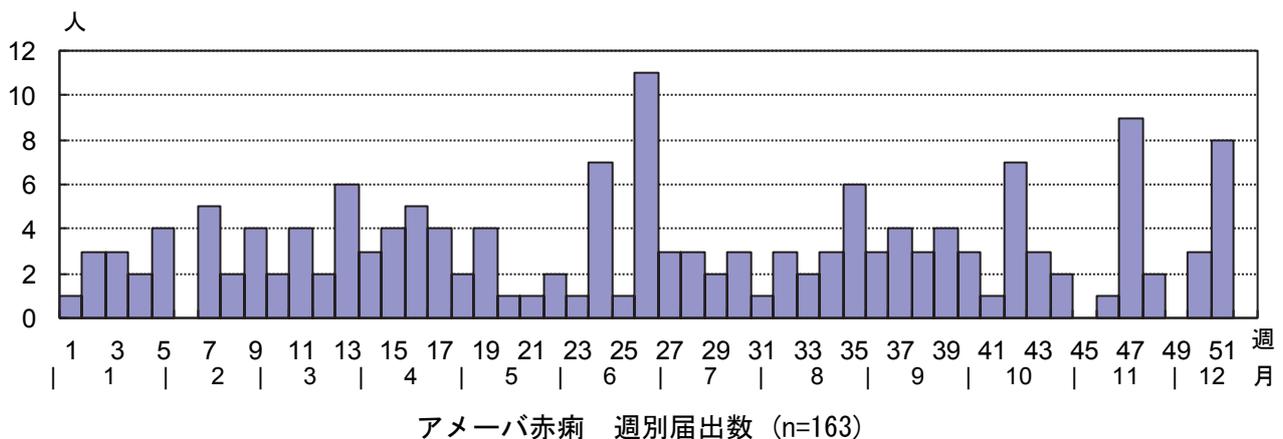
オ 五類感染症（全数把握対象）

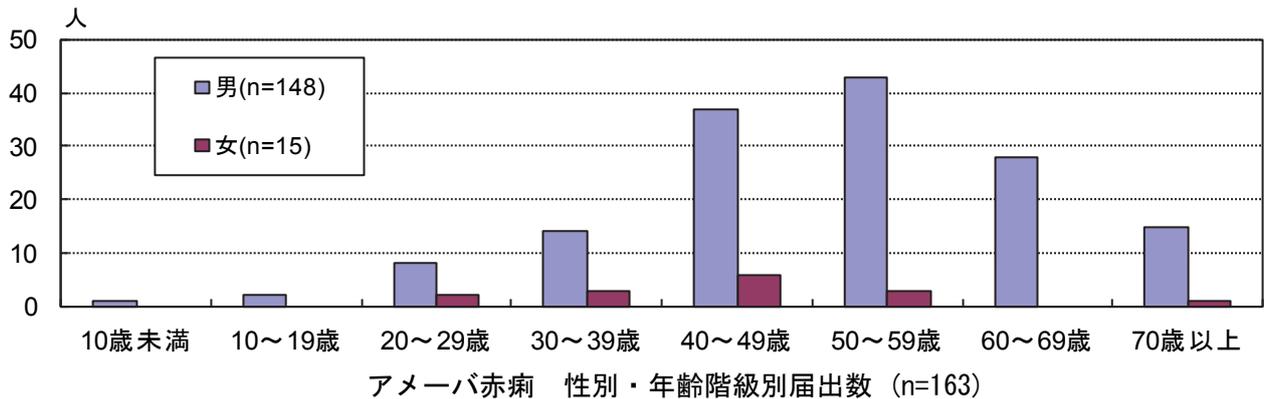
① アメーバ赤痢

2018 年は 163 件の届出があった。腸管アメーバ症 153 件、腸管外アメーバ症 8 件、腸管及び腸管外アメーバ症 2 件であった。性別は男性 148 人、女性 15 人で、年齢階級別では 10 歳未満 1 人、10～19 歳 2 人、20～29 歳 10 人、30～39 歳 17 人、40～49 歳 43 人、50～59 歳 46 人、60～69 歳 28 人、70 歳以上 16 人であった。

推定感染地は国内 108 件、国外 29 件、国内又は国外（渡航先不明 2 件、中国、ベトナム各 1 件）4 件、不明 22 件であり、国外感染例 29 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 14 件、東アジア 4 件、南アジア 4 件、中東 2 件、ヨーロッパ 1 件、南米 1 件、2 地域以上 2 件、渡航先不明 1 件であった。渡航先不明を除く推定感染国は、フィリピン 4 件、タイ 3 件、中国 3 件、インド 3 件、シンガポール 2 件、インドネシア、ベトナム、モルディブ、ヨルダン、ポルトガル、ブラジル、東南アジア（国名不明）各 1 件のほか、中国又は韓国、タイ又は台湾、インド又はインドネシア、シンガポール又はベトナム又はタイ、ミャンマー又はラオス、トルコ又はイスラエル各 1 件であった。

推定感染経路は、性的接触 48 件（同性間 17 件、異性間 23 件、両性間 2 件、性別不明 6 件）、飲食物による経口感染 40 件、不明 75 件であった。





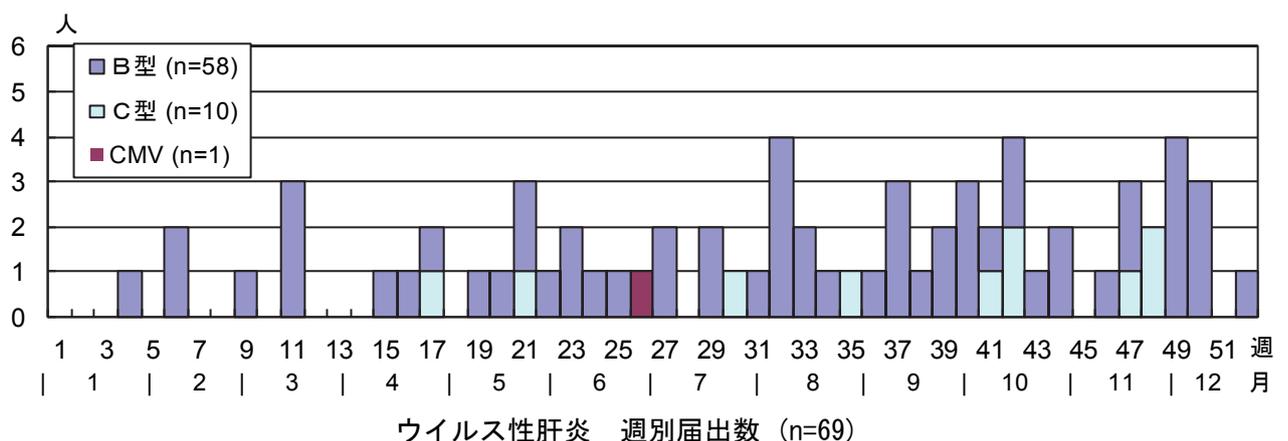
② ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く)

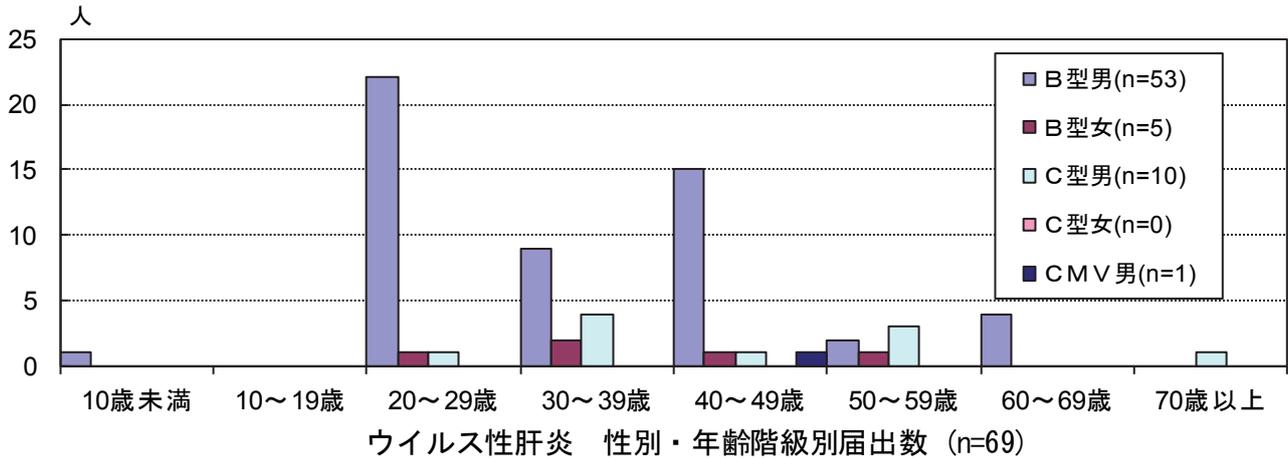
2018年は69件の届出があった。内訳は、B型肝炎58件、C型肝炎10件、サイトメガロウイルス(CMV)肝炎1件であった。

B型肝炎58件の届出のうち男性は53人、女性は5人で、年齢階級別では10歳未満1人、20～29歳23人、30～39歳11人、40～49歳16人、50～59歳3人、60～69歳4人であった。推定感染地は国内49件、国外5件(ベトナム3件、タイ1件、フィリピン又はタイ1件)、推定感染経路は性的接触42件(同性間18件、異性間21件、両性間1件、性別不明2件)、父母以外からの水平感染1件、不明15件であった。

C型肝炎10件の届出はすべて男性で、年齢は20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳1人、50～59歳3人、70歳以上1人であった。推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触7件(すべて同性間)、静注薬物常用1件、静注薬物常用又は性的接触(同性間)1件、不明1件であった。

サイトメガロウイルス(CMV)肝炎の1件は40歳代の男性、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。



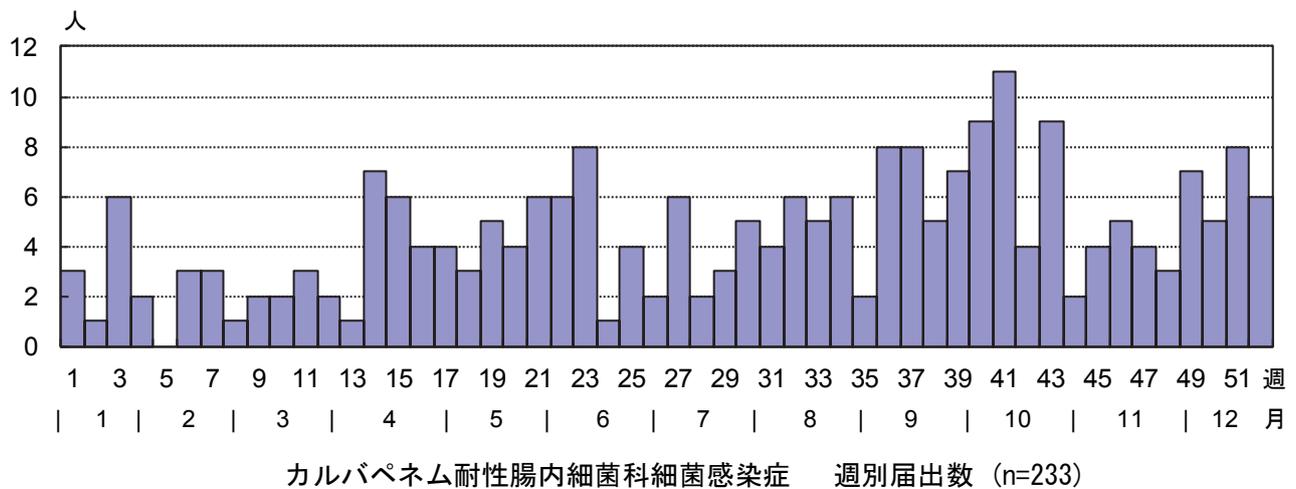


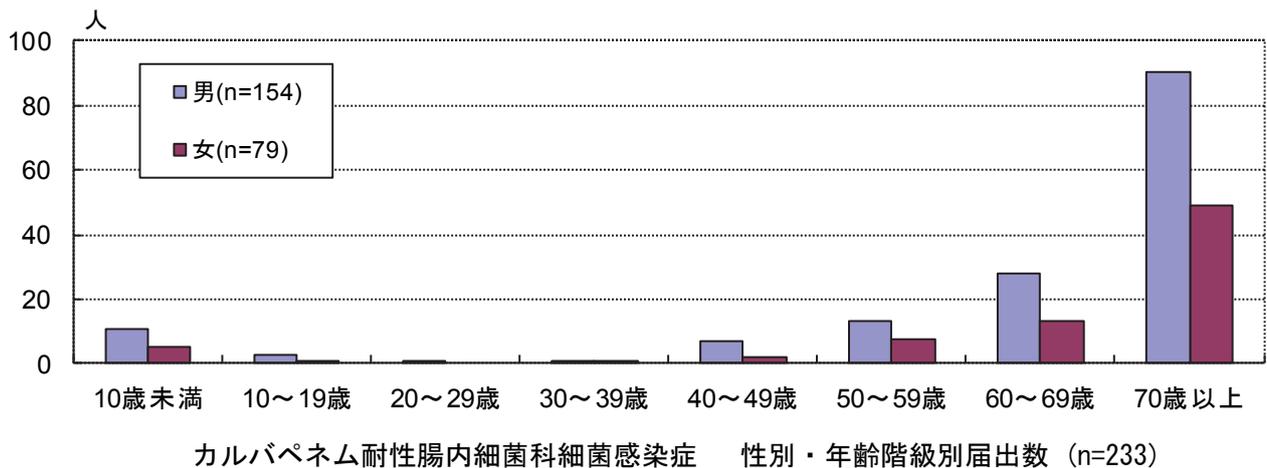
③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2018年は233件の届出があった。性別は男性154人、女性79人で、年齢階級別では10歳未満16人(すべて5歳未満)、10～19歳4人、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳9人、50～59歳21人、60～69歳41人、70歳以上139人(70歳代68人、80歳代56人、90歳以上15人)であった。死亡例は3人(10～19歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人)報告された。

推定感染地は国内212件、国外5件(インド2件、バングラデシュ1件、中国1件、渡航先不明1件)、不明16件であった。

分離された菌種は、*Enterobacter cloacae* 82件、*Klebsiella aerogenes* 81件、*Klebsiella pneumoniae* 20件、*Escherichia coli* 16件、*Citrobacter freundii* 8件、*Klebsiella oxytoca* 5件、*Serratia marcescens* 4件、*Proteus mirabilis* 2件、*Enterobacteriaceae*、*Leclercia adecarboxylata* が各1件、2菌種が1件(*Enterobacter cloacae* 及び *Enterobacter aerogenes*) であった。また、この他に *Enterobacter* sp. 7件、*Klebsiella* sp. 2件、*Citrobacter* sp.、*Serratia* sp. が各1件分離され、1件は詳細不明であった。





④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

2018年は8件の届出があった。性別は男性6人、女性2人で、年齢階級別では、10歳未満7人（うち5歳未満4人）、10～19歳1人、推定感染地は国内7件、不明1件で、すべて病原体不明であった。ポリオワクチン接種歴は、4回3件、3回2件、2回2件、不明1件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

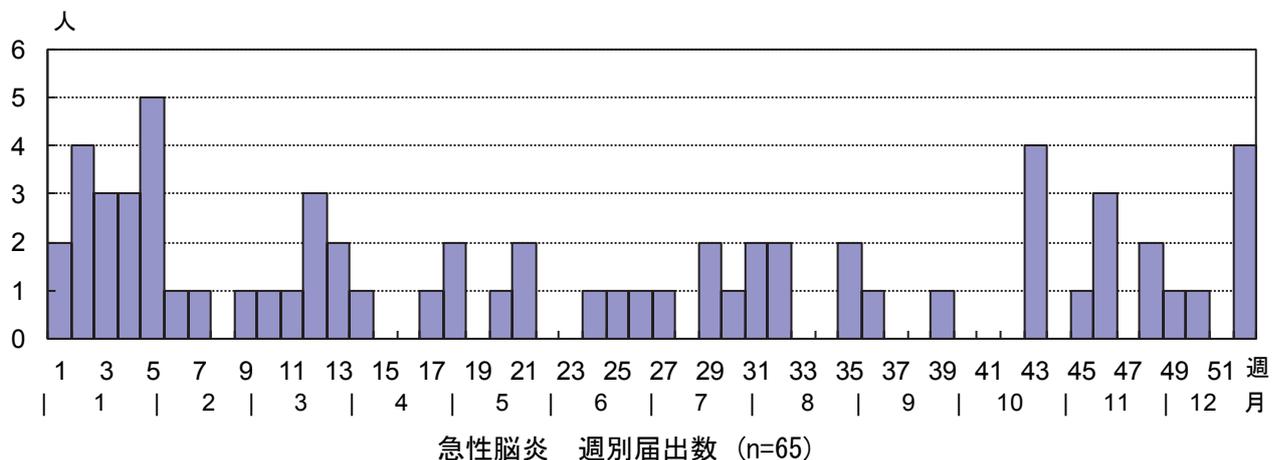
2018年は65件の届出があった。

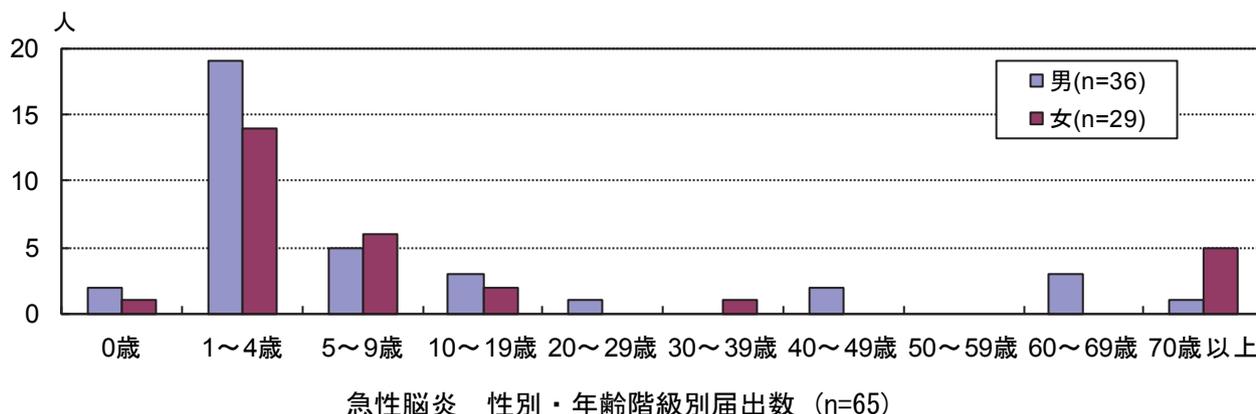
原因と推定された病原体は、インフルエンザウイルス23件、ヒトヘルペスウイルス3件、アデノウイルス2件、エンテロウイルス2件、ロタウイルス、単純ヘルペスウイルス、RSウイルス、ノロウイルス、肺炎球菌各1件、不明30件であった。

性別は男性36人、女性29人で、年齢階級別では10歳未満47人（5歳未満36人）、10～19歳5人、20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳2人、60～69歳3人、70歳以上6人であった。

死亡例は3人（10歳未満2人、10～19歳1人）報告されており、病原体は、インフルエンザウイルスAH1N1pdm1件、インフルエンザウイルスB型1件、不明1件であった。

推定感染地は国内62件、不明3件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染36件、接触感染3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染2件、その他8件、不明16件であった。





⑥ クリプトスポリジウム症

2018年は3件の届出があった。性別は男性2人、女性1人で、年齢階級別は20～29歳2人、30～39歳1人であった。推定感染地はすべて国内で、すべて動物・蚊・昆虫等からの感染（牛との接触2件）が推定された。

⑦ クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）

2018年は25件の届出があった。性別は男性8人、女性17人で、年齢階級別では50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上21人であった。

孤発性プリオン病・古典型CJDが22件（ほぼ確実18件、疑い4件）、孤発性プリオン病・その他が2件（ほぼ確実1件、疑い1件）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1件（ほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病24件の症状は、進行性認知症が23件に認められたほか、ミオクローヌス17件、記憶障害15件、無動性無言状態14件、小脳症状14件、錐体路症状13件、精神・知能障害13件、錐体外路症状10件、視覚異常5件、筋強剛5件、痙性対麻痺1件、異常感覚1件であった。

家族性CJD1件の症状は、進行性認知症の他、錐体路症状、運動性失語であった。

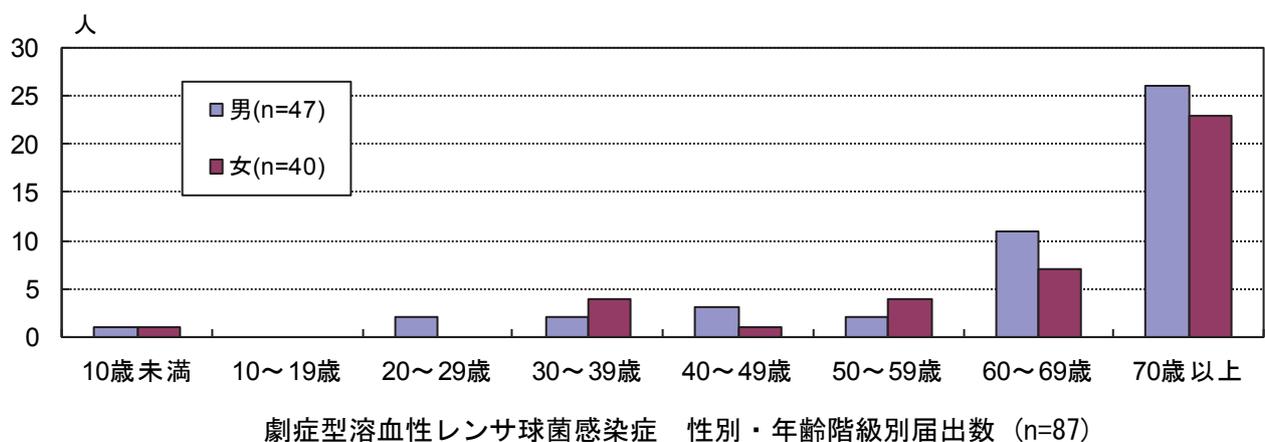
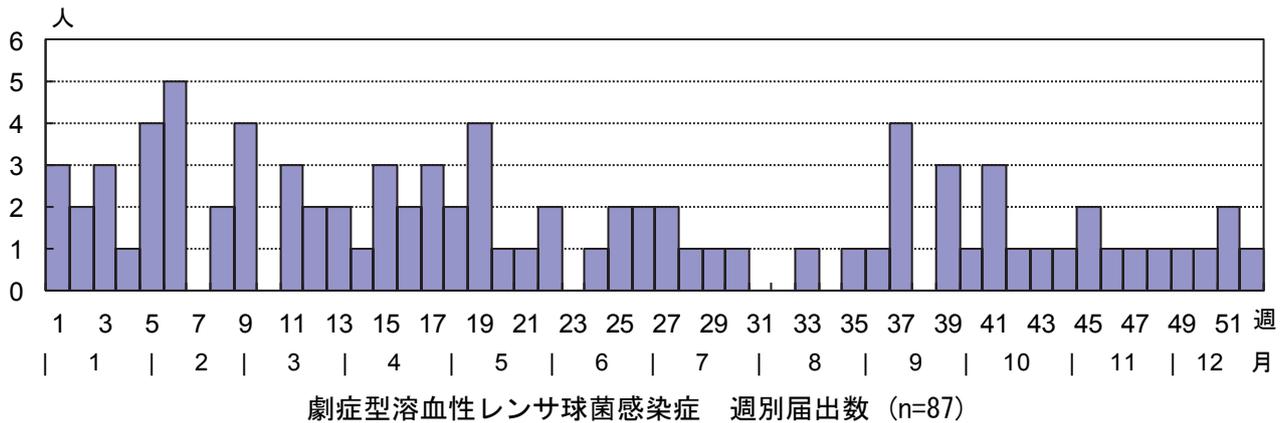
プリオン遺伝子検査による診断がなされたのは6件（古典型CJD4件、その他の孤発性プリオン病1件、家族性CJD1件）であった。

⑧ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2018年は87件の届出があり、過去10年で最も多い届出数となった。性別は男性47人、女性40人で、年齢階級別では10歳未満2人（すべて5歳未満）、20～29歳2人、30～39歳6人、40～49歳4人、50～59歳6人、60～69歳18人、70歳以上49人であった。死亡例は19人（20～29歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上13人）報告された。

推定感染地は国内79件、国外4件（アイルランド、米国、タイ、バヌアツ各1件）、不明4件であった。推定感染経路は創傷感染30件、飛沫・飛沫核感染3件、接触感染1件、その他14件、不明39件であった。

血清群は、A群37件（42.5%）、B群14件（16.1%）、F群1件（1.1%）、G群34件（39.1%）、不明1件（1.1%）であった。



⑨ 後天性免疫不全症候群

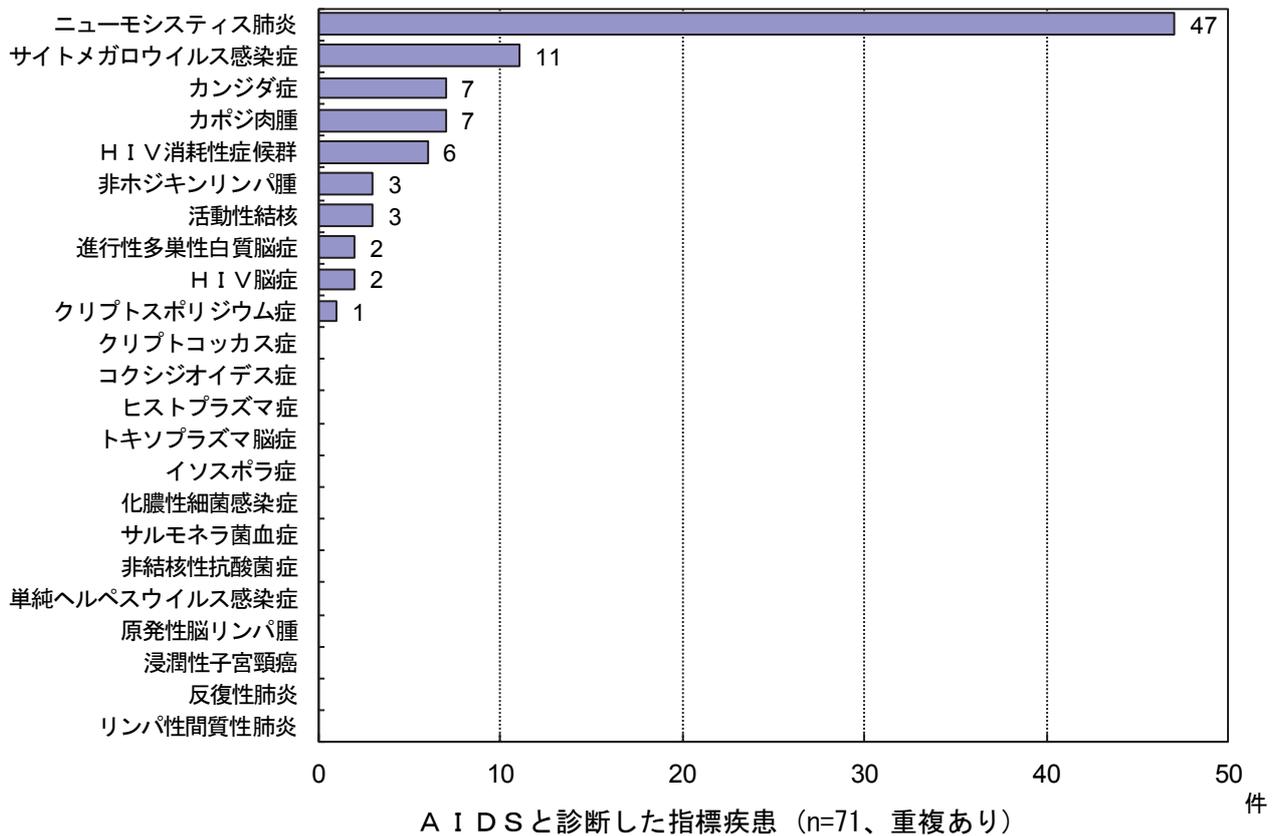
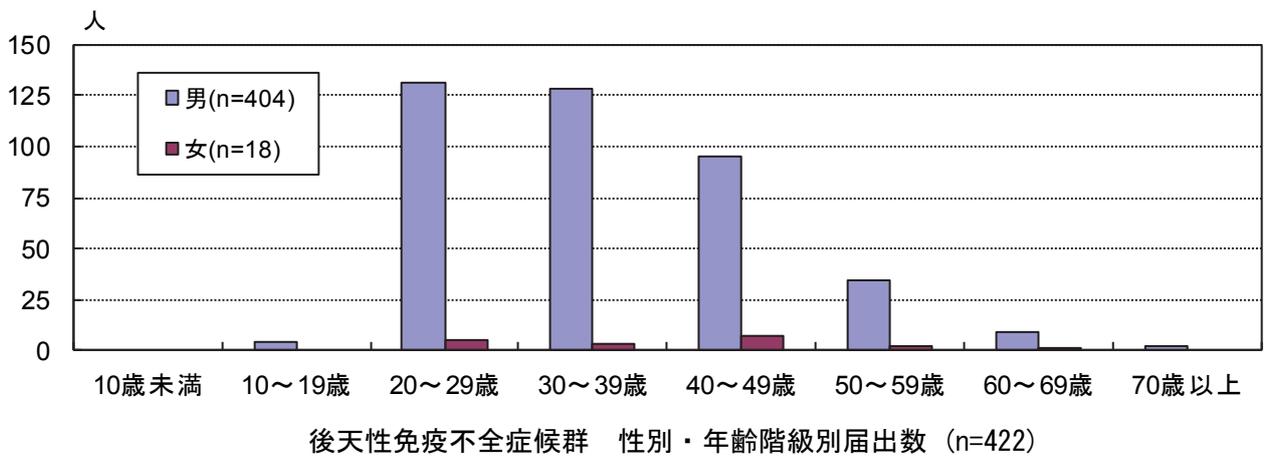
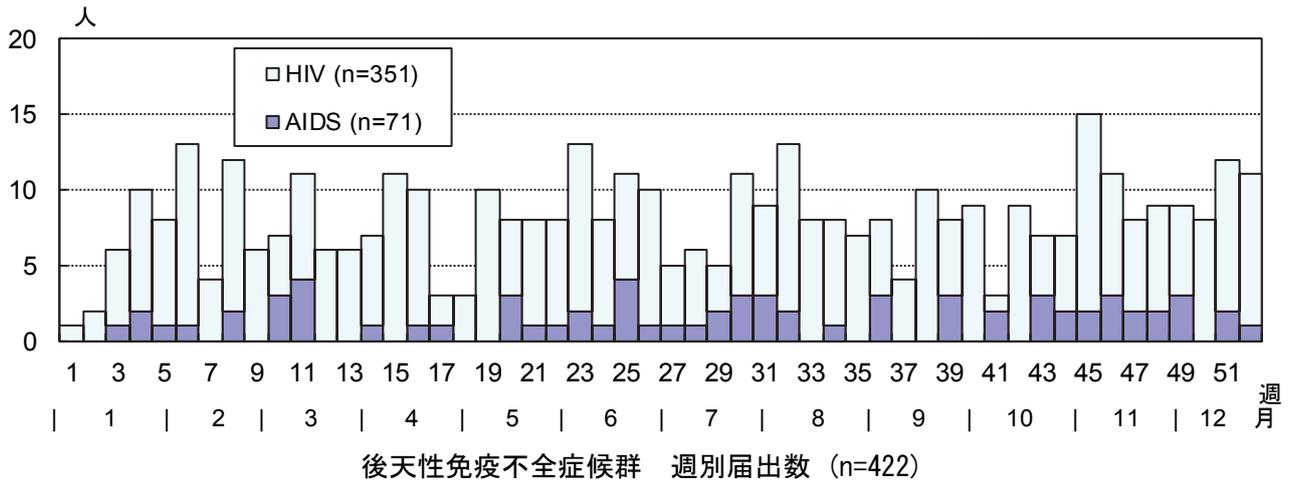
2018年は422件の届出があり、AIDS患者71人、HIV感染者351人（指標疾患以外の有症者61人、無症候性キャリア290人）であった。AIDS患者71人の内訳は男性66人、女性5人で、年齢階級別では20～29歳13人、30～39歳16人、40～49歳26人、50～59歳14人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

HIV感染者のうち指標疾患以外の有症者の61人内訳はすべて男性で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳19人、30～39歳18人、40～49歳16人、50～59歳5人、60～69歳2人であった。

HIV感染者のうち無症候性キャリアの290人の内訳は男性277人、女性13人で、年齢階級別では10～19歳3人、20～29歳104人、30～39歳97人、40～49歳60人、50～59歳18人、60～69歳7人、70歳以上1人であった。

推定感染地は国内349件、国外22件、国内又は国外3件、不明48件であった。国外感染例22件の推定感染地域は、東アジア9件、東南アジア8件、ヨーロッパ1件、北米1件、アフリカ1件、2地域以上1件、不明1件であった。推定感染国別に見ると、中国7件、タイ3件、韓国2件、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、ラオス、フランス、米国、ガーナ、台湾又はフィリピン各1件、渡航先不明1件であった。

推定感染経路は性的接触378件（同性間306件、異性間57件、両性間8件、不明7件）、静注薬物使用1件、2経路以上2件（いずれも同性間性的接触又は静注薬物使用）、不明41件であった。

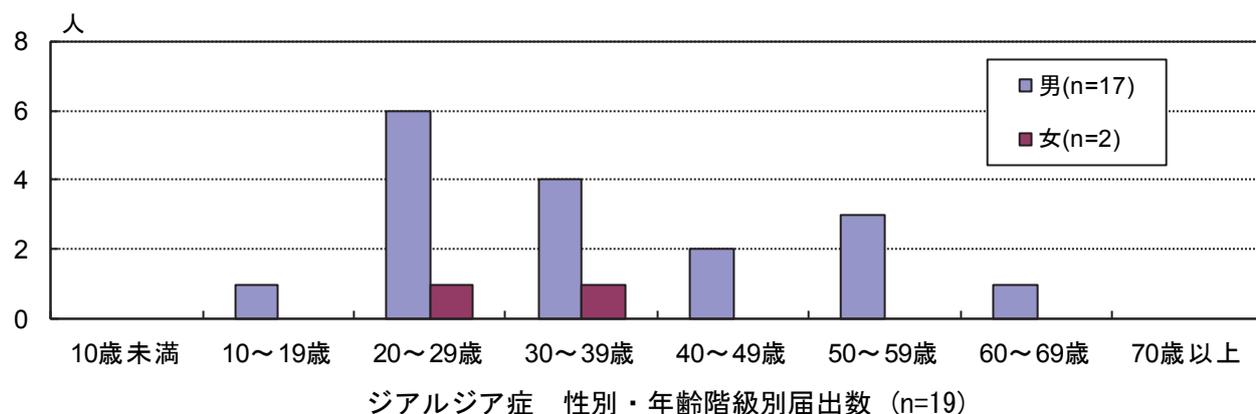
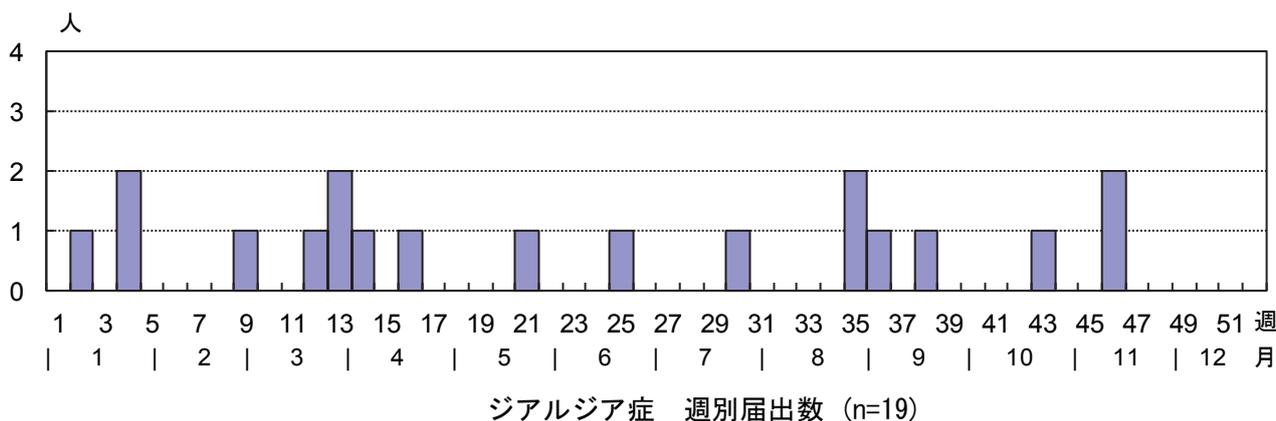


⑩ ジアルジア症

2018年は19件の届出があった。性別は男性17人、女性2人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳7人、30～39歳5人、40～49歳2人、50～59歳3人、60～69歳1人であった。

推定感染地は国内8件、国外10件、国内又は国外（渡航先不明）1件であった。国外感染例10件を推定感染国別に見ると、インド5件、カンボジア、ベトナム、インド又はカンボジア又はタイ、ネパール又はミャンマー又はタイ、バングラデシュ又はパキスタン各1件であった。

推定感染経路は、経口感染8件、性的接触4件（同性間1件、異性間2件、不明1件）、水系感染2件、不明5件であった。



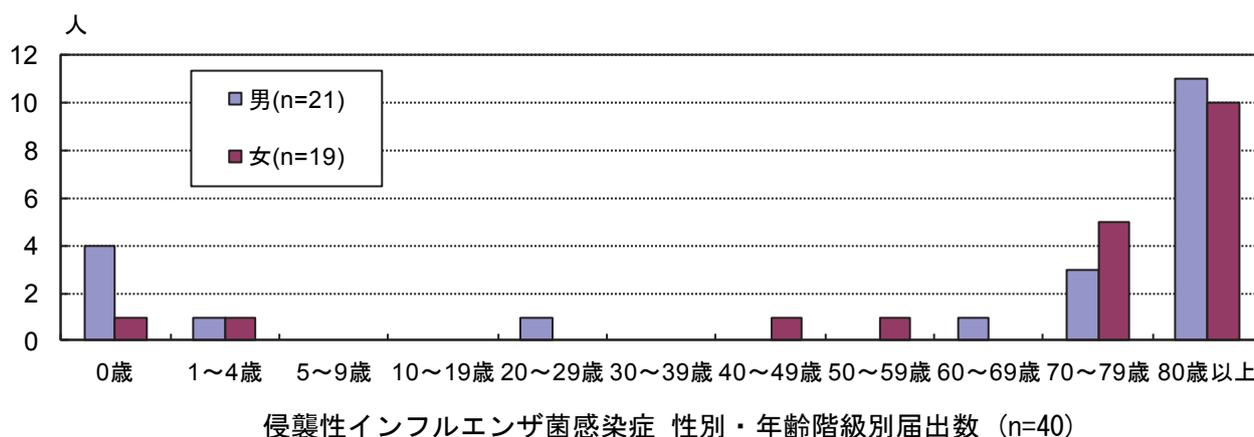
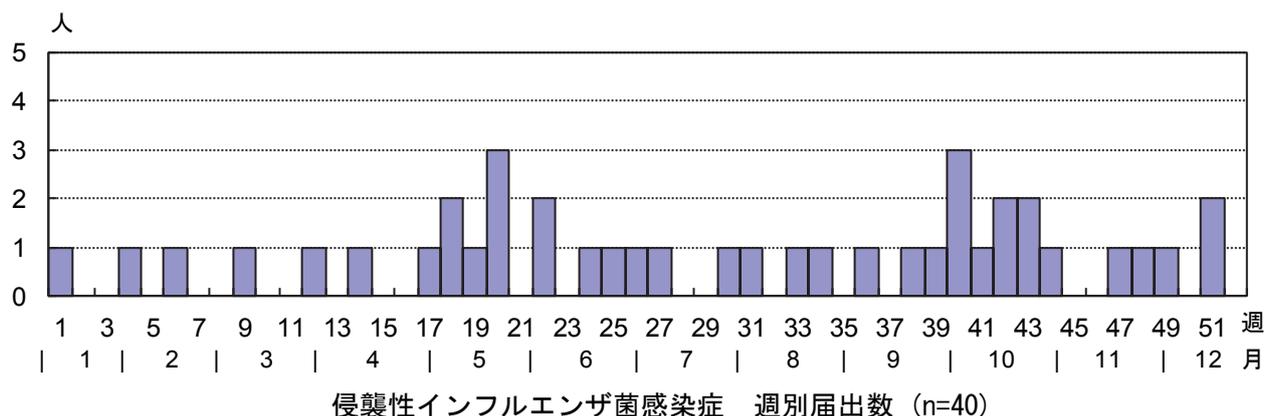
⑪ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2018年は40件の届出があった。性別は男性21人、女性19人で、年齢階級別では10歳未満7人（すべて5歳未満）、20～29歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上29人（70歳代8人、80歳代16人、90歳以上5人）で、死亡例は4人報告された。

血清型は、f型2件、型別不明30件、検査未実施8件であった。

推定感染地は国内35件、不明5件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染12件、その他2件、不明26件であった。

Hib ワクチン接種歴は4回が2件、3回が4件、1回が1件（いずれも10歳以下）のほか、なし5件、不明28件であった。



⑫ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2018年は6件の届出があった。性別は男性4人、女性2人であった。年齢階級別では30～39歳1人、40～49歳2人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人で、死亡例は2人報告された。

血清群は、Y群3件、不明3件であった。

推定感染地はすべて国内で、感染経路はすべて不明であった。ワクチン接種歴は、なし2件、不明4件であった。

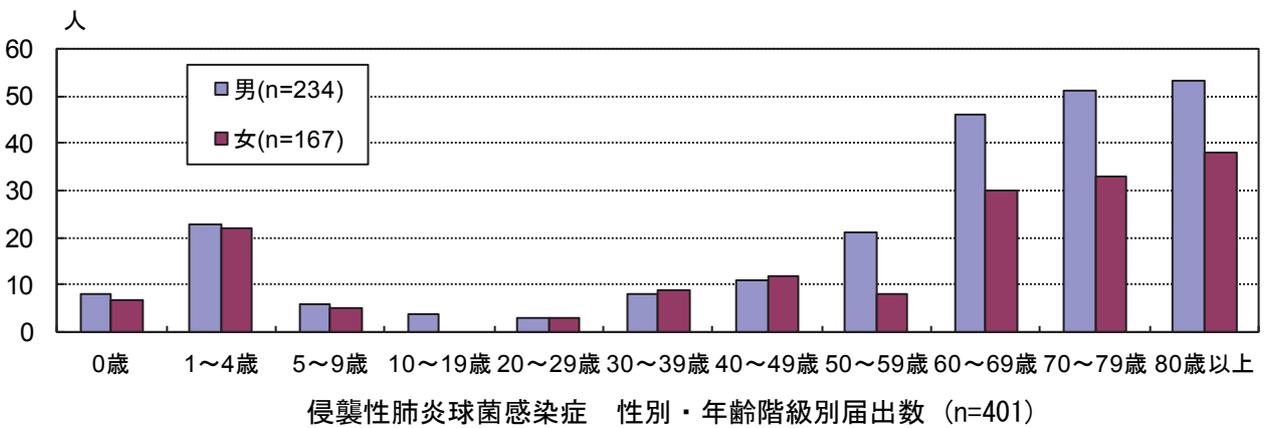
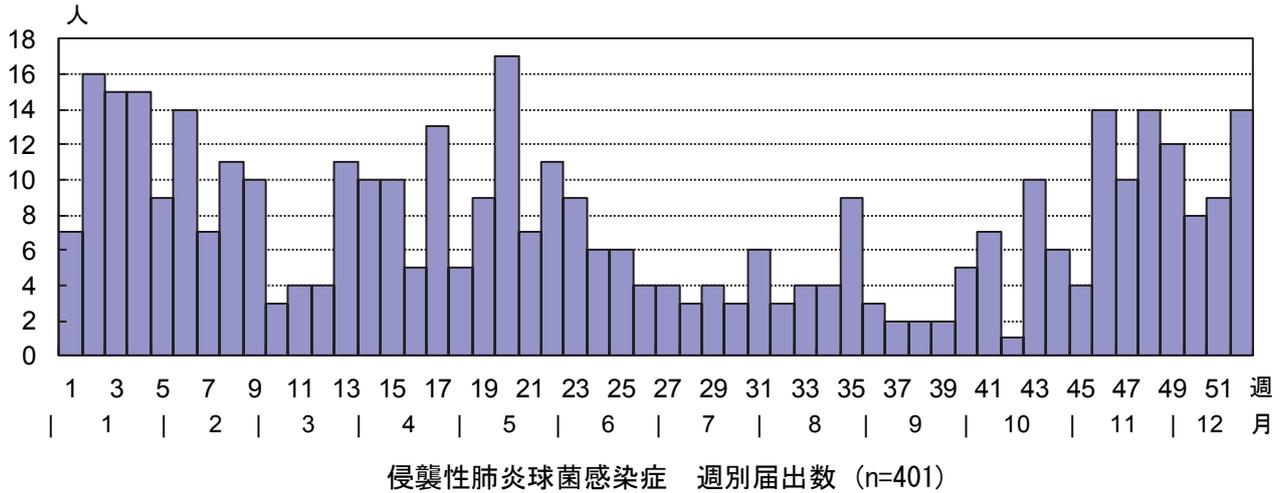
⑬ 侵襲性肺炎球菌感染症

2018年は401件の届出があった。性別は男性234人、女性167人であった。年齢階級別では10歳未満71人（うち5歳未満60人）、10～19歳4人、20～29歳6人、30～39歳17人、40～49歳23人、50～59歳29人、60～69歳76人、70歳以上175人で、死亡例は25人報告された。

推定感染地は国内380件、国外1件（イギリス）、国内又は国外（渡航先不明）1件、不明19件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染142件、接触感染3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染3件、その他18件、不明235件であった。

ワクチン接種歴は4回41件、3回19件、2回7件、1回53件、なし145件、不明136件であった。

届出のうち、血清型が判明したのは123件で、最も多い血清型は3型（12件、9.8%）であった。



年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=401)

	7価			7価3回		13価				13価1回		23価	
	4回	2回	1回	13価1回	4回	3回	2回	1回	23価1回	2回	1回		
5歳未満					34	16	1	2					
5~9歳	4	1	1	1		1							
10~64歳				1								1	
65歳以上									1	1		11	
合計	4	1	2	1	34	17	1	2	1	1		12	

	価数不明 接種歴有	接種歴 なし	接種歴 不明	総計
5歳未満	4	1	2	60
5~9歳	1	2		11
10~64歳	3	71	33	109
65歳以上	36	71	101	221
合計	44	145	136	401

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=123)

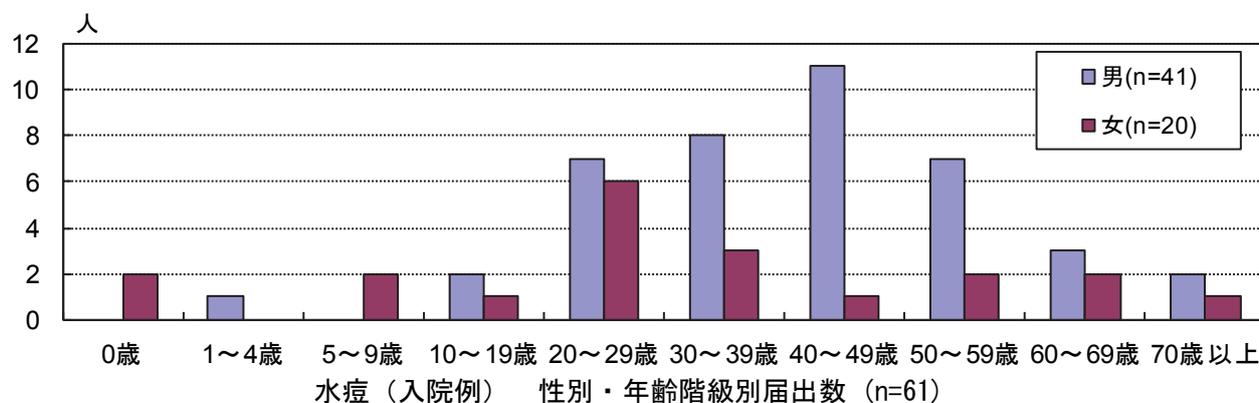
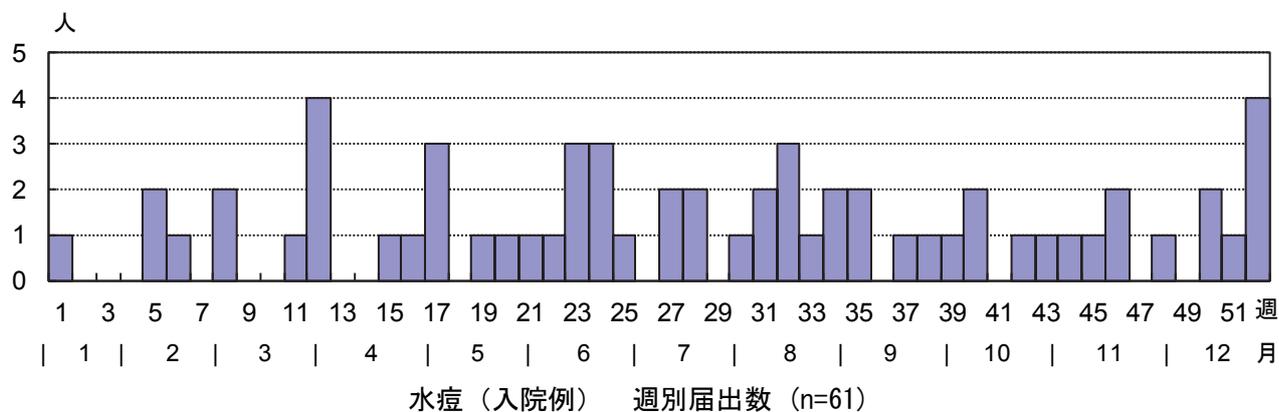
血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3 型	12	15B 型	5	7C 型	3	14 型	1
12F 型	11	23A 型	5	7F 型	3	19 型	1
15A 型	11	24F 型	5	20 型	2	19F 型	1
24B 型	11	11A 型	4	33F 型	2	24A 型	1
10A 型	7	35B 型	4	38 型	2	31 型	1
19A 型	7	15C 型	3	6B 型	1	35F 型	1
6C 型	6	22F 型	3	6D 型	1		
1 型	5	34 型	3	7A 型	1		

⑭ 水痘 (入院例)

2018 年は 61 件の届出があった。性別は男性 41 人、女性 20 人で、年齢階級別では 10 歳未満 5 人、10～19 歳 3 人、20～29 歳 13 人、30～39 歳 11 人、40～49 歳 12 人、50～59 歳 9 人、60～69 歳 5 人、70 歳以上 3 人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内 56 件、国外 (フィリピン 1 件、中国 1 件) 2 件、不明 3 件で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 22 件、接触感染 4 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 4 件、不明 31 件であった。

ワクチン接種歴は 2 回 4 件、1 回 1 件、なし 20 件、不明 36 件であった。



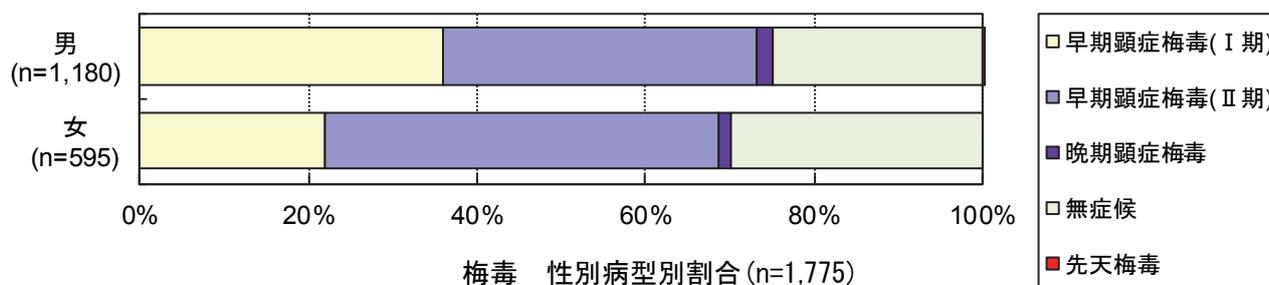
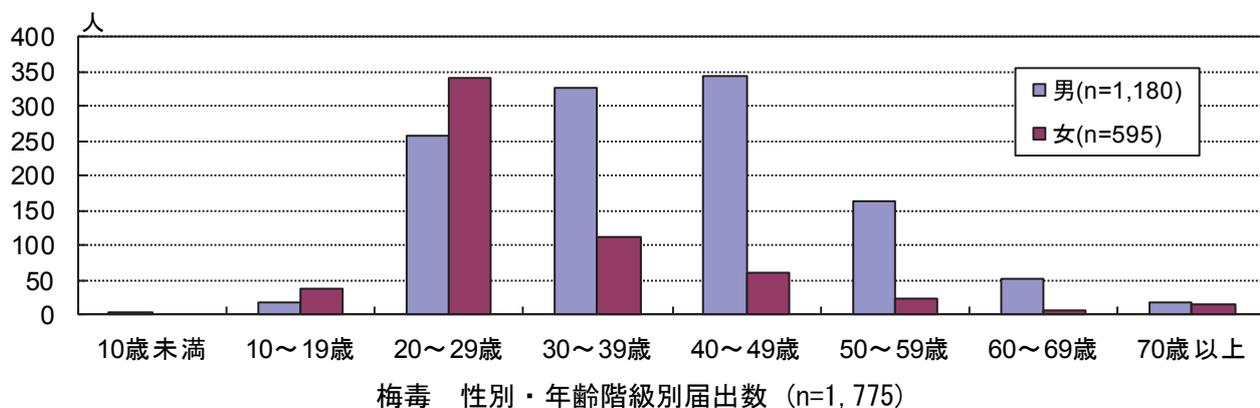
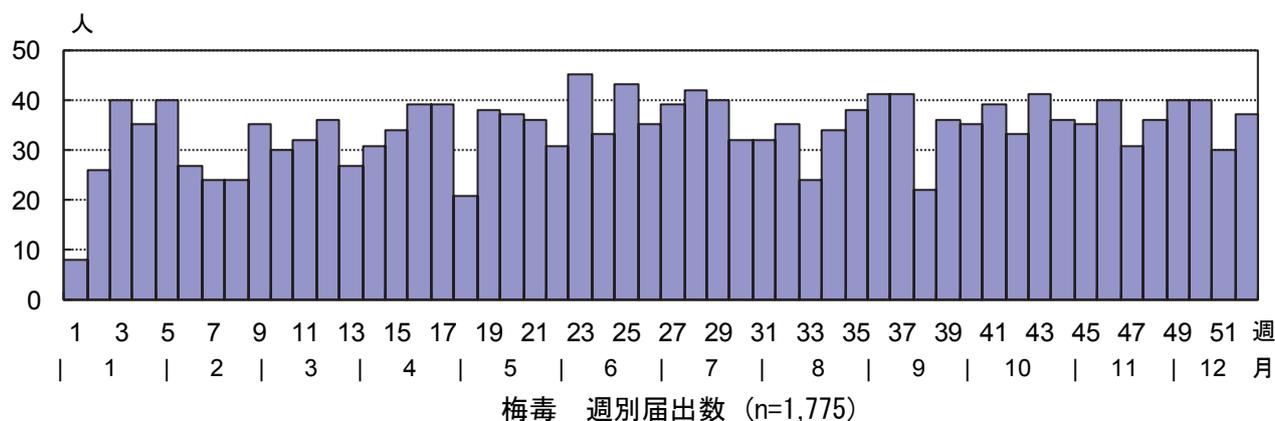
⑮ 梅毒

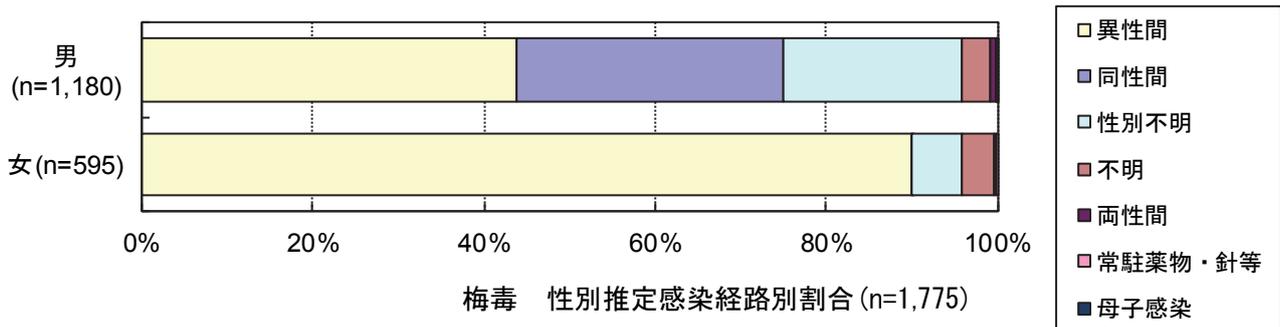
2018 年は 1,775 件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒 I 期 555 件、早期顕症梅毒 II 期 717 件、晩期顕症梅毒 30 件、無症候 472 件、先天梅毒 1 件であった。性別は男性 1,180 人、女性 595 人であつ

た。年齢階級別では10歳未満（新生児）1人、10～19歳56人、20～29歳596人、30～39歳436人、40～49歳405人、50～59歳187人、60～69歳61人、70歳以上33人で、20～49歳の男性が925人で全体の52.1%を占めた。一方、20～29歳596人のうち女性が339人で56.9%を占めた。

推定感染地は国内1,663件、国外22件、国内又は国外（タイ1件、渡航先不明3件）4件、不明86件であり、国外感染例22件の推定感染国は、タイ7件、韓国2件、中国2件、台湾、インドネシア、シンガポール、マレーシア、イギリス、ベルギー各1件、ロシア又はスペイン1件、渡航先不明4件であった。

推定感染経路は性的接触1,709件（同性間369件、異性間1,053件、両性間8件、性別不明279件）、母子感染1件、同性間性的接触又は静注薬物常用1件、性的接触（性別不明）又は針等の鋭利なものへの刺入による感染1件、不明63件となった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

2018年は18件の届出があった。性別は男性9人、女性9人で、年齢階級別では30～39歳1人、50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上13人であった。死亡例は4人報告された。

推定感染地は国内17件、不明1件であった。推定感染原因は免疫不全14件（ステロイド加療中5件、関節リウマチ加療中3件、癌加療中2件、HIV、低栄養、糖尿病各1件、状況不明1件）、鳥類の糞などとの接触1件、不明3件であった。

⑰ 破傷風

2018年は8件の届出があった。性別は男性3人、女性5人で、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳1人、70歳以上2人であった。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路はすべて創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、なし4件、不明4件であった。

⑱ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2018年は7件の届出があった。性別は男性3人、女性4人で、年齢階級別では50～59歳1人、60～69歳2人、70歳以上4人であった。菌種は *Enterococcus faecium* 5件、*Enterococcus faecalis* 2件、耐性遺伝子は *vanB* 3件、*vanM* 1件、不明3件であった。

推定感染地は国内6件、不明1件であった。推定感染経路は抗生剤使用による耐性1件、以前の入院時に感染・保菌1件、不明5件であった。

⑲ 百日咳

2018年の届出は2,434件であった。性別は男性1,114人、女性1,320人で、年齢階級別では10歳未満1,257人（うち0歳104人、1～4歳110人）、10～19歳578人、20～29歳85人、30～39歳153人、40～49歳204人、50～59歳85人、60～69歳40人、70歳以上32人であった。

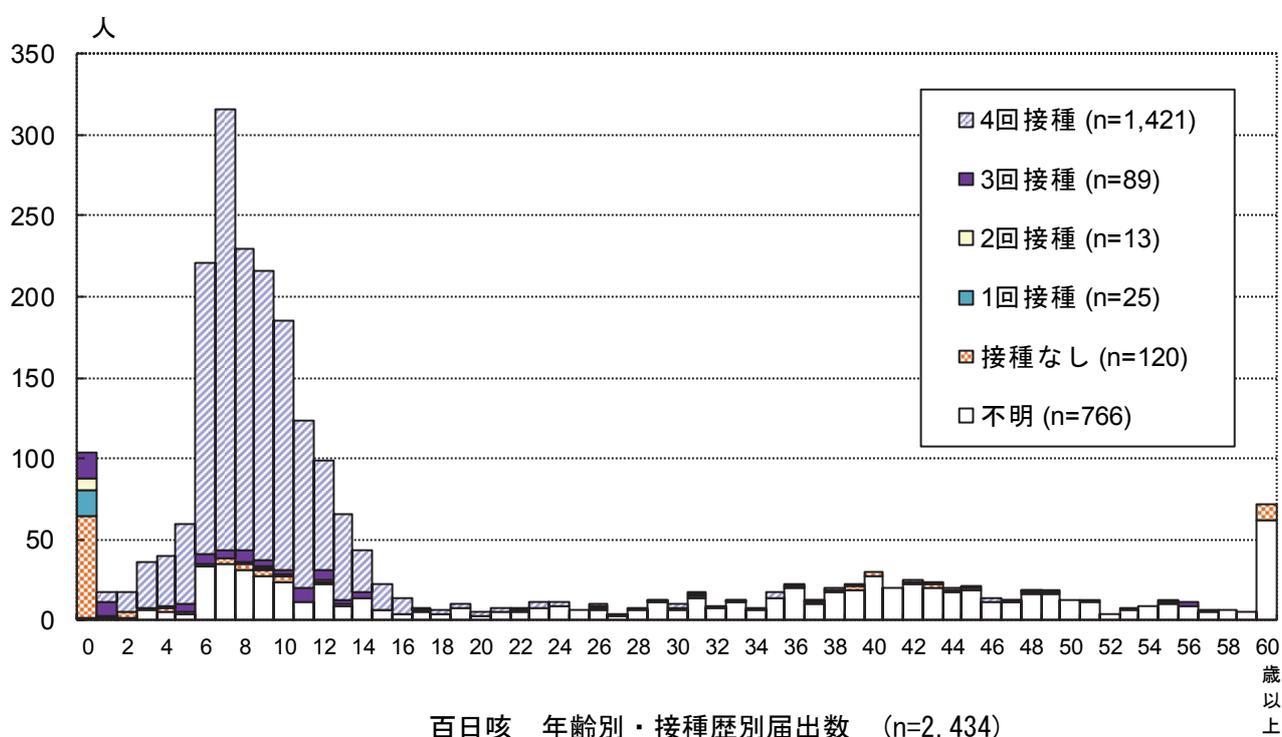
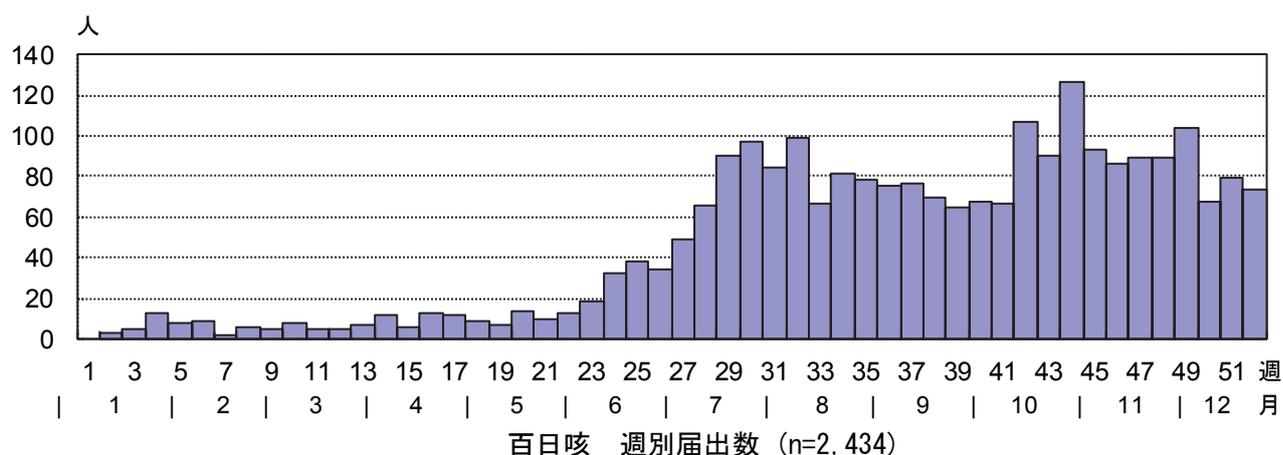
推定感染地は国内2,122件、国外（モンゴル3件、中国、ブラジル各1件）5件、国内又は国外（韓国、ベトナム、米国各1件、渡航先不明4件）7件、不明300件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4回1,421件、3回89件、2回13件、1回25件、なし120件、不明766件であった。

診断方法は、分離同定15件、遺伝子検査（LAMP法）1,375件、遺伝子検査（PCR法）26件、抗体検査981件、その他の検査32件、臨床決定66件であった。

菌種同定を行ったのは7件で、菌種はいずれも *Bordetella pertussis* であった。遺伝子型が判明したの

は 8 件で、MLST-2 型が 6 件、MLST-4 型が 1 件、MLST-2 及び 3 型が 1 件であった。



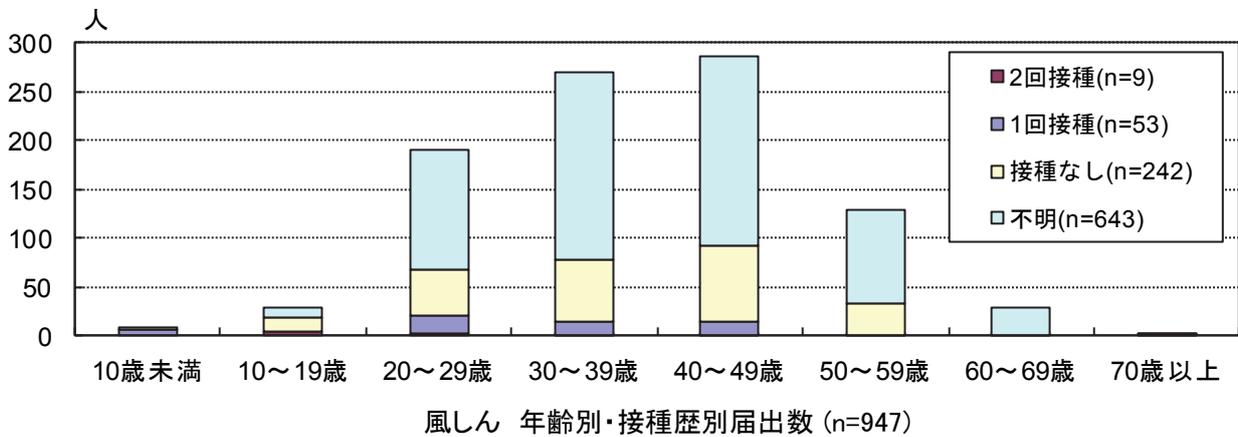
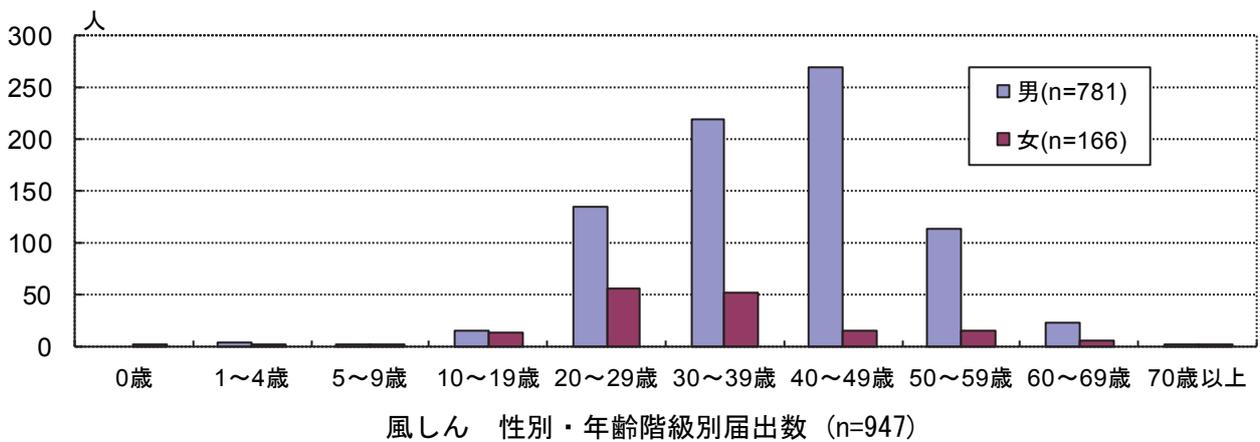
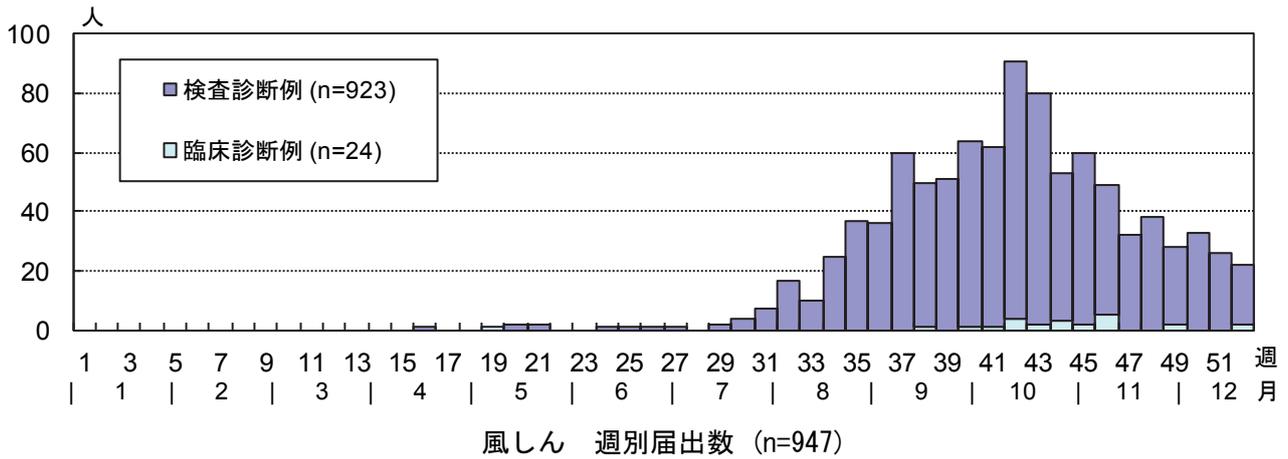
⑳ 風しん

2018 年の届出は 947 件であった。検査診断例 923 件（うち PCR 陽性例は 515 件）、臨床診断例 24 件であった。先天性風疹症候群はなかった。

性別は男性 781 人、女性 166 人で、年齢階級別では 10 歳未満 10 人（うち 5 歳未満 7 人）、10～19 歳 29 人、20～29 歳 190 人、30～39 歳 271 人、40～49 歳 286 人、50～59 歳 129 人、60～69 歳 29 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 752 件、国外（韓国、香港、フィリピン、インドネシア、インド、ジャマイカ、チリ各 1 件）7 件、国内又は国外（スイス）1 件、不明 187 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2 回 9 件、1 回 53 件、なし 242 件、不明 643 件であった。



② 麻しん

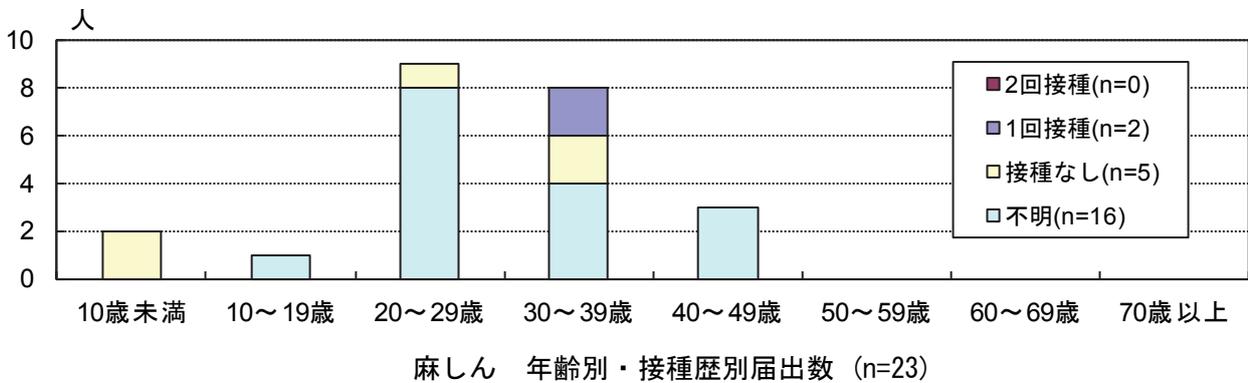
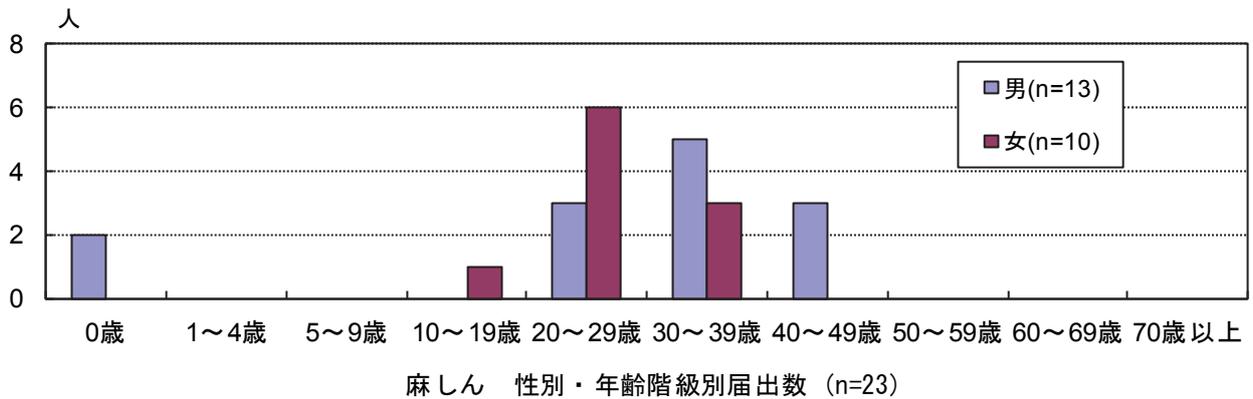
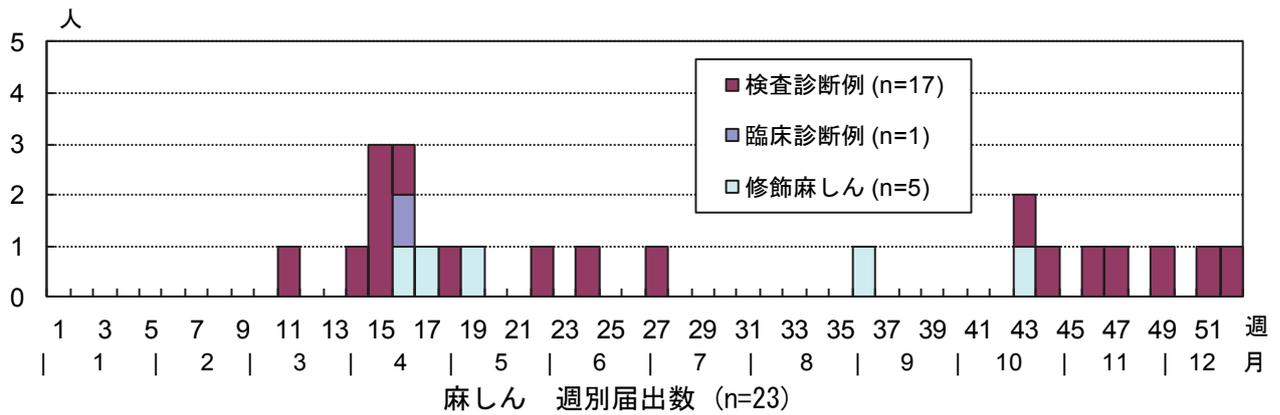
2018年は23件の届出があった。検査診断例17件、臨床診断例1件、修飾麻しん5件であった。肺炎、脳炎の合併の報告はなかった。

性別は男性13人、女性10人で、年齢階級別では10歳未満2人(すべて5歳未満)、10~19歳1人、20~29歳9人、30~39歳8人、40~49歳3人であった。推定感染地は国内12人、国外(タイ3件、シンガポール、フィリピン、ベトナム、マレーシア各1件)7人、国内又は国外(中国又はマレーシア)1件、不明3件であった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、1回2件、なし5件、不明16件であった。

PCR検査で麻しんウイルス陽性が確認された例は21件あり、それらの遺伝子型別の内訳はD8型

19 件、B3 型 1 件、H1 型 1 件で、D8 型が 90.5%を占めた。



麻しん届出例 (n=23)

受理日	性別	年齢	遺伝子型	推定感染地域	ワクチン接種歴
3/15	男	23	D8	タイ	不明
4/7	女	23	D8	タイ	不明
4/10	女	35	D8	国内	なし
4/12	男	30	D8	国内	不明
4/13	女	24	D8	国内	不明
4/18	女	36	D8	国内	なし
4/19	男	39	不明	国内	不明
4/20	女	17	D8	国内	不明
4/27	男	46	D8	国内	不明
5/1	女	22	D8	国内	不明
5/7	女	32	D8	国内	1回

6/3	男	0	D8	シンガポール	なし
6/12	男	30	H1	中国又はマレーシア	不明
7/4	男	29	D8	タイ	なし
9/3	男	33	B3	フィリピン	1回
10/24	女	23	D8	不明	不明
10/26	女	23	D8	国内	不明
10/29	男	23	不明	不明	不明
11/17	男	0	D8	不明	なし
11/22	女	29	D8	国内	不明
12/7	男	47	D8	国内	不明
12/18	男	34	D8	マレーシア	不明
12/30	男	48	D8	ベトナム	不明

⑳ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2018年は4件の届出があった。性別は男性3人、女性1人で、50～59歳1人、70歳以上3人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染原因は院内感染2件、以前からの保菌1件、その他（不明）1件であった。

㉑ その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

週	期 間	一 類							二 類							三 類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ベスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	バラチフス
1	1. 1～ 1. 7																	2		
2	1. 8～ 1. 14														1	1				
3	1. 15～ 1. 21														2					
4	1. 22～ 1. 28																1			
5	1. 29～ 2. 4														2	1				
6	2. 5～ 2. 11														2	2	1	1		
7	2. 12～ 2. 18														2	1		1		
8	2. 19～ 2. 25														2	2				
9	2. 26～ 3. 4															1				
10	3. 5～ 3. 11														1			1		
11	3. 12～ 3. 18														1	1	1			
12	3. 19～ 3. 25																			
13	3. 26～ 4. 1														2	2				
14	4. 2～ 4. 8															4				
15	4. 9～ 4. 15															3				
16	4. 16～ 4. 22														1	4		1		
17	4. 23～ 4. 29															5		1		
18	4. 30～ 5. 6															3				
19	5. 7～ 5. 13															7	1			
20	5. 14～ 5. 20															5	1			
21	5. 21～ 5. 27														1	8				
22	5. 28～ 6. 3														1	8		1		
23	6. 4～ 6. 10														2	14				
24	6. 11～ 6. 17															11				
25	6. 18～ 6. 24														1	9				
26	6. 25～ 7. 1														2	10				
27	7. 2～ 7. 8														1	13				
28	7. 9～ 7. 15															21	1			
29	7. 16～ 7. 22														1	9				
30	7. 23～ 7. 29														1	39				
31	7. 30～ 8. 5															20	1			
32	8. 6～ 8. 12															24		1		
33	8. 13～ 8. 19															30				
34	8. 20～ 8. 26														1	28	1			
35	8. 27～ 9. 2														1	38				
36	9. 3～ 9. 9														1	15				
37	9. 10～ 9. 16														1	18				
38	9. 17～ 9. 23														1	12	1			
39	9. 24～ 9. 30														1	13				
40	10. 1～10. 7														1	10				
41	10. 8～10. 14														1	4	2			
42	10. 15～10. 21														8	16				
43	10. 22～10. 28														26	7				
44	10. 29～11. 4														6	12				
45	11. 5～11. 11														1	5				
46	11. 12～11. 18															3		1		
47	11. 19～11. 25														2	5				
48	11. 26～12. 2														4	10		1		
49	12. 3～12. 9														17	1				
50	12. 10～12. 16														9	5		1		
51	12. 17～12. 23														2					
52	12. 24～12. 30															4				
	合 計														109	466	11	10		

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

週	期 間	四 類											
		E型 肝炎	A型 肝炎	オウ ム病	Q 熱	つ つが 虫病	デ ン グ 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	1. 1～ 1. 7						2	1					
2	1. 8～ 1.14		3				1					1	
3	1.15～ 1.21	3	3			1	2					1	
4	1.22～ 1.28	1	2				1					2	
5	1.29～ 2. 4	1	1									3	
6	2. 5～ 2.11		8			2	1					3	
7	2.12～ 2.18	3	3				1					3	
8	2.19～ 2.25	2	9			1	1					2	
9	2.26～ 3. 4	2	6				1					2	
10	3. 5～ 3.11	2	7				1					1	
11	3.12～ 3.18	2	13				1					3	
12	3.19～ 3.25	1	10						1				
13	3.26～ 4. 1		7				2						
14	4. 2～ 4. 8	3	9				1						
15	4. 9～ 4.15	3	8						1			1	
16	4.16～ 4.22	1	14								1	1	
17	4.23～ 4.29		10				1					1	
18	4.30～ 5. 6		10										
19	5. 7～ 5.13	6	10									3	
20	5.14～ 5.20	1	21				2					4	
21	5.21～ 5.27	1	18						1			3	
22	5.28～ 6. 3	2	10									1	1
23	6. 4～ 6.10	2	16										
24	6.11～ 6.17	5	14						2			2	
25	6.18～ 6.24	2	11				1		2			8	
26	6.25～ 7. 1		7				1					6	
27	7. 2～ 7. 8	5	13				1					6	
28	7. 9～ 7.15	2	12	1			1					4	
29	7.16～ 7.22	1	21				1					2	
30	7.23～ 7.29	1	6									6	
31	7.30～ 8. 5	1	8				1		1				
32	8. 6～ 8.12	3	14		2		2		1			4	
33	8.13～ 8.19	3	11				1					5	
34	8.20～ 8.26	1	12				4					7	
35	8.27～ 9. 2	1	5				3		2			5	
36	9. 3～ 9. 9	1	6				2		1	1		6	
37	9.10～ 9.16	6	10				3					6	
38	9.17～ 9.23	2	7				2					9	
39	9.24～ 9.30	1	4				6		1			10	2
40	10. 1～10. 7	3	9				1					6	
41	10. 8～10.14	5	5	1			2					8	
42	10.15～10.21	1	3				2					6	2
43	10.22～10.28		7				1					3	
44	10.29～11. 4	4	7			1	1					2	
45	11. 5～11.11	5	5			1	3					2	
46	11.12～11.18	2	7									1	
47	11.19～11.25	4	2				1						
48	11.26～12. 2	2	5			1	1					3	
49	12. 3～12. 9		5			1	1						
50	12.10～12.16	2	4			1	1					1	
51	12.17～12.23	1	3						1			6	
52	12.24～12.30	1				3						5	
	合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-1(3) 五類(全数把握)感染症 週別患者報告数

2018年第1週~2018年第52週

週	期 間	五 類																						
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く)	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
1	1. 1~ 1. 7	1		3		2			3	1		1		7	1	8								
2	1. 8~ 1.14	3		1		4		1	2	2	1		16		26	1				3				
3	1.15~ 1.21	3		6		3		1	3	6		1	15		40					5				
4	1.22~ 1.28	2	1	2		3			1	10	2	1	15		35	1				13				
5	1.29~ 2. 4	4				5			4	8			9	2	40					8				
6	2. 5~ 2.11		2	3		1		1	5	13		1	14	1	27	2				9				
7	2.12~ 2.18	5		3		1			4	4			7		24					2				
8	2.19~ 2.25	2		1					2	12			1	11	2	24	1			6				
9	2.26~ 3. 4	4	1	2		1			4	6	1	1	10		35					5				
10	3. 5~ 3.11	2		2		1				7			3		30	1				8				
11	3.12~ 3.18	4	3	3		1	1	1	3	11			4	1	32			1		5		1		
12	3.19~ 3.25	2		2		3			2	6	1	1	4	4	36	1	1			5				
13	3.26~ 4. 1	6		1		2			2	6	2		1	11	27	1				7			1	
14	4. 2~ 4. 8	3		7		1			1	7	1	1	1	10		31				12		1		
15	4. 9~ 4.15	4	1	6				1	3	11			10	1	34					6		3		
16	4.16~ 4.22	5	1	4					2	10	1		5	1	39	1				13	1	3	1	
17	4.23~ 4.29	4	2	4		1			3	3			13	3	39					12		1		
18	4.30~ 5. 6	2		3	1	2			2	3		2	5		21					9		1		
19	5. 7~ 5.13	4	1	5					4	10		1	9	1	38					7	1	1		
20	5.14~ 5.20	1	1	4		1		1	1	8		3	1	17	1	37				14	2			
21	5.21~ 5.27	1	3	6	1	2		1	1	8	1		7	1	36	1				10	2			
22	5.28~ 6. 3	2	1	6			1		2	8		2	11	1	31					13		1		
23	6. 4~ 6.10	1	2	8					1	13				9	3	45				19				
24	6.11~ 6.17	7	1	1		1			1	8		1	6	3	33			1		32	1	1	1	
25	6.18~ 6.24	1	1	4		1			3	2	11	1	6	1	43					38	1			
26	6.25~ 7. 1	11	1	2		1			2	10		1	4		35					34	1			
27	7. 2~ 7. 8	3	2	6		1			2	2	5	1	4	2	39	1				49	1	1		
28	7. 9~ 7.15	3		2					1	6			3	2	42					66				
29	7.16~ 7.22	2	2	3		2	1		1	5		1	4		40	1		1		90	2			
30	7.23~ 7.29	3	1	5		1			1	11	1	1	3	1	32		1			97	4			
31	7.30~ 8. 5	1	1	4		2			2	9		1	6	2	32	1				84	7			
32	8. 6~ 8.12	3	4	6		2				13			3	3	35					99	17			
33	8.13~ 8.19	2	2	5				1	1	8		1	4	1	24					67	10			
34	8.20~ 8.26	3	1	6	1					8		1	4	2	34	1		1		81	25			
35	8.27~ 9. 2	6	1	2		2			1	7	2		9	2	38					78	37			
36	9. 3~ 9. 9	3	1	8		1			1	8	1	1	3		41	1				76	36	1		
37	9.10~ 9.16	4	3	8				1	4	4			2	1	41		1	1		77	60			
38	9.17~ 9.23	3	1	5						10	1	1	2	1	22					70	50			
39	9.24~ 9.30	4	2	7		1		1	3	8		1	2	1	36		2			65	51			
40	10. 1~10. 7	3	3	9	1				1	9		3	5	2	35					68	64			
41	10. 8~10.14	1	2	11				1	3	3	1	1	7		39		2			67	62			
42	10.15~10.21	7	4	4	1				2	1	9		2	1	1	33	1			107	91		1	
43	10.22~10.28	3	1	9	1	4			1	1	7	1	2		10	1	1			90	80	2		
44	10.29~11. 4	2	2	2	1				1	1	7		1		6	1	1			126	53	1		
45	11. 5~11.11			4		1			1	2	15			4	1	35	1			93	60			
46	11.12~11.18	1	1	5		3			1	11	2		14	2	40					86	49	1		
47	11.19~11.25	9	3	4					1	8		1	10		31		1	1		89	32	1		
48	11.26~12. 2	2	2	3		2			1	9		1	14	1	36	1				89	38			
49	12. 3~12. 9		4	7		1		1	1	9		1	12		40					104	28	1		
50	12.10~12.16	3	3	5	1	1			1	8			8	2	40					68	33			
51	12.17~12.23	8		8					2	12		2	9	1	30			1		79	26	1		
52	12.24~12.30		1	6		4			1	11			14	4	37					74	22	1		
合計		163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4	

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	一 類							二 類						三 類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田															2	16	2		
中央区																			
みなと															3	15			1
新宿区															7	12			4
文京															4	12	2		2
台東																5			
墨田区																9	2		
江東区															2	14			
品川区															2	10			
目黒区															32	11			1
大田区															4	32			
世田谷															6	55			
渋谷区															2	4	1		
中野区															1	12			
杉並																15	1		
池袋															5	17	1		
北区															2	11			
荒川区															1	2			
板橋区																28			
練馬区															1	15			
足立																13			
葛飾区															26	8			
江戸川																13			
八王子市																18			2
町田市																9			
西多摩															3	6			
南多摩																12			
多摩立川															1	11			
多摩府中															3	53	2		
多摩小平															2	27			
島しょ																1			
合 計															109	466	11		10

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	四 類											
	E型 肝炎	A型 肝炎	オウ ム病	Q 熱	つ つが 虫病	デ ン グ 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
千代田	10	4									3	
中央区	3	1				3					3	1
みなと	6	47			1	5		3			5	
新宿区	11	131		2		27		5		1	10	3
文京	10	54	1			6	1	2			5	1
台東		2									2	
墨田区	5	15				1		2			1	
江東区	1	9				1					3	
品川区	6	4									10	
目黒区	7	12				1					6	
大田区	8	13				5					16	
世田谷	1	7							1		4	
渋谷区	2	8	1			1					4	
中野区		14									6	
杉並	1	12				3					3	
池袋		2									1	
北区	3	12									6	
荒川区		3									2	
板橋区	10	27				3					15	
練馬区		8									3	
足立	1	1									5	
葛飾区	3	3			1						4	
江戸川	1	1									1	
八王子市	1	4						1			6	
町田市	3	3									1	
西多摩	2	1			2						2	
南多摩	2	5									5	
多摩立川		2									10	
多摩府中	1	12			1	3					11	
多摩小平	3	4				2		1			11	
島しょ					7							
合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-2(3) 五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週~2018年第52週

	五 類																					
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く)	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	7		4				2	1	1			7		24					23	26		
中央区	4		7		2			1	1			4	1	48					32	18		
みなと	18	7	21		3		2	25		1		14	1	178					72	58		
新宿区	26	18	11		6		1	8	140	6	3	1	34	5	760	2		1	39	50	2	
文京	12	4	12		1	1	3	8	38	3	2	1	31	7	54	5	1	2	132	20		
台東	3		1						9				4		135	1			37	18		
墨田区	5	1	8	1	4	1		4	10		2		11	3	15	1	2		60	21	2	
江東区	3	3	13		1			1	3			1	5	1	21	1			91	31		
品川区	6	6	14				2	9	11	1	1		7	3	14	1			162	48		
目黒区	2	1	4		3		1	3	4	1			9	2	8		1		47	20	2	
大田区	2	4	8	1	7			4	8	2	2		17	9	24	1	1	1	75	48	1	
世田谷	12	2	6	1	14		1	3	6	1	1		9	1	32				264	63		
渋谷区	4		12					1	64		2		12	3	54	1			15	30	1	
中野区	6	2	7				2	1	11				4	3	20				49	38		
杉並	4	6	3		1			2	14		1		9	3	13				37	36		
池袋	4							1	3				1		86				19	29		
北区	6	1	2						8		2		10	1	15				11	22		
荒川区	2	2	2		5		2		2		1		4		11				21	17		
板橋区	8	8	20		2		2	3	15		1		33	3	43	1	1		81	51	7	4
練馬区	5		4	2	1	1	1	2	5		3		17		10	1			69	40	1	
足立	1	1	5	1				1	1		2		4	1	9			2	53	44		
葛飾区	2		1		1		1	2	2		1		8		15	1			30	17		
江戸川	4		3		1			6	5				6		23			1	81	29	1	
八王子市			7				2		2		1	1	12	2	18				133	13	1	
町田市	1		12		1			1	2				5		25				83	14	2	
西多摩								1	1		1		2		6		1		120	4		
南多摩	1	2	3		1			1	1		1		19	2	15				130	12	1	
多摩立川	6		7				2	2	8		1	1	21	1	31				115	23		
多摩府中	4		27	2	11		4	5	17	3	8		55	8	48	2	1		288	55	1	
多摩小平	5	1	9				1	14	5		3	1	27	1	20				47	52	1	
島しょ																			18			
合 計	163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	一 類							二 類						三 類						
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	
0歳																	2			
1～4歳																35	60			
5～9歳																21	37	2		
10～14歳																	23	1	1	
15～19歳																	32			
20～24歳															6	68	6	1		
25～29歳															6	49	2	2		
30～34歳															7	38				
35～39歳															10	32		2		
40～44歳															5	19		2		
45～49歳															4	11				
50～54歳															5	22		2		
55～59歳															1	21				
60～64歳															4	8				
65～69歳															3	9				
70歳以上															2	35				
合 計															109	466	11	10		

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	四 類											
	E型 肝炎	A型 肝炎	オウム 病	Q熱	つつが 虫病	デング 熱	ボツリ ヌス症	マラリ ア	ライム 病	類鼻 疽	レジオ ネラ症	レプト スピラ 症
0歳											1	
1～4歳				1								
5～9歳								1				
10～14歳												
15～19歳		4				6						1
20～24歳	2	43				7		1				
25～29歳	2	70				9				1	1	
30～34歳	1	72	1			9		2	1			
35～39歳	6	68			1	7		2				
40～44歳	14	62		1		7					1	
45～49歳	11	46	1			6		1			4	1
50～54歳	10	30			1	5		4			14	1
55～59歳	17	17			2	1		1			13	1
60～64歳	13	3			2	2		1			14	
65～69歳	9	6			1	1	1				32	
70歳以上	16				5	1		1			84	1
合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-3(3) 五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	五 類																					
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			14	1	3			2			5		15	2	1				104	1	2	
1～4歳			2	3	33						2		45	1					110	6		
5～9歳	1	1		3	11								11	2					1043	3		
10～14歳			3	1	3					1			4	2					517	4		
15～19歳	2		1		2				4					1	56				61	25	1	
20～24歳	6	13			1	1		2	58	2			1	4	311				43	56	7	
25～29歳	4	11	1			1			78	5	1		5	9	285		1		42	134	2	
30～34歳	7	8	1		1	1		1	77	2			6	7	225		1		57	147	5	
35～39歳	10	7	1					5	54	3		1	11	4	211	1			96	124	3	
40～44歳	18	12	5		2			1	47	1	1		11	8	222		1		118	179		
45～49歳	25	6	4					3	55	1		2	12	4	183				86	107	3	
50～54歳	28	4	9					2	26	2		1	12	3	124	1	1		45	84		1
55～59歳	18	2	12				2	4	11	1	1		17	6	63	1	1	1	40	45		
60～64歳	12	3	20		3			11	5	1		1	30	3	33	1	1		22	21		
65～69歳	16	1	21				2	7	5		1		46	2	28	1		2	18	8		
70歳以上	16	1	139		6		21	49	2		29	1	175	3	33	13	2	4	32	3		3
合 計	163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4

(2) 小児科・内科疾患

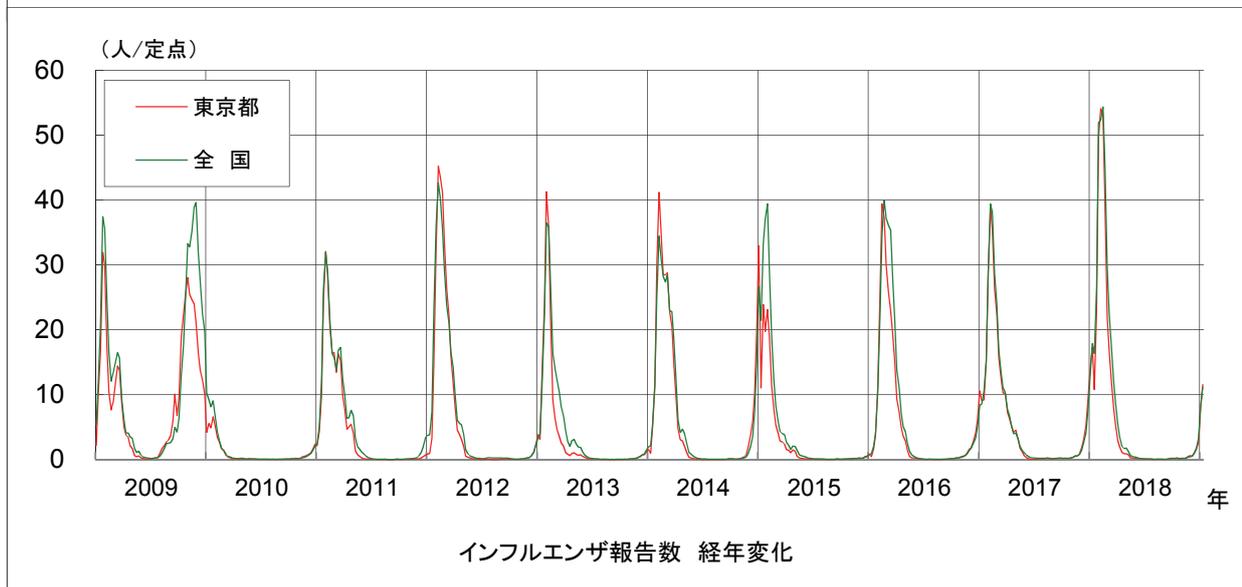
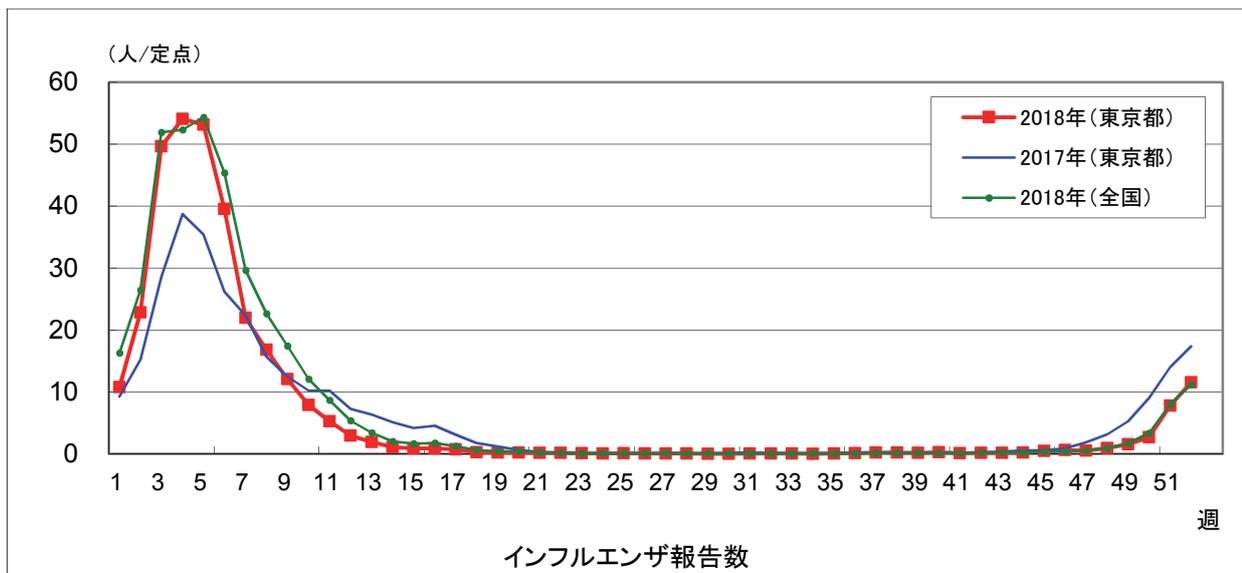
ア インフルエンザ

2018年の報告数は137,262人、定点当たり331.57人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は274.46人であり、2018年は例年と比べてやや多い報告数であった。

2017/18シーズンの流行は2017年47週(11.20~11.26)に定点当たり1.86人と1.0人を超え流行期に入り、51週(12.18~12.24)には14.03人と10.0人を超え、2018年の3週(1.15~1.21)には49.67人と30.0人を超え、4週(1.22~1.28)には54.10人とピークになった。その後10週(3.5~3.11)に7.90人と10.0を割り、15週(4.9~4.15)に0.86人と1.0人以下となり流行は終息した。

2018/19シーズンの流行は2018年49週(12.3~12.9)に1.57人と1.0人を超えて流行期に入り、52週(12.24~12.30)には11.54人と10.0人を超えた。なお2019年2週(1.7~1.13)に31.71人と30.0人を超え、4週(1.21~1.27)に64.18人とピークになった後、8週(2.18~2.24)には6.62人と10.0人以下となった。

2018年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の505.86人、最も少なかったのは品川区の170.68人であった。年齢階級別では1歳未満1,367人(1.0%)、1歳~10歳未満62,395人(45.5%)、10歳~20歳未満29,102人(21.2%)、20歳~60歳未満35,823人(26.1%)、60歳以上8,575人(6.2%)であった。



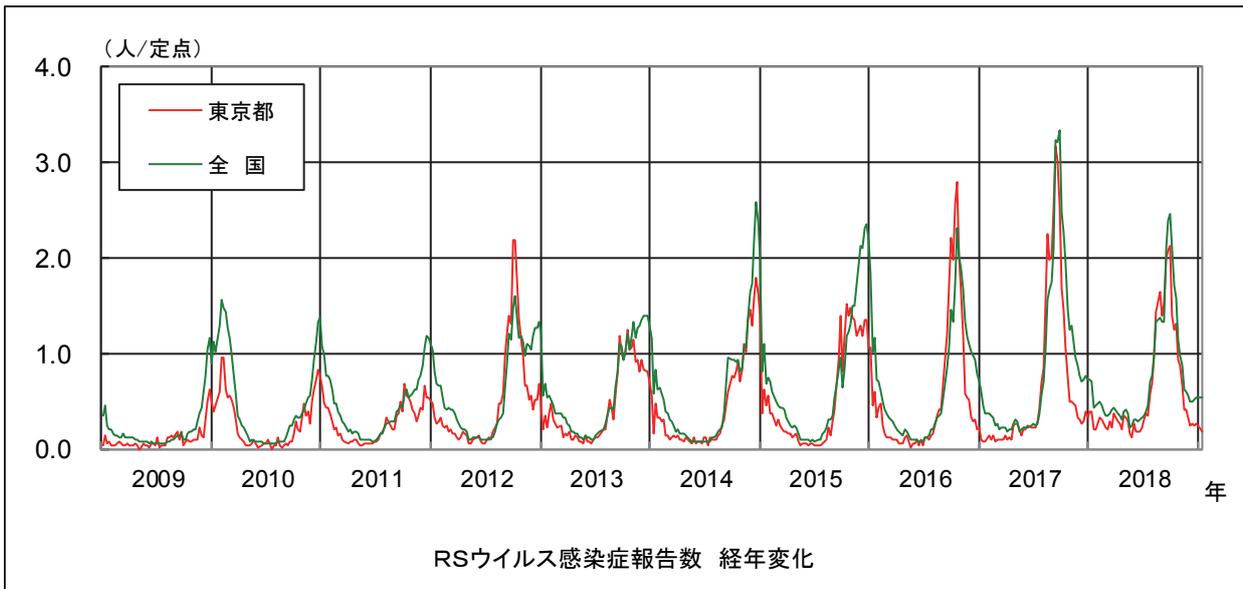
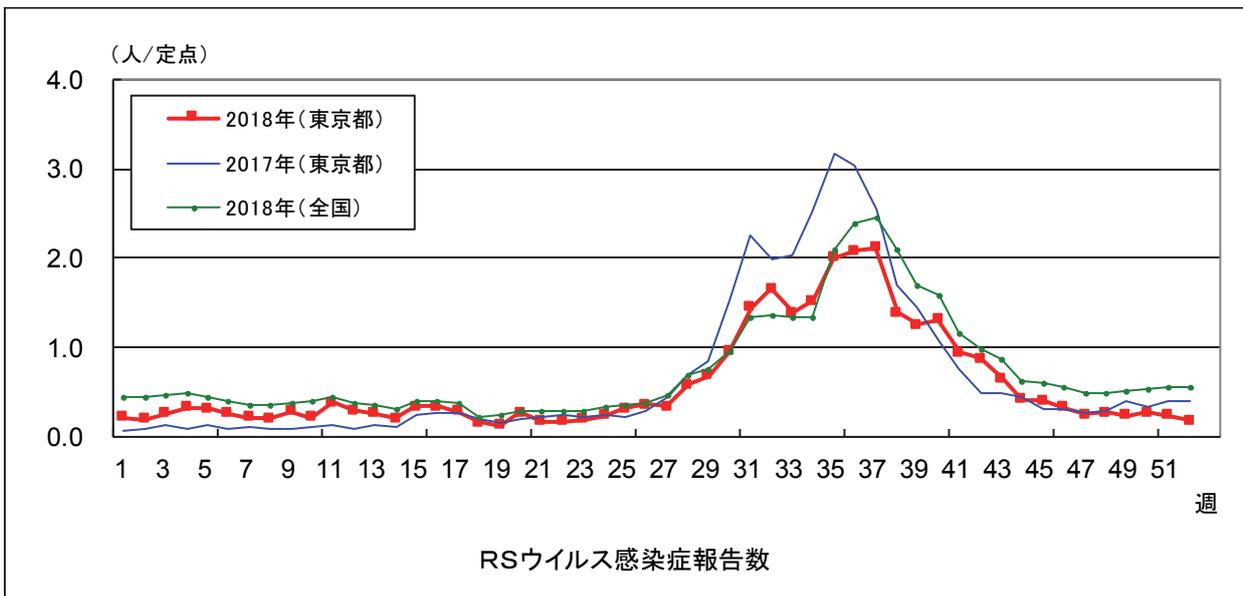
イ RSウイルス感染症

2018年の報告数は7,830人、定点当たりの報告数は30.49人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は22.57人であり、2018年の報告数はここ10年では2017年に次いで2番目に多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では28週(7.9~7.15)から43週(10.22~10.28)にかけて0.5人を超える大きな山があり、ピークは37週(9.10~9.6)の2.12人であった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の88.67人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が903人(11.5%)、6か月~12か月未満が1,849人(23.6%)、1歳代が3,175人(40.6%)、2歳代が1,148人(14.7%)と2歳以下で90.4%を占めている。



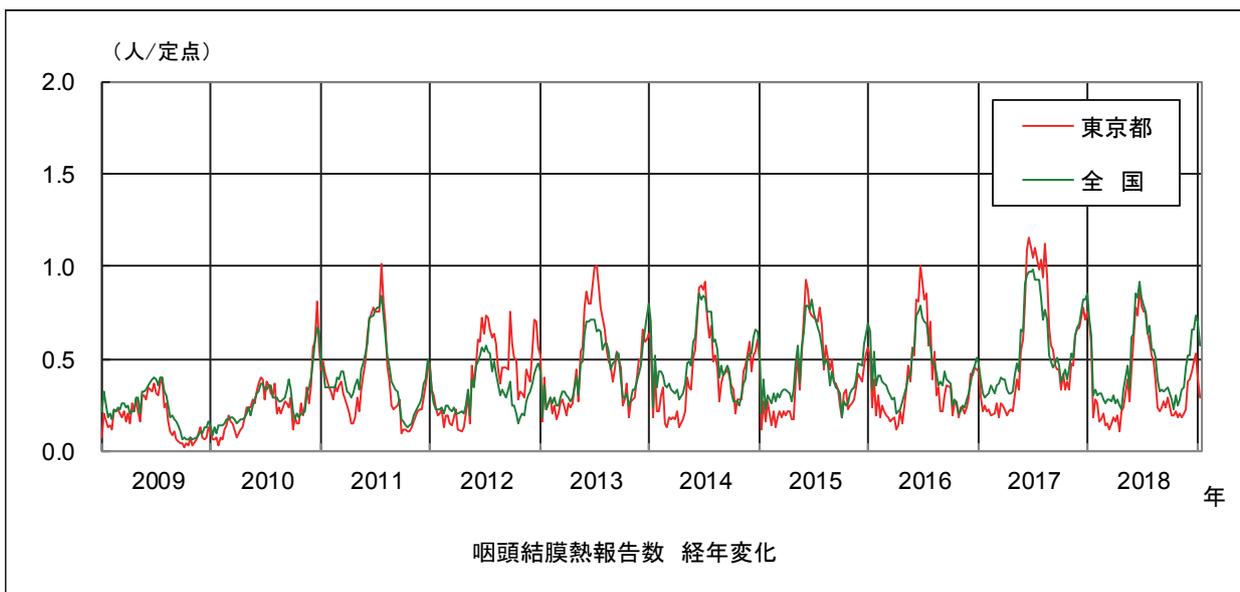
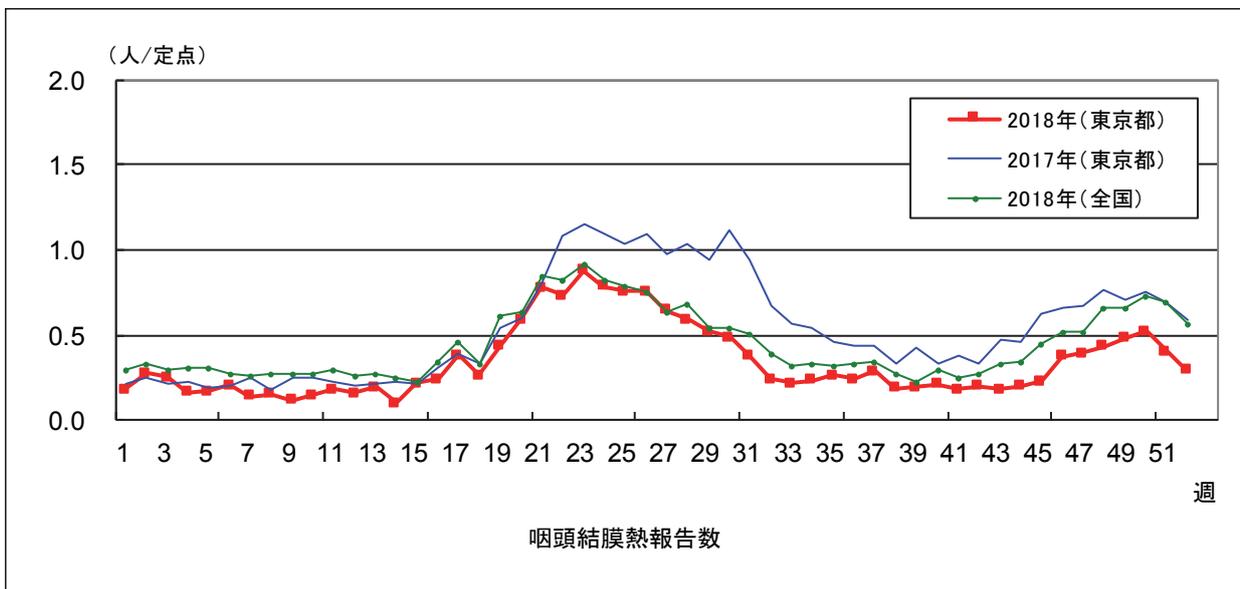
ウ 咽頭結膜熱

2018年の報告数は4,671人、定点当たりの報告は17.96人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.43人であり2018年の報告数はここ10年ではやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は19週(5.7~5.13)から30週(7.23~7.29)と48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて0.4人を超える二つの山があり、ピークは23週(6.4~6.10)の0.88人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の44.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,299人(27.8%)と最も多く、5歳以下で85.8%を占めている。



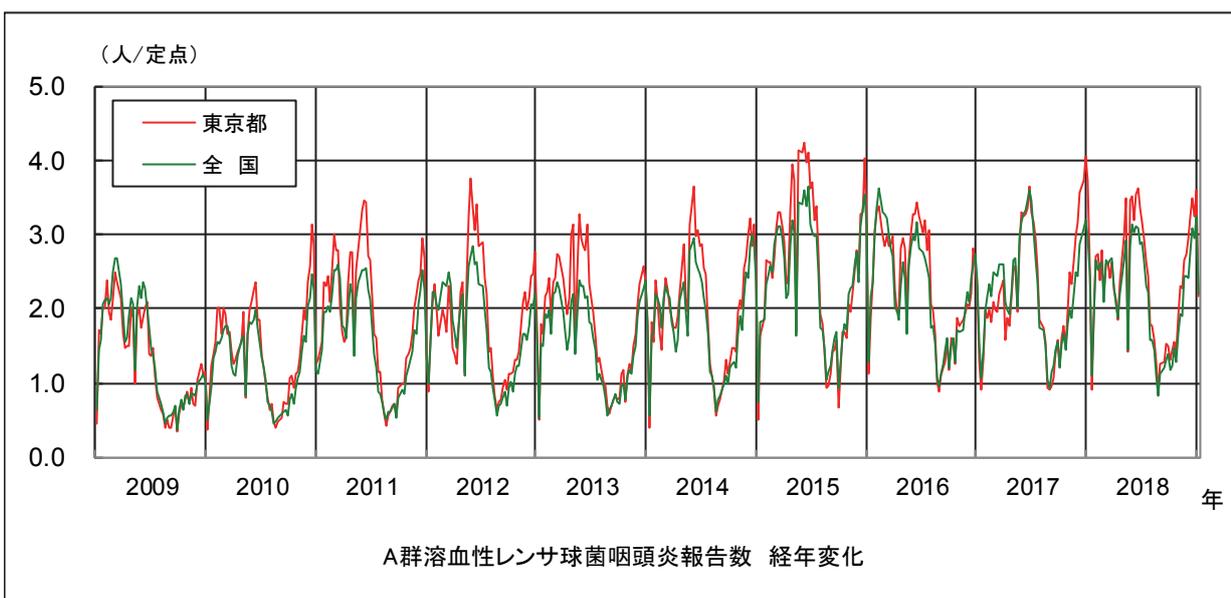
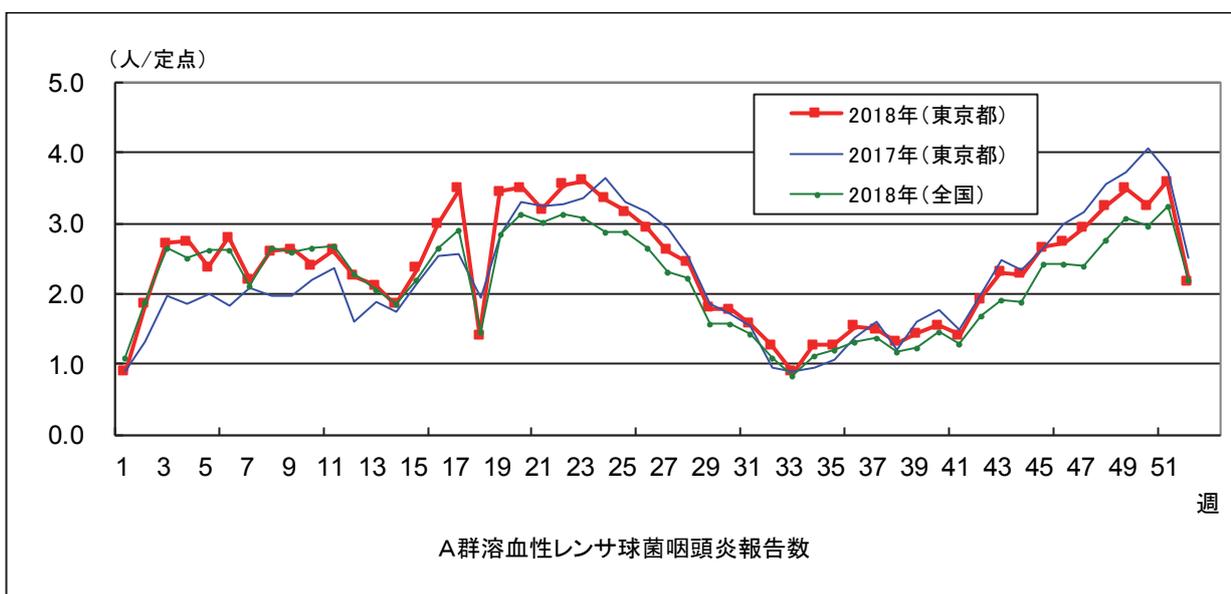
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2018年の報告数は32,120人であり、定点当たりの報告数は123.25人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は103.46人であり、2018年の報告数はここ10年では2015年に次いで2番目に多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では17週(4.23~4.29)から25週(6.18~6.24)にかけてと48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて3.0人を超える2つの山があり、ピークは23週(6.4~6.10)の3.61人と51週(12.17~12.23)の3.59人であった。なお18週(4.30~5.6)に報告数の減があるのは5月の連休の関係で診療日数の減があったためと思われる。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の219.25人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が4,406人(13.7%)と最も多く、3歳代から7歳代で60.2%を占めている。



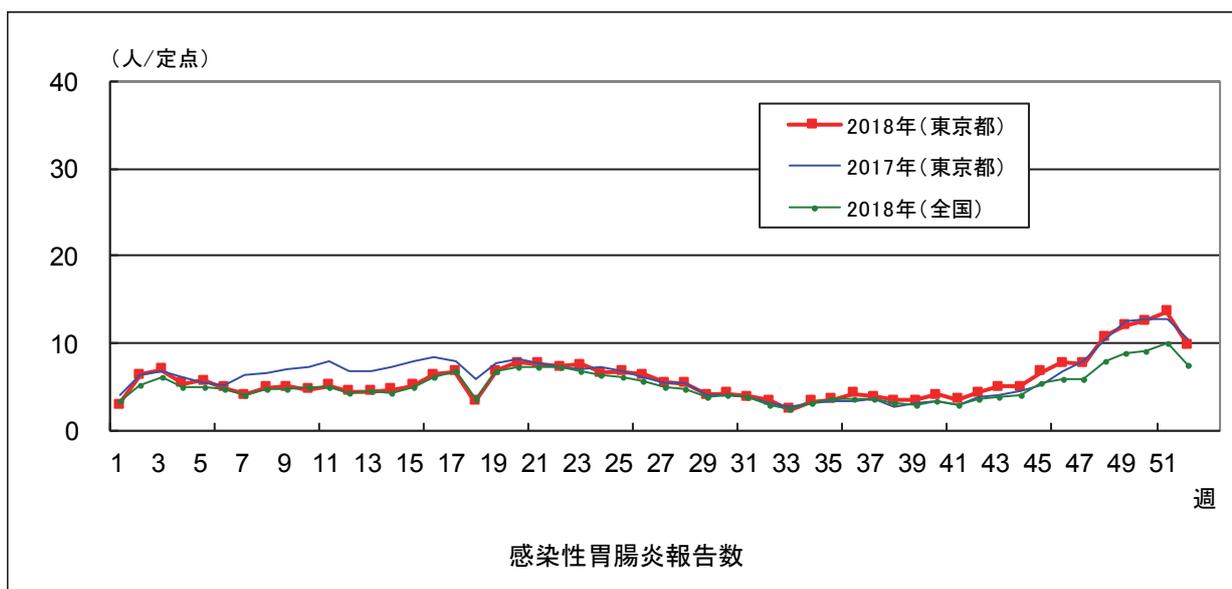
オ 感染性胃腸炎

2018年の報告数は79,282人、定点当たりの報告数は304.52人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は362.84人であり、2018年の報告数はここ10年では2009年に次いで2番目に少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告では48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて10.0人を超える山があり、ピークは51週(12.17~12.23)の13.64人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中央区の599.33人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が最も多く10,969人(13.8%)であった。

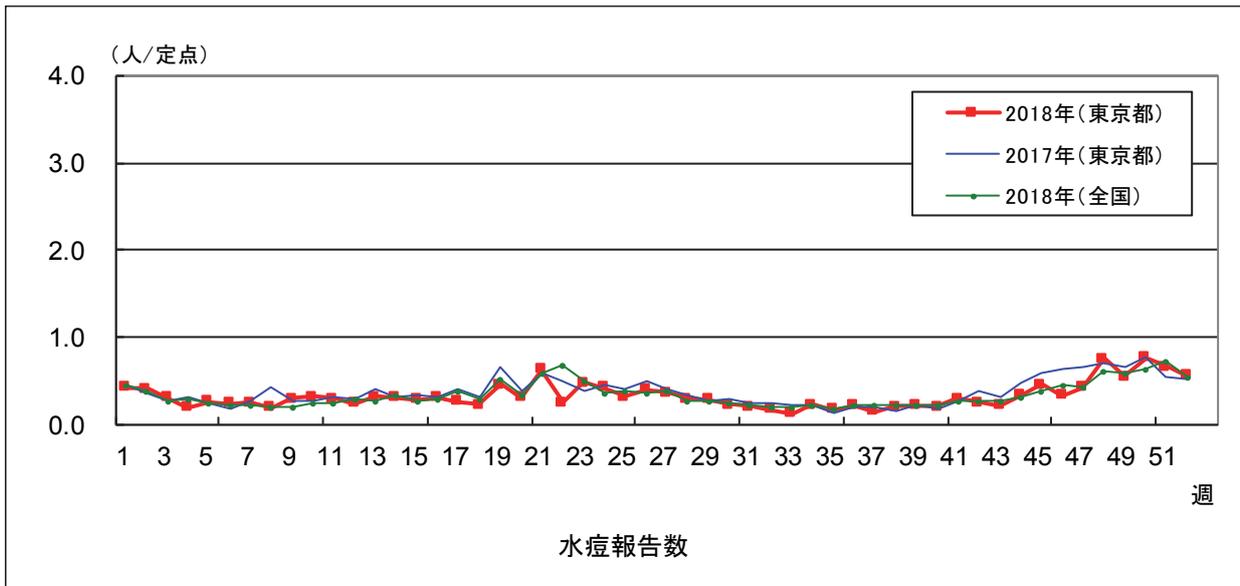


カ 水痘

2018年の報告数は4,515人、定点当たりの報告数は17.35人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は39.01人であり、2018年の報告数はこの10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では48週(11.26～12.2)から52週(12.24～12.30)にかけて0.5人を超える小さな山がありピークは50週(12.10～12.16)の0.77人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは町田市の30.63人であった。年齢階級別報告数では7歳代が646人(14.3%)と最も多かった。

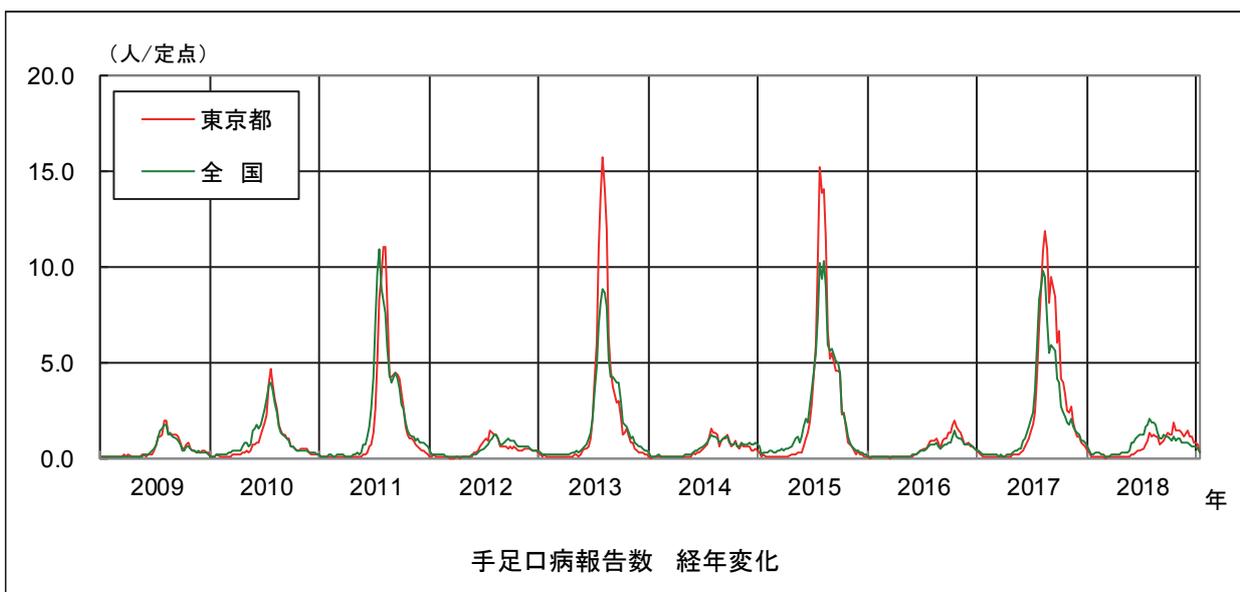
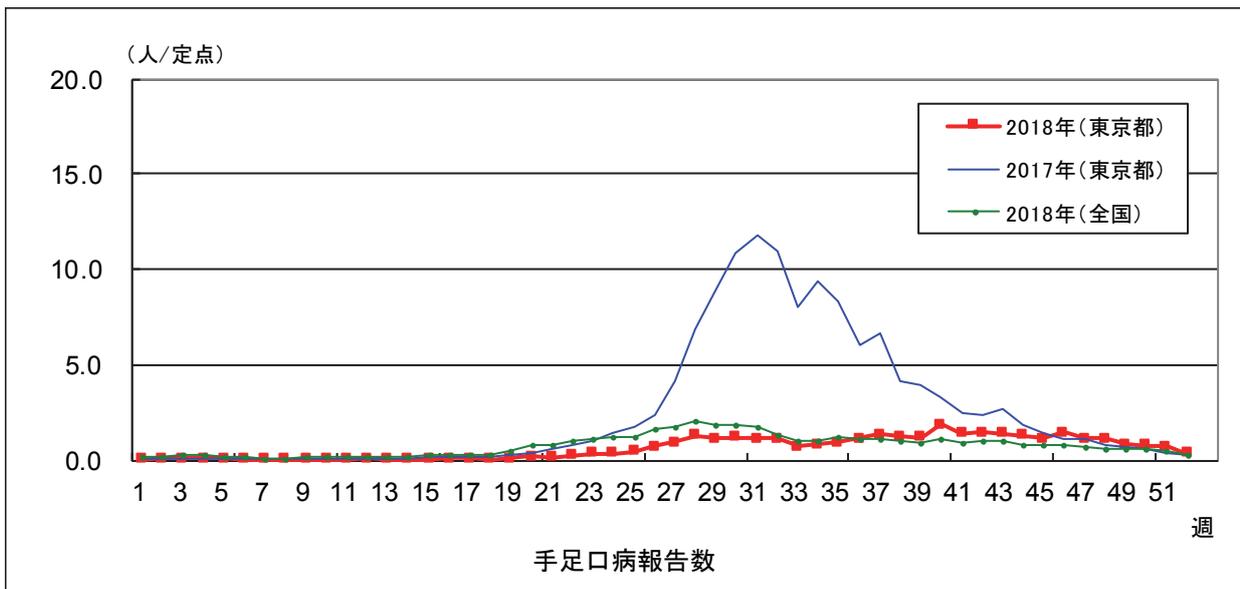


キ 手足口病

2018年の報告数は8,452人、定点当たりの報告数は32.65人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は63.59人であった。ここ10年では2011年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており2018年は報告数が少ない年にあたった。

週別定点当たりの報告数では28週(7.9~7.15)から32週(8.6~8.12)にかけてと36週(9.3~9.9)から48週(11.26~12.2)にかけて1.0人を超える2つに緩やかな山がみられる。ピークは40週(10.1~10.7)の1.86人である。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の132.75人であった。年齢階級別報告数では1歳代が2,460人(29.1%)と最も多かった。



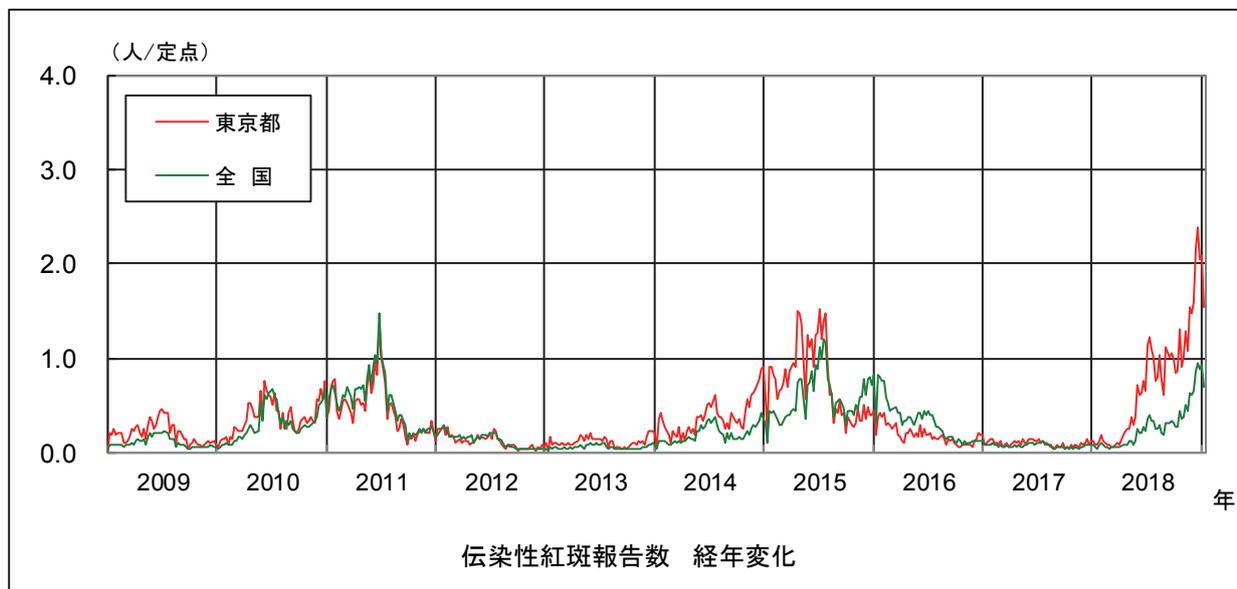
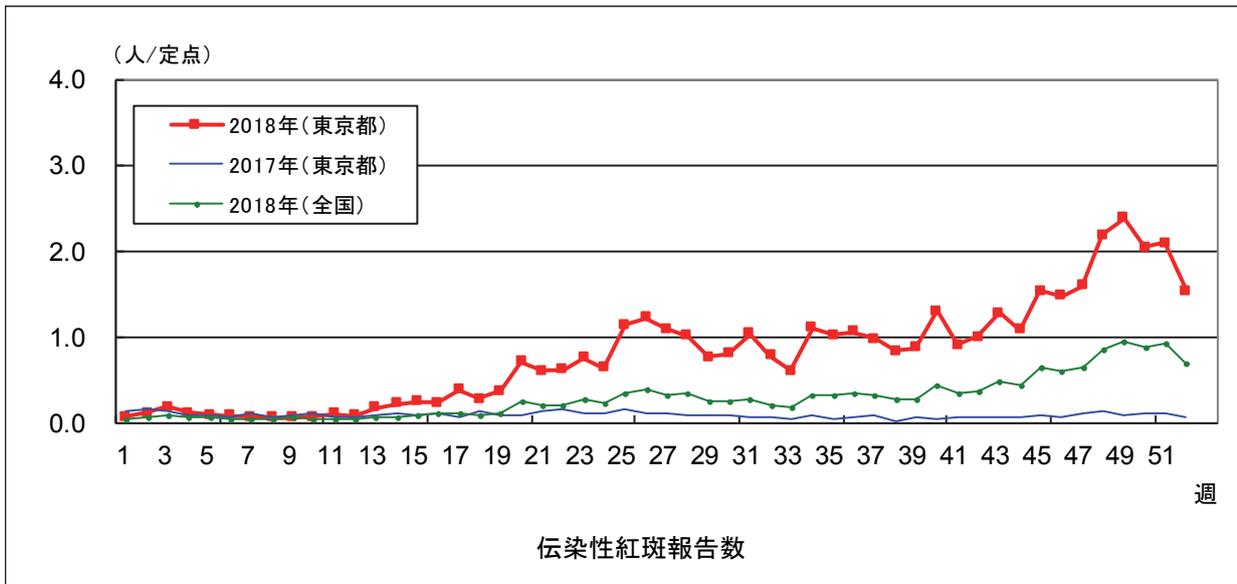
ク 伝染性紅斑

2018年の報告数は10,733人、定点当たりの報告数は41.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告の平均は18.15人であった。2018年の定点当たりの報告数はこの10年で最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では19週(5.7~5.13)頃より報告数の増加がみられ45週(11.5~11.11)以降は1.5人を超えて一段の増加がみられピークは49週(12.3~12.9)の2.39人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の86.45人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が1,962人(18.3%)と最も多かった。



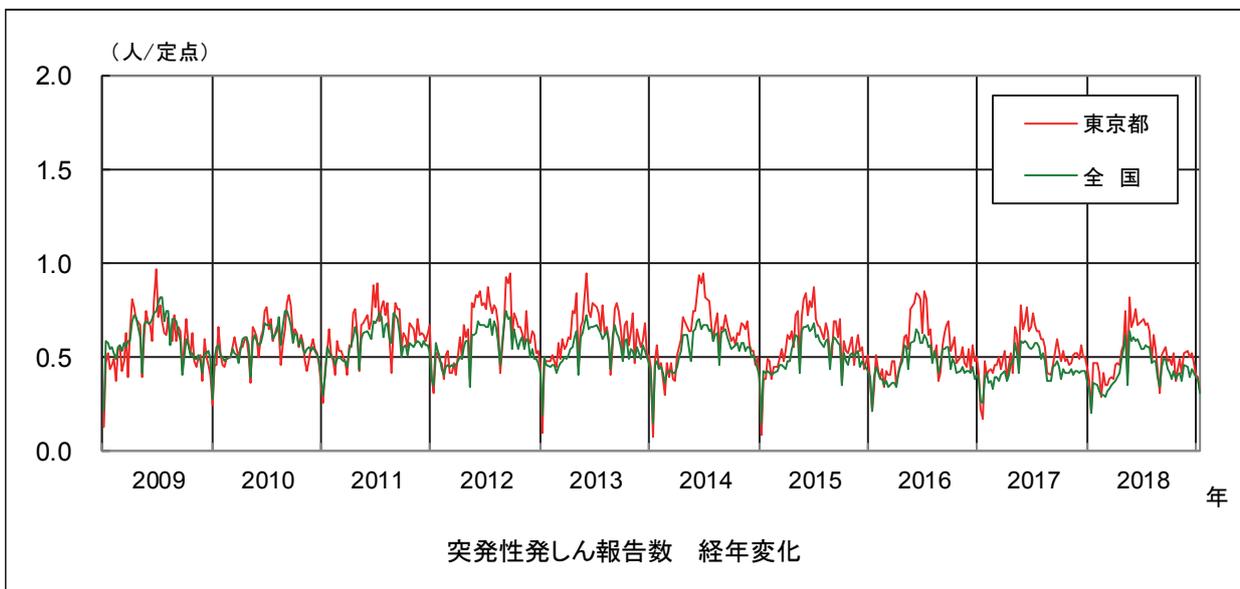
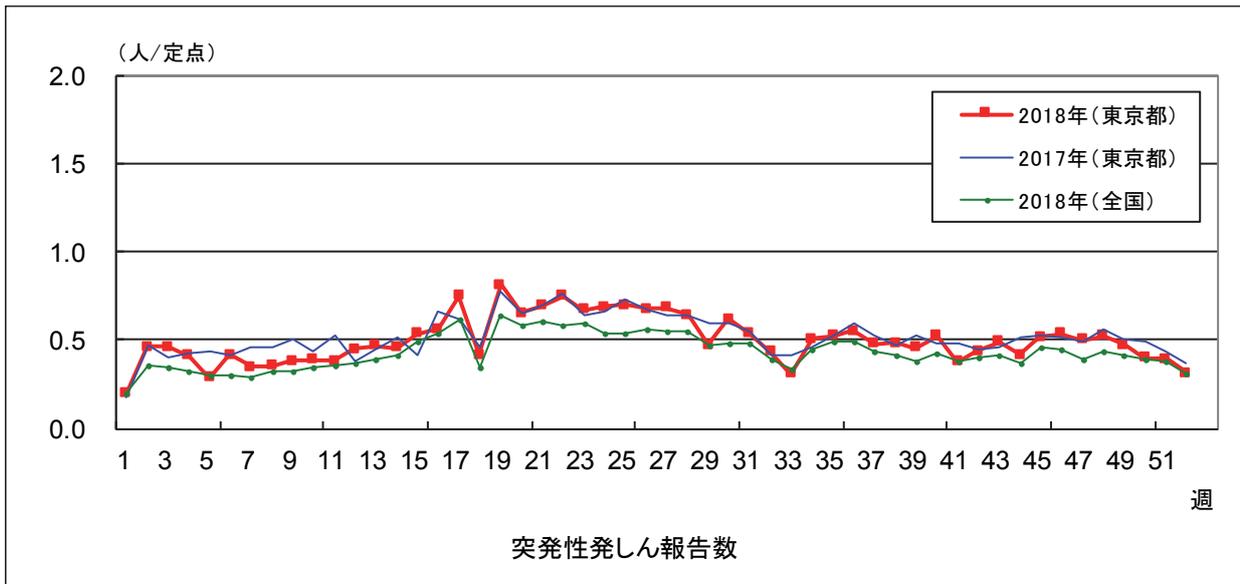
ケ 突発性発しん

2018年の報告数は6,771人、定点当たりの報告数は26.05人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.96人であった。2018年の定点当たりの報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年通りやや夏季に多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の53.75人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が3,439人（50.8%）と最も多かった。



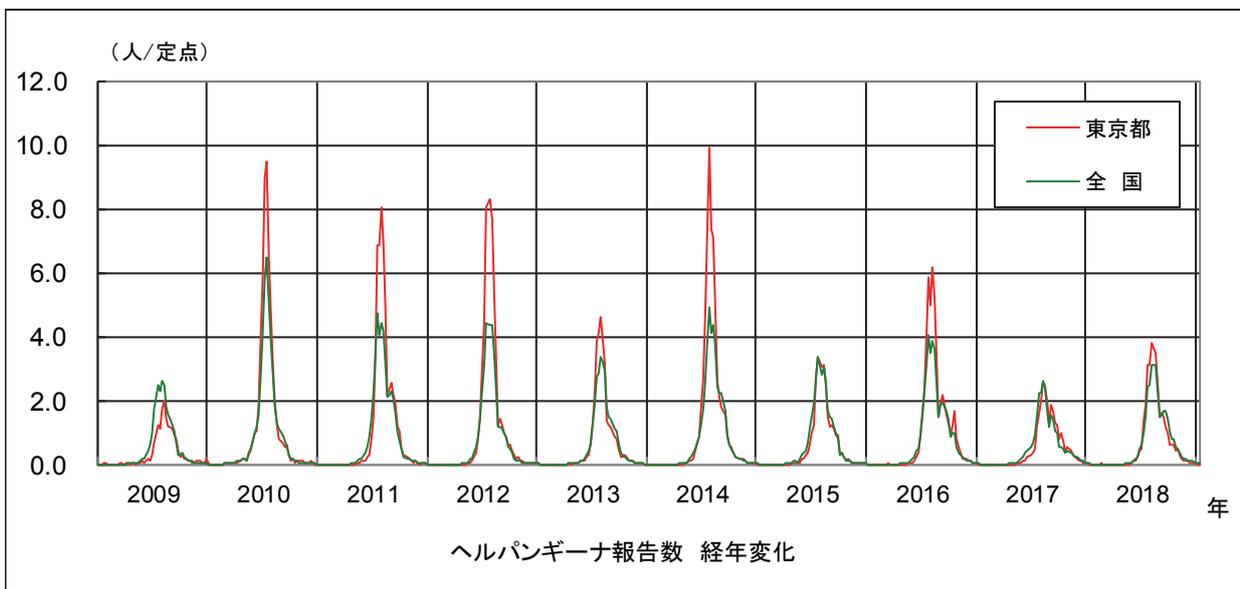
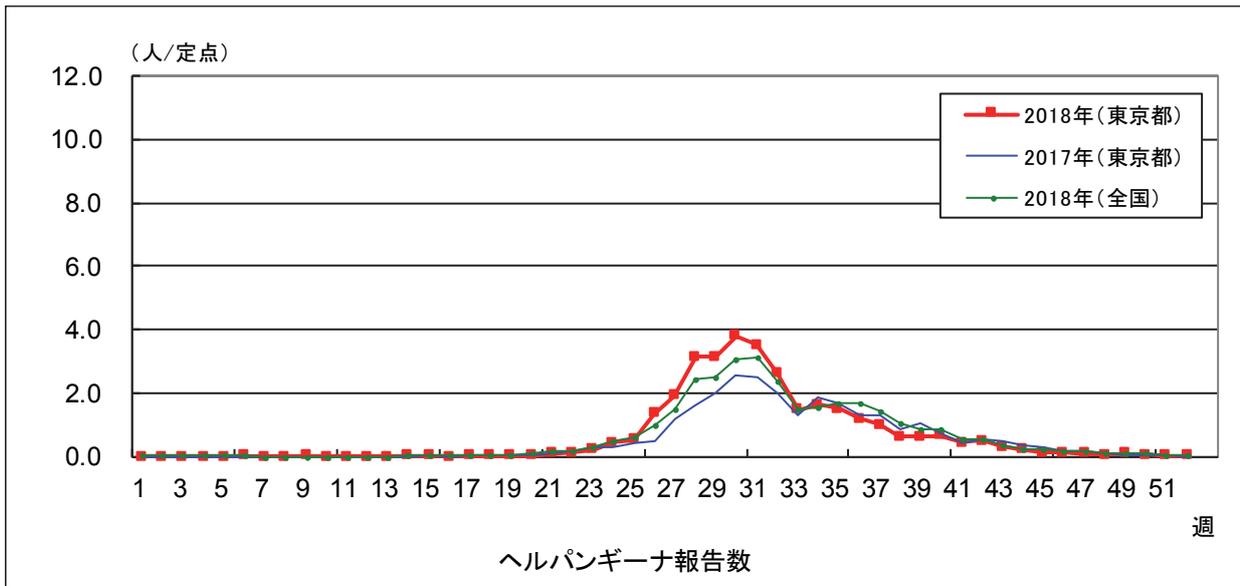
コ ヘルパンギーナ

2018年の報告数は8,188人、定点当たりの報告数は32.01人であった。ここ10年の定点当たりの平均は41.42人であり、2018年の定点当たりの報告数はやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では26週(6.25～7.1)から37週(9.10～9.16)にかけて1.0人を超える山があり、ピークは30週(7.23～7.29)の3.81人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区の56.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が2,565人(31.3%)と最も多かった。



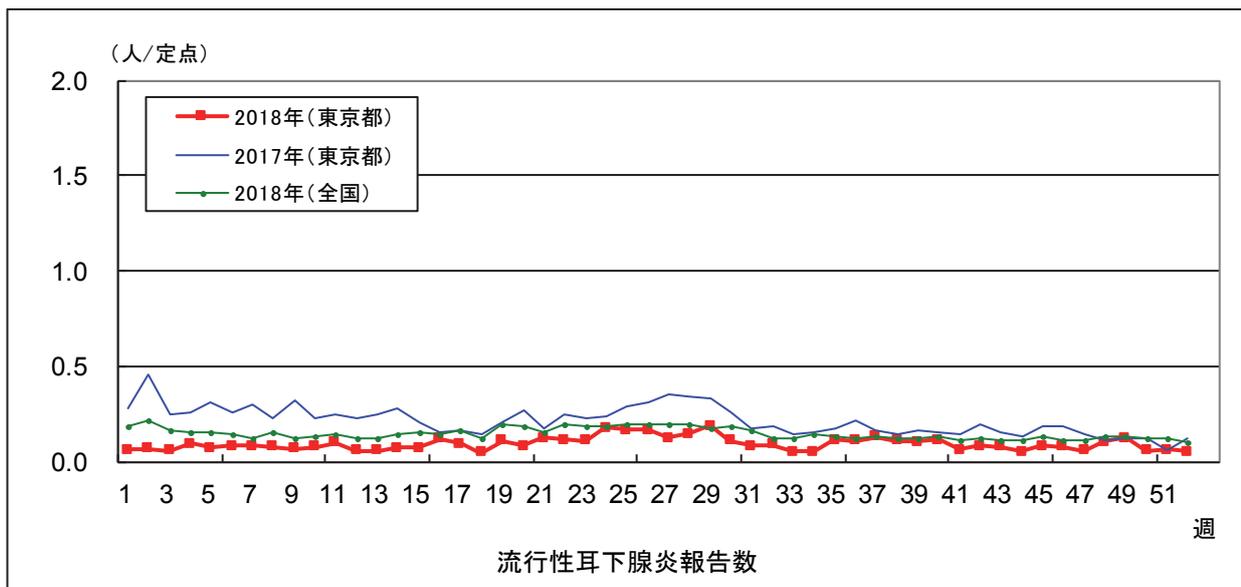
サ 流行性耳下腺炎

2018年の報告数は1,246人、定点当たりの報告数は4.79人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は18.81人であり、2018年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2010年と2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。最多の報告数は29週（7.16～7.22）の0.19人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の9.73人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が198人（15.9%）と最も多かった。

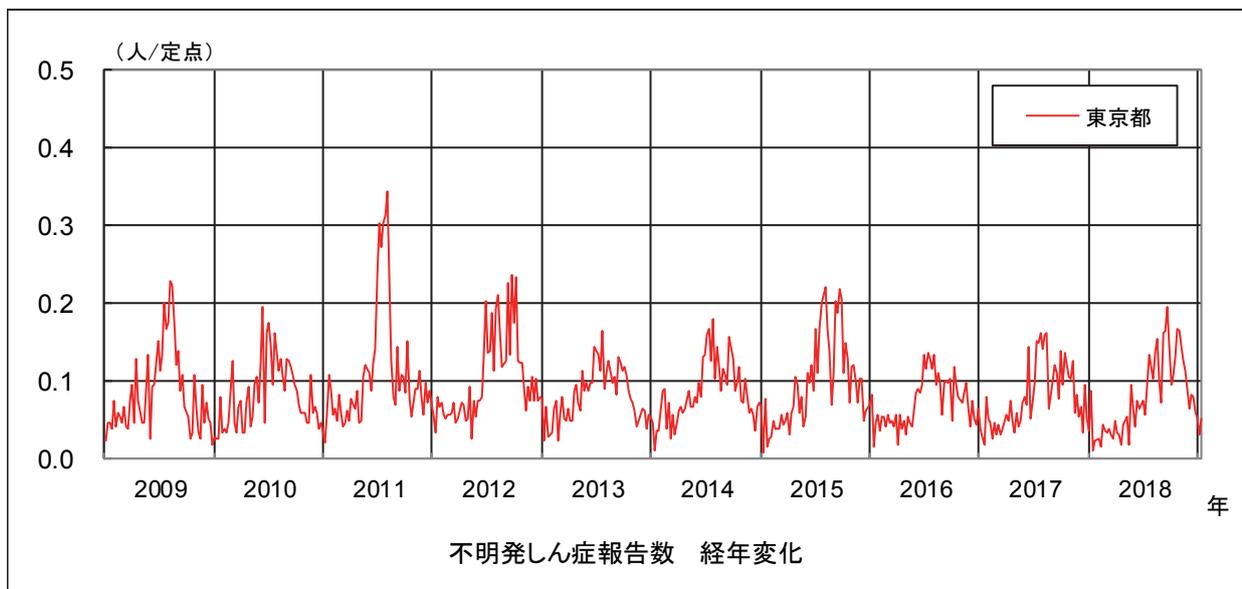
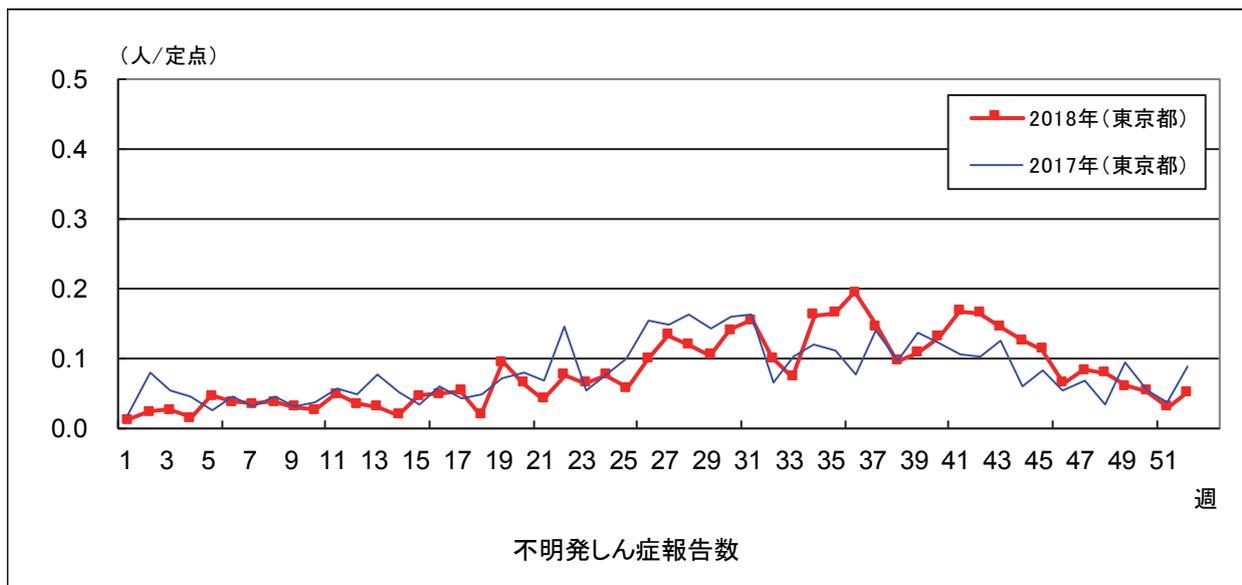


シ 不明発しん症

2018年の報告数は1,073人であり、定点当たりの報告は4.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は4.58人であり、2018年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では26週（6.25～7.1）から45週（11.5～11.11）にかけて0.1人を超える緩やかな山があり、ピークは36週（9.3～9.9）の0.20人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の9.40人であった。年齢階級別報告数では1歳代が319人（29.7%）と最も多かった。



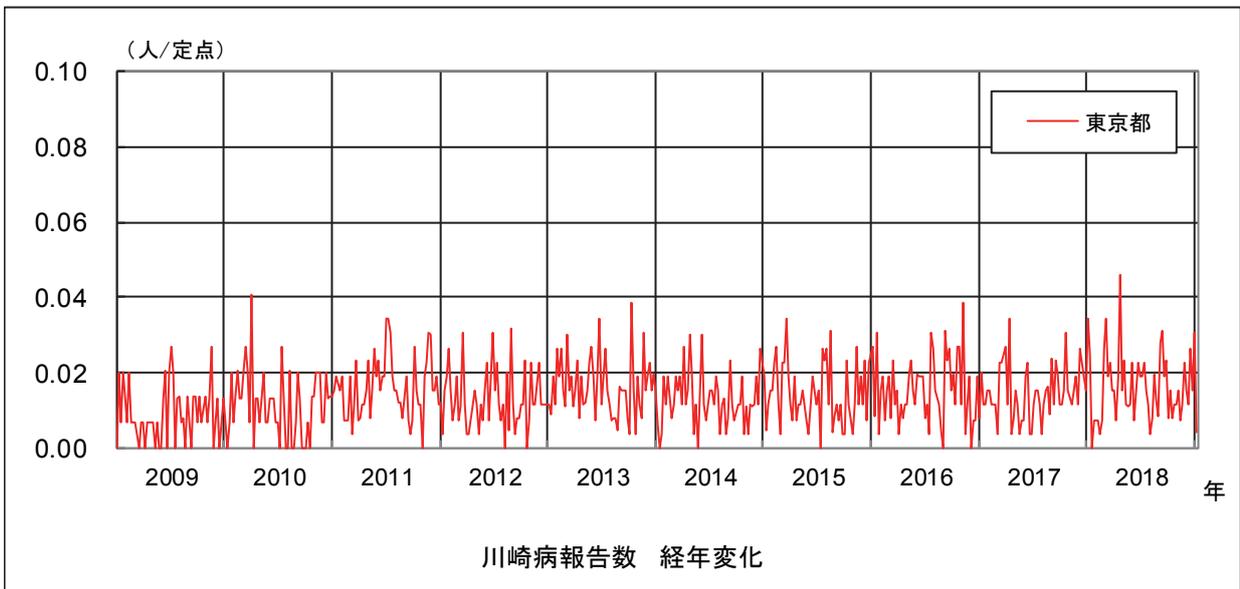
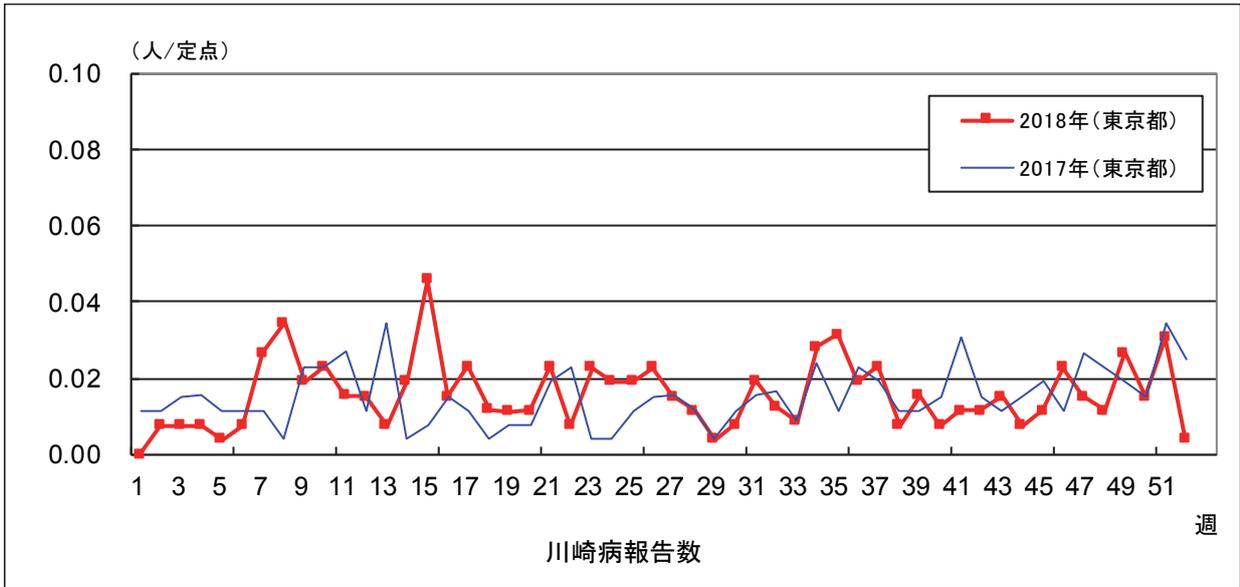
ス 川崎病

2018年の報告数は214人であり、定点当たりの報告数は0.82人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.73人であり、2018年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。最も多かったのは15週(4.9~4.15)の0.05人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは新宿区の5.66人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が63人(29.4%)と最も多かった。



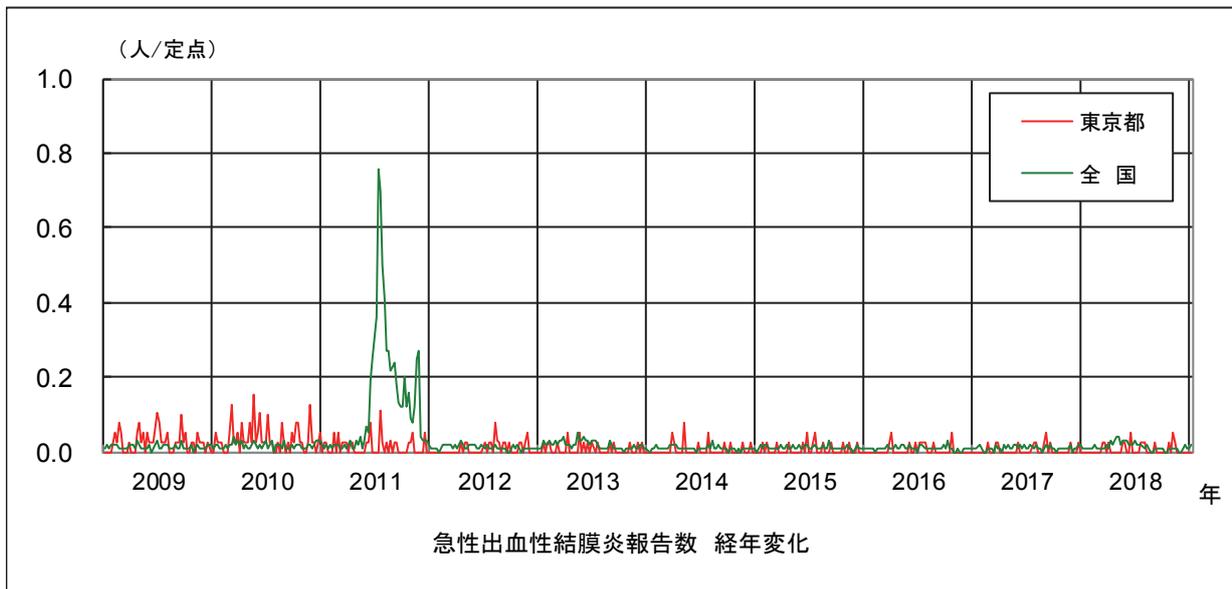
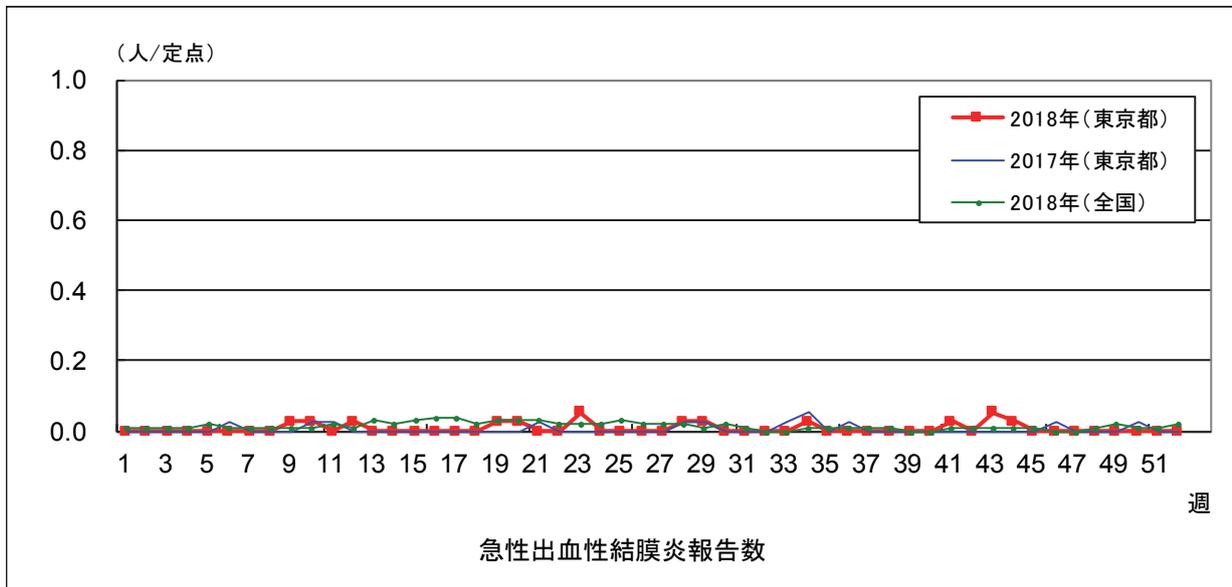
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2018年の報告数は14人、定点当たり0.37人だった。過去5年間の定点当たりの報告数はほぼ同等(0.28~0.37人)だった。

患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、23週(6.4~6.10)・43週(10.22~10.28)に2人発生した以外は各週1人以下で、年間40週は発生がなかった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは7医療圏で 区西北部圏、区西南部圏、区東部圏、北多摩南部圏が2人以上が多かった。報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が13人と全体の92.9%を占めた。19歳以下では5歳に1人(7.1%)みられた。

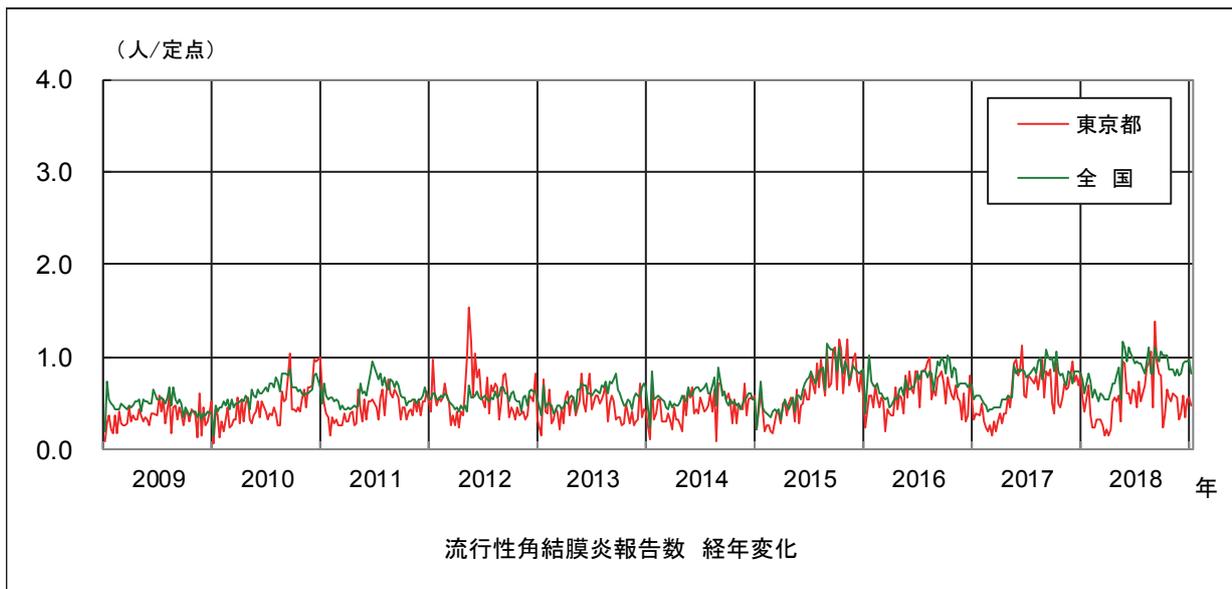
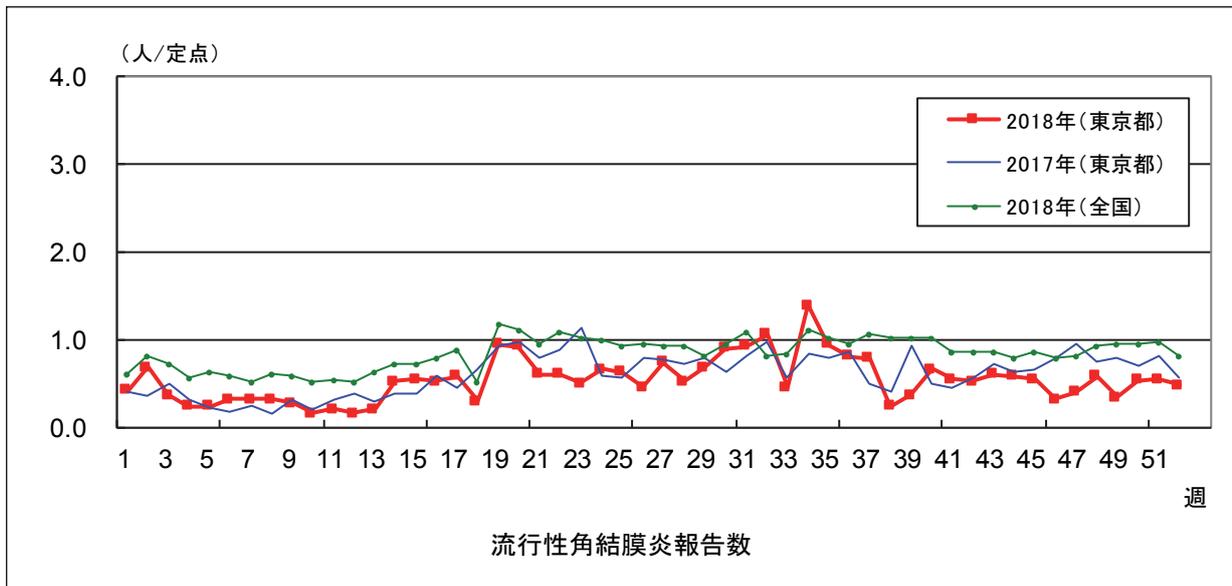


イ 流行性角結膜炎

2018年の報告数は1,060人、定点当たり28.22人だった。過去10年間では最近3年間は定点当たり30人を超えていたが、2018年は減少した。

患者発生数は第4週(1.22~1.28)から第13週(3.26~4.1)までが定点当たり0.32人以下と少なく、その他はほぼ平坦化していた。全国と比較しても同様であった。

二次医療圏別では、定点当たり報告数では区中央圏62.00人、区東部圏33.00人、区西南部圏32.50人で多かった。報告年齢は20歳から49歳が574人と54.2%を占め、20歳以上の成人が768人(72.5%)だった。10歳未満は229人(21.6%)で、各年齢層に分散していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

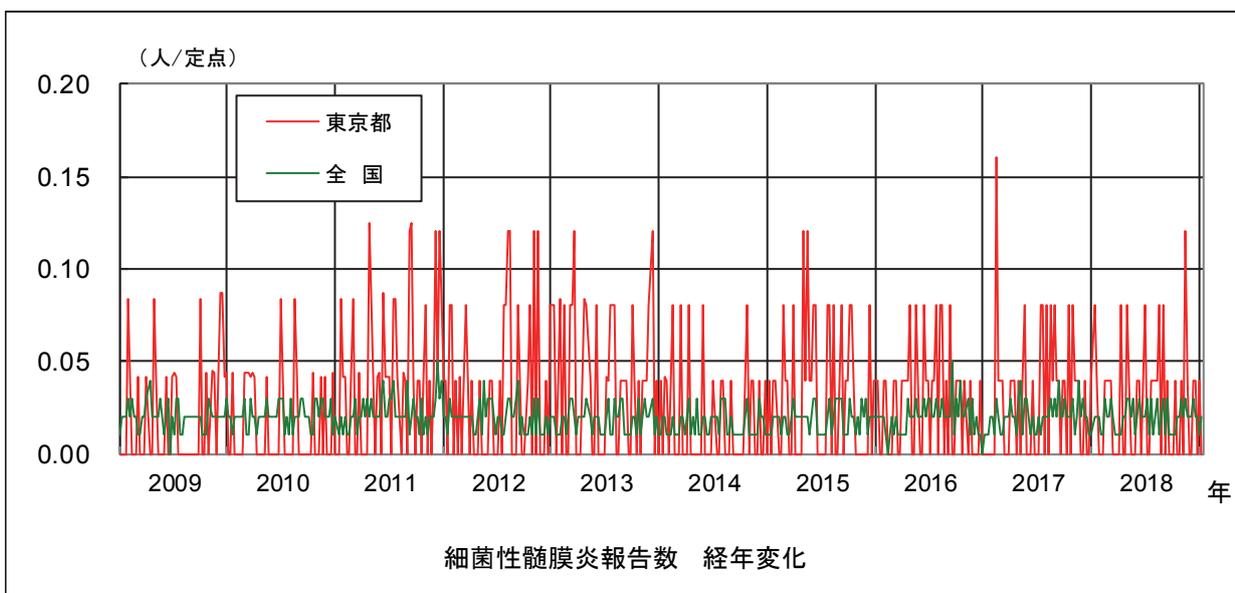
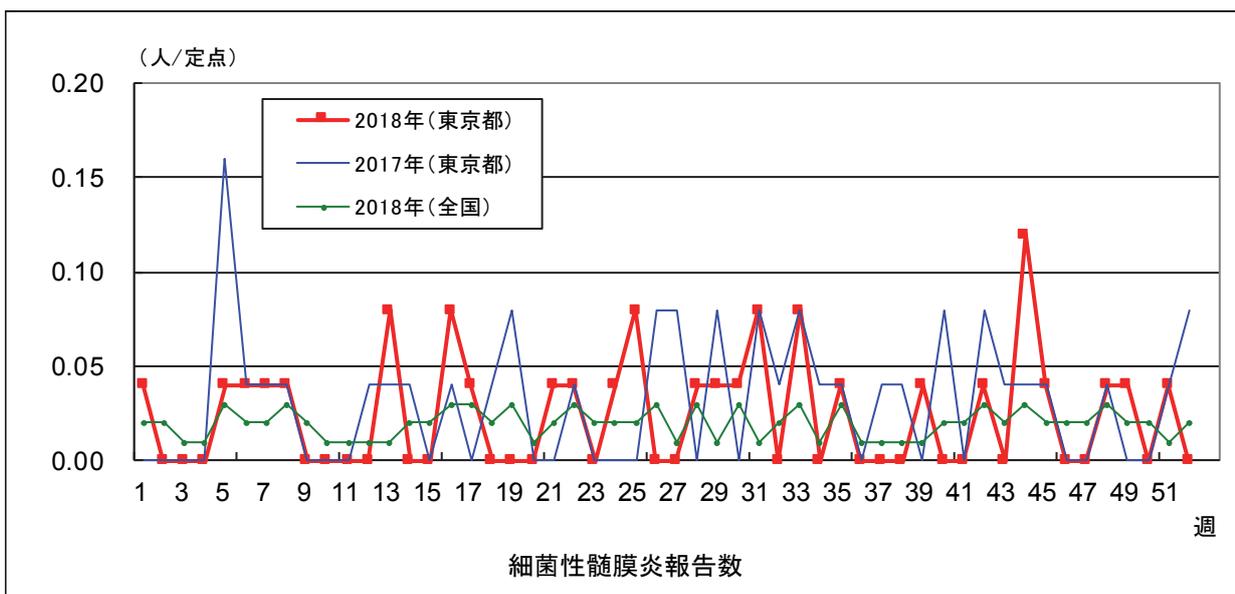
ア 細菌性髄膜炎

2018年の報告数は32人、定点当り報告数は1.28人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.42人であり、2018年はやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩府中の4.67人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が9人(28.1%)、60歳以上が13人(40.6%)であった。



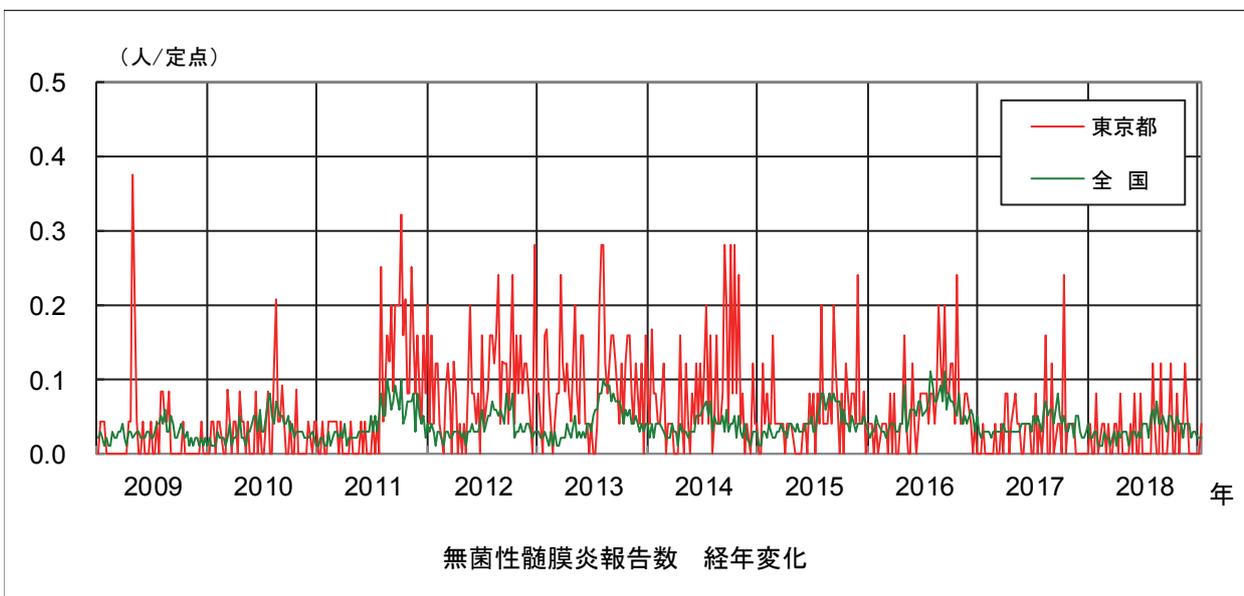
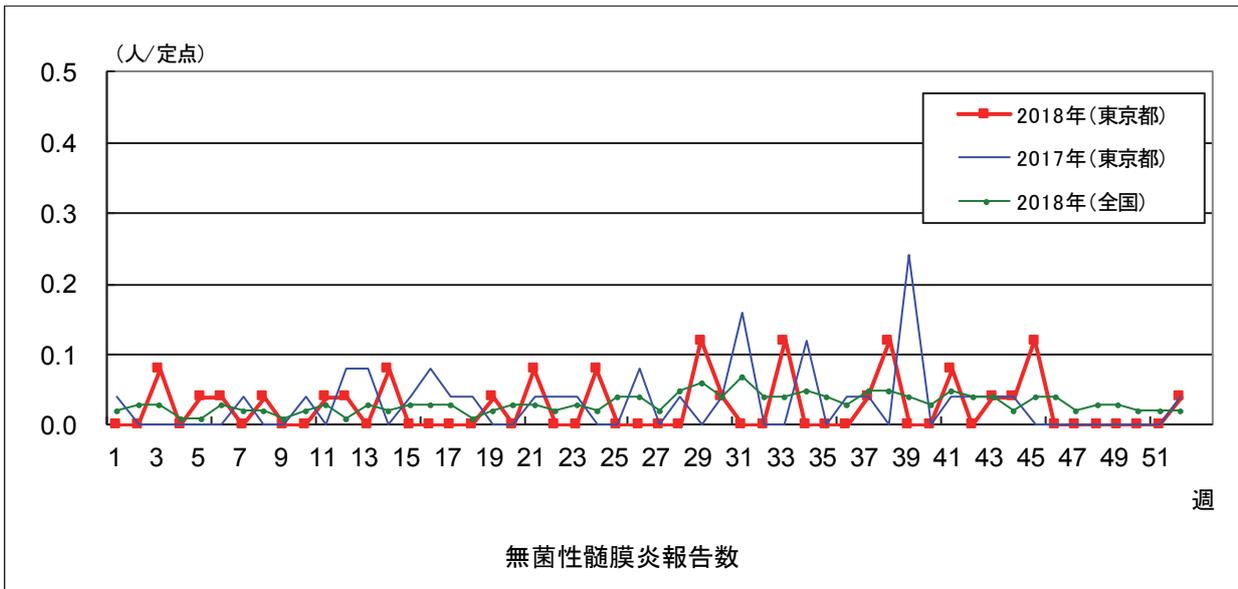
イ 無菌性髄膜炎

2018年の報告数は33人、定点当たり1.32人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.96人であり、2018年は2009年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷の8.00人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満13人(39.4%)、60歳以上4人(12.1%)であった。



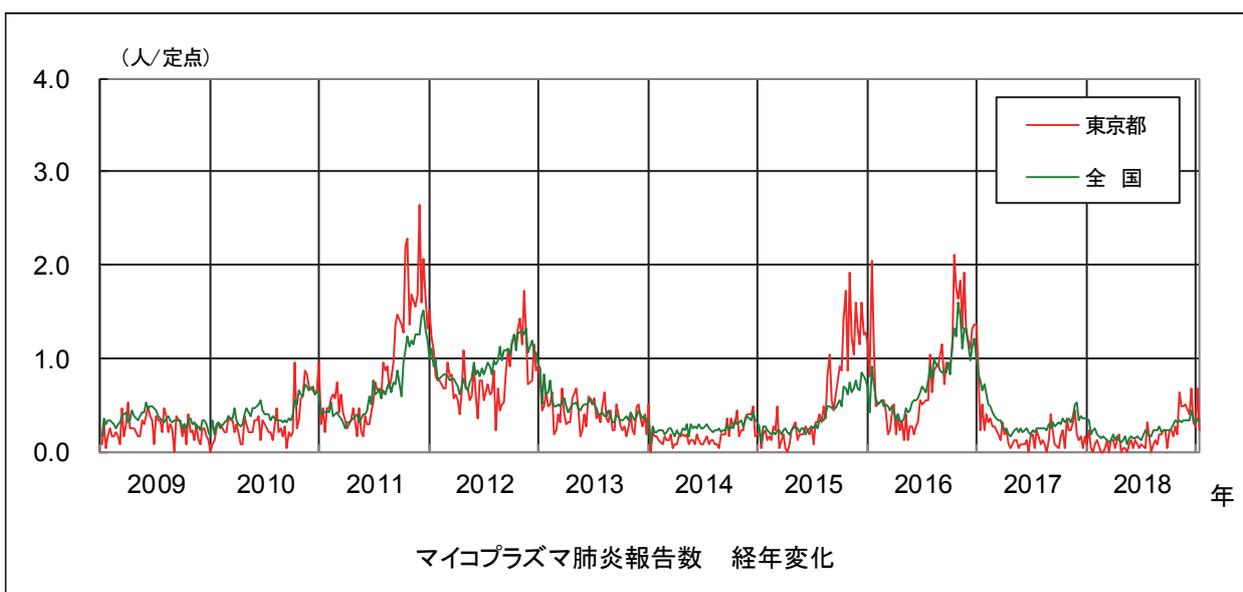
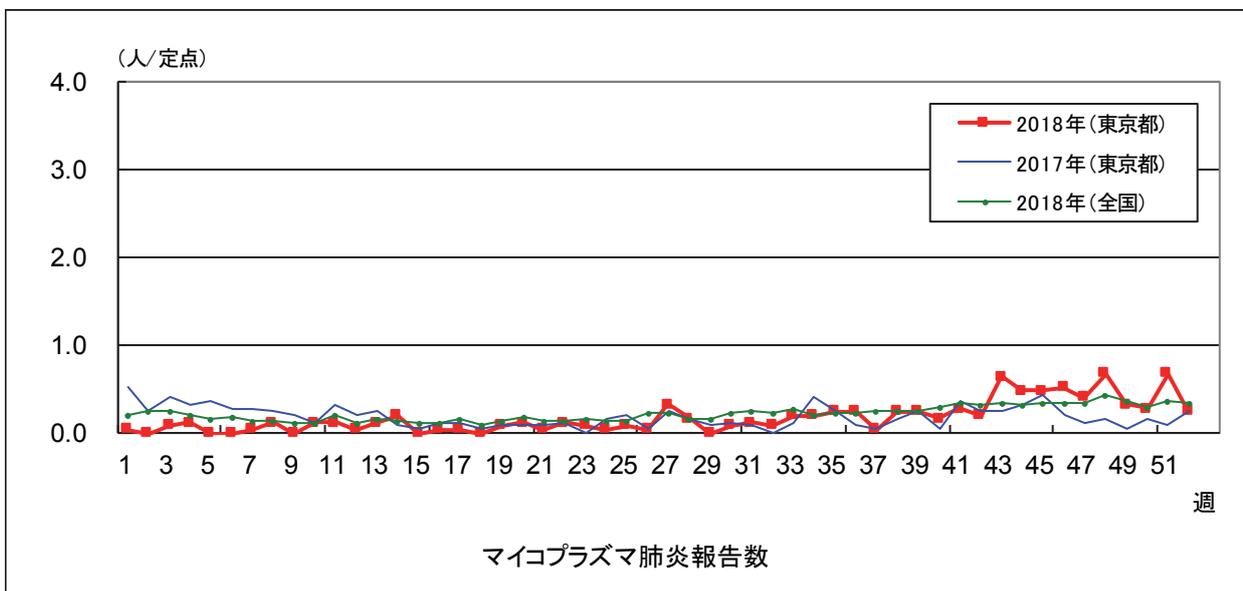
ウ マイコプラズマ肺炎

2018年の報告数は230人、定点当たりの報告数は9.20人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は24.17人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2011年と2012年、および2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では2016年後半の流行期以降報告数の減少が続いているが、年間を通してみると年の初めより終わりにかけて緩やかな増加がみられピークは48週（11.26～12.2）および51週（12.17～12.23）の0.68人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのはみなとの37.00人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が1人（0.4%）、60歳以上が11人（4.8%）であった。



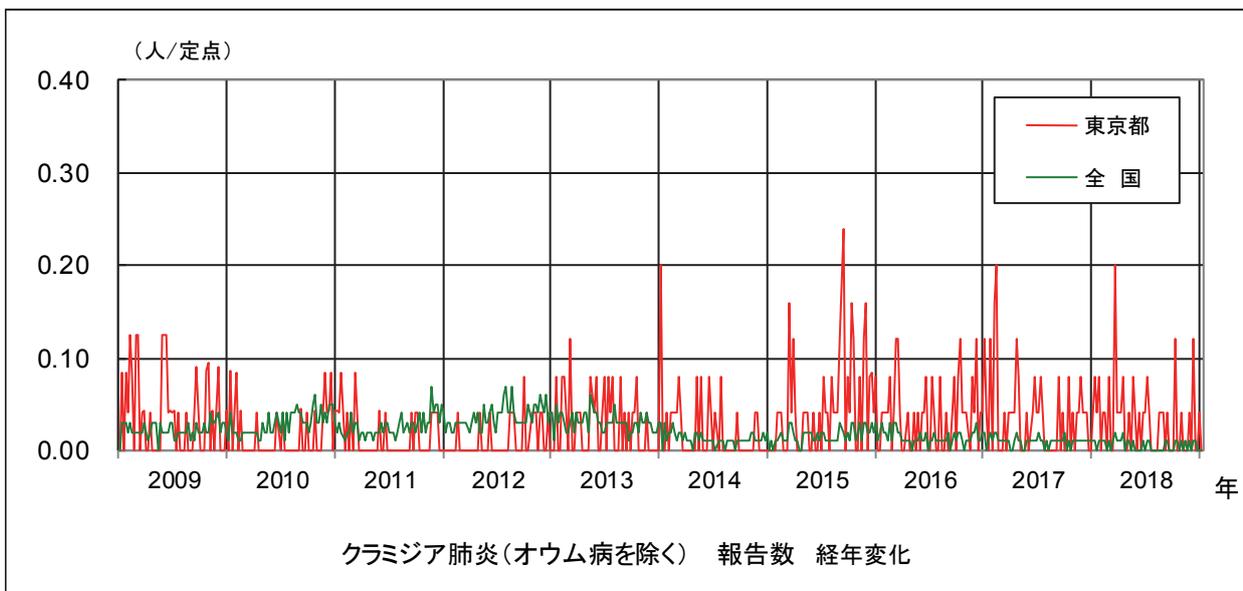
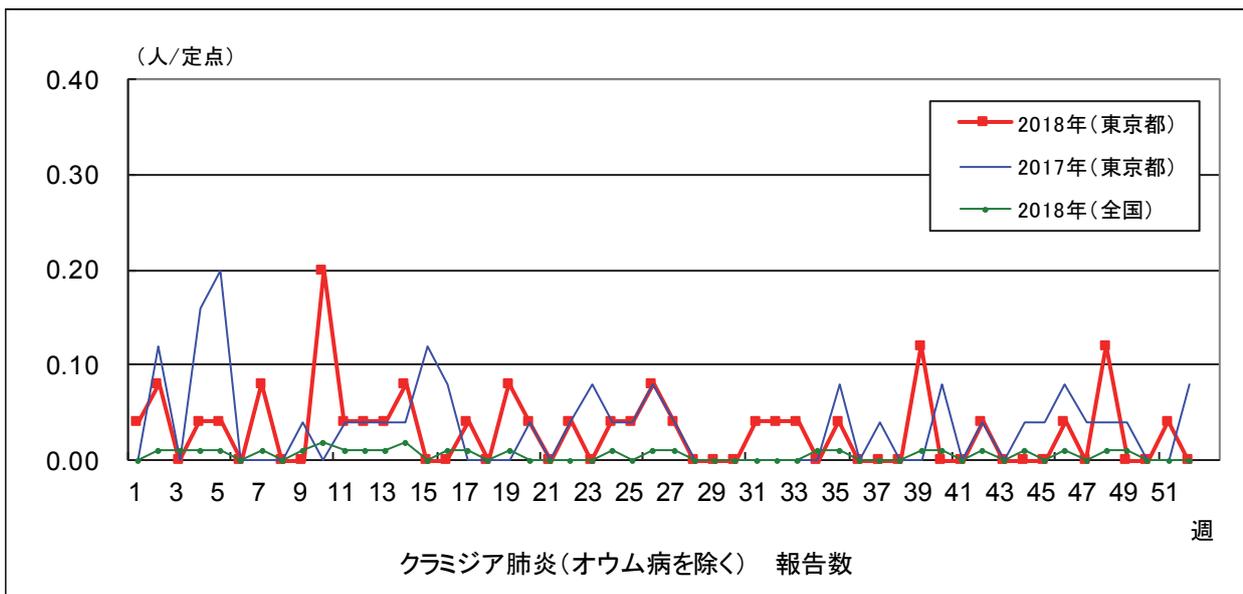
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2018年の報告数は40人であり、定点当たりの報告数は1.60人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.44人であり、平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは池袋の10.00人であった。

年齢階級別報告数では70歳代が11人（27.5%）、80歳代以上が8人（20.0%）であった。



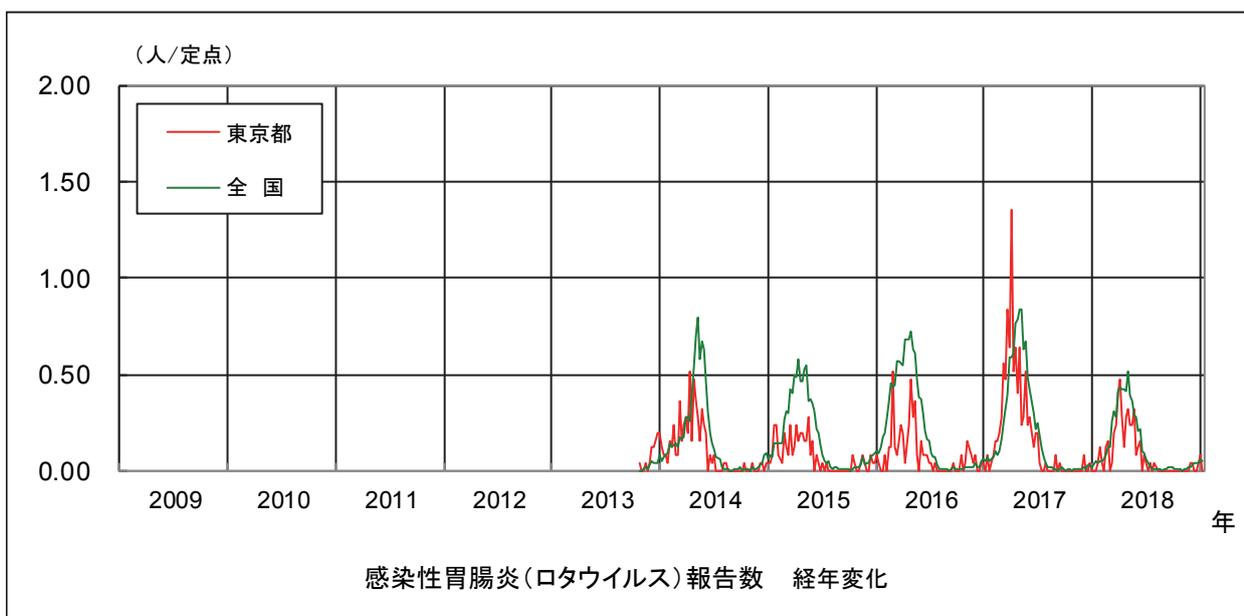
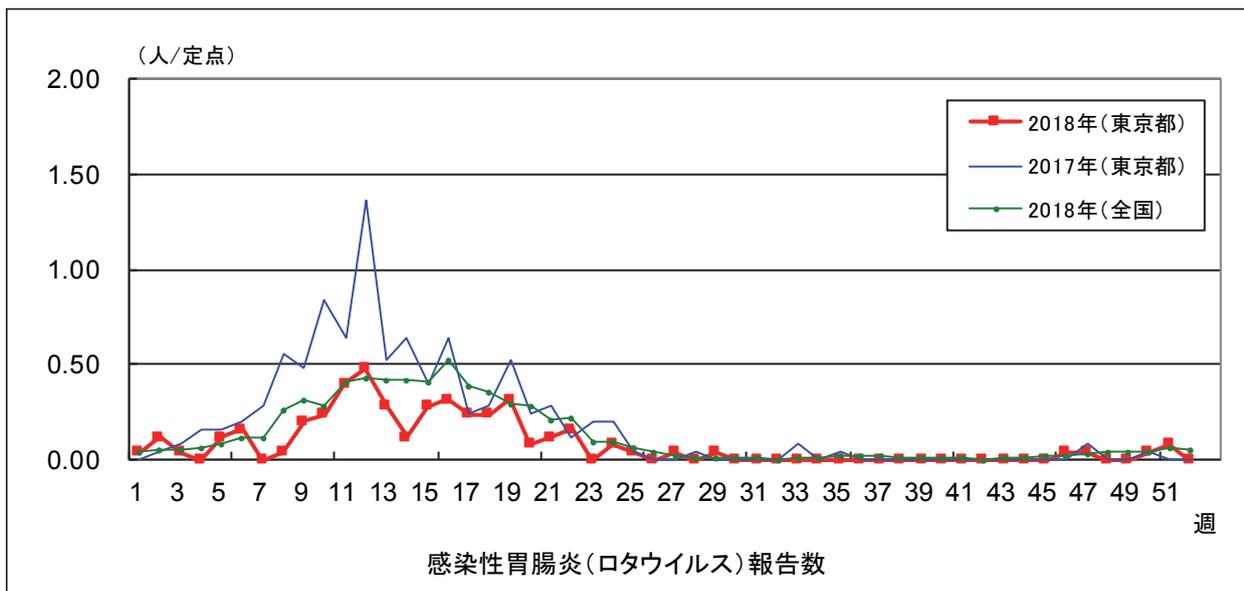
オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2018年の報告数は110人であり、定点当たりの報告数は4.40人であった。報告は2013年42週より開始されている。

週別定点当たりの報告数では2017年ほど明確ではないが12週（3.19～3.25）の0.48人をピークとした山が見られた。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは葛飾区の31.00人であった。

年齢階級別報告数では6歳以下が86人（78.2%）であった。

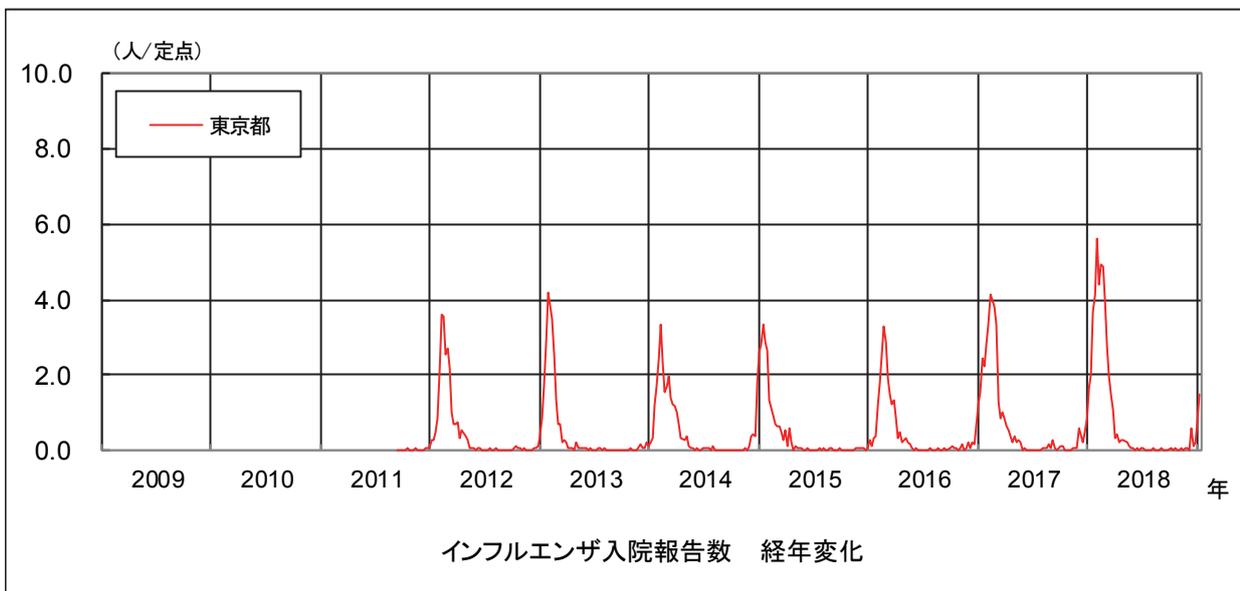
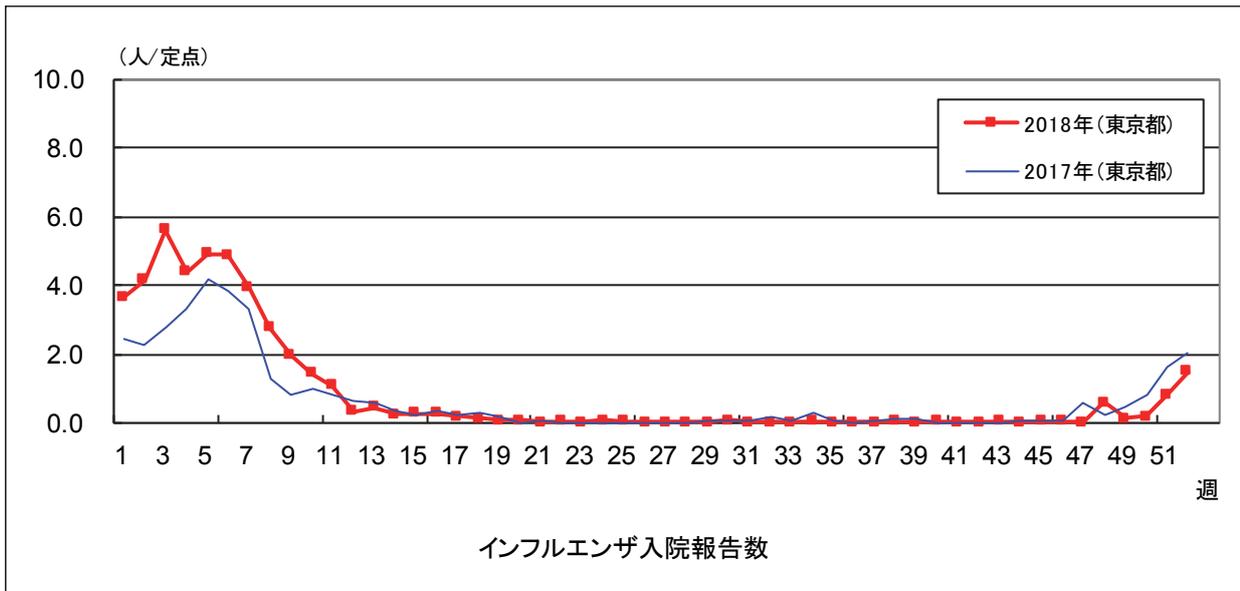


カ インフルエンザ入院

2018年の報告数は1,113人で、定点当たりの報告数は44.52人であった。2011年36週より報告が開始されたが、開始以降最多の報告数となった。ピークは3週（1.15~1.21）の5.60人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは葛飾区の109.00人であった。

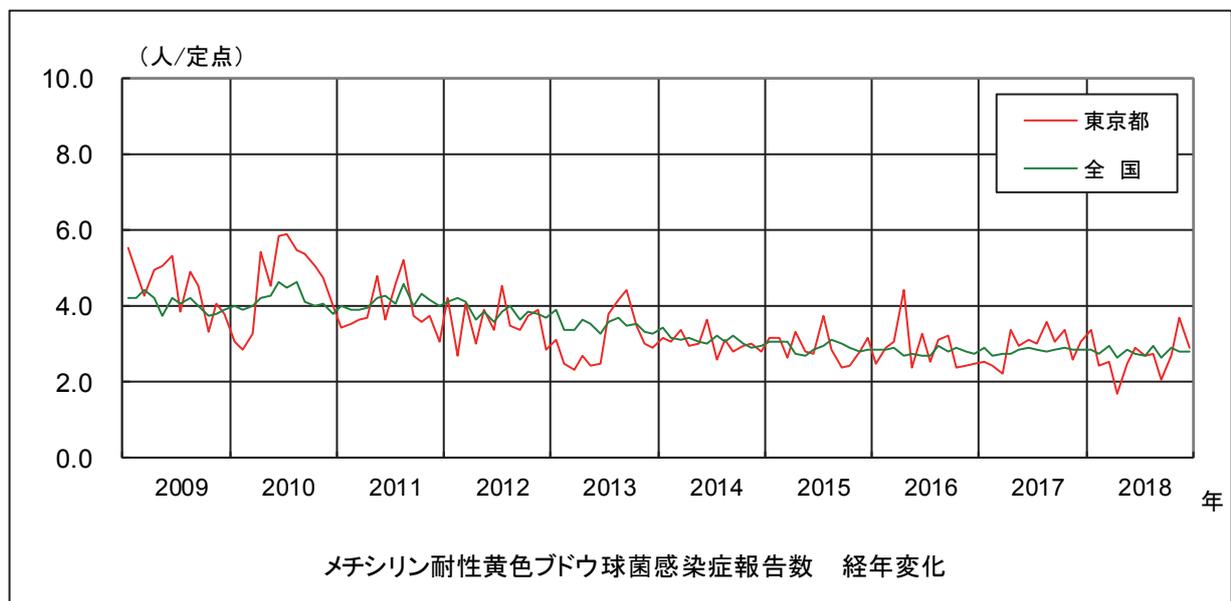
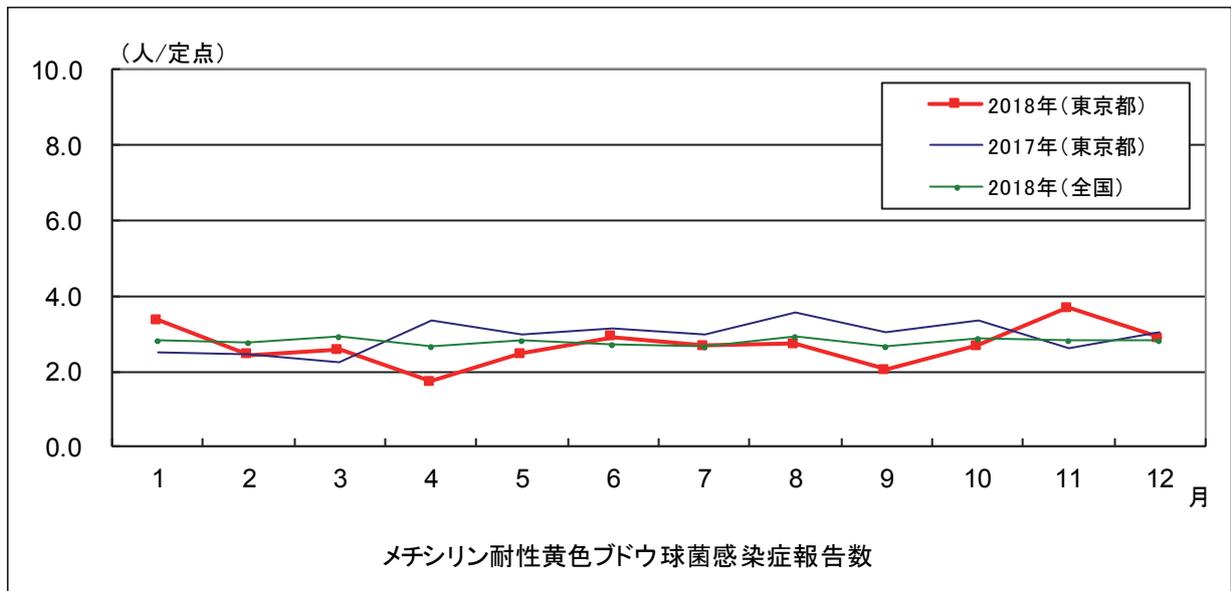
年齢階級別報告数では10歳未満235人（21.1%）、70歳以上642人（57.7%）であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

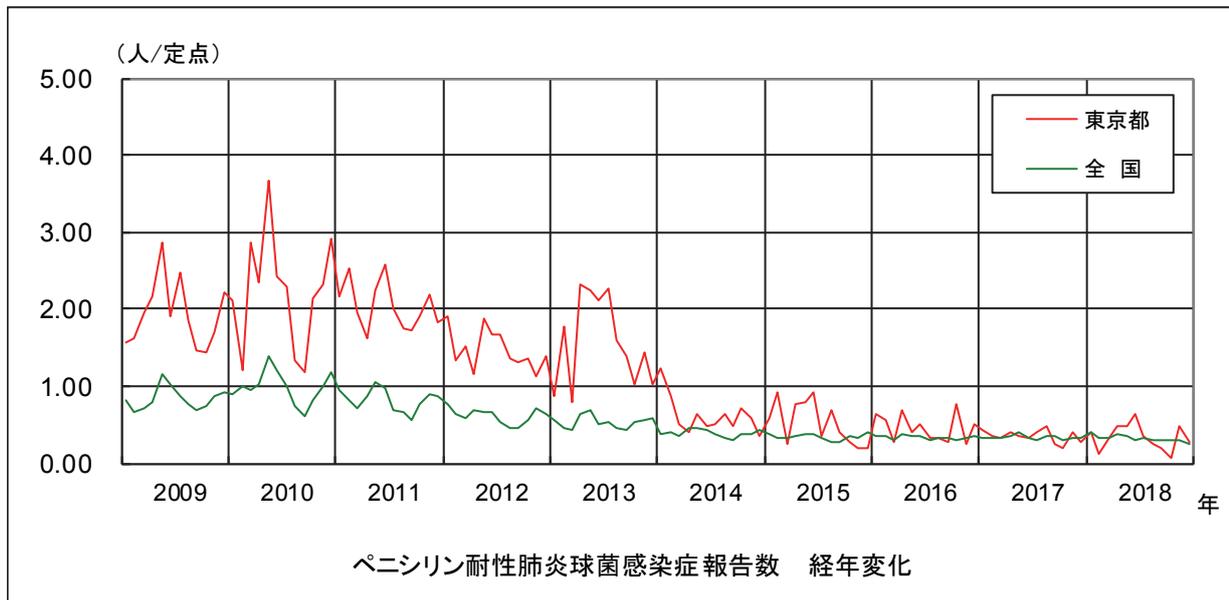
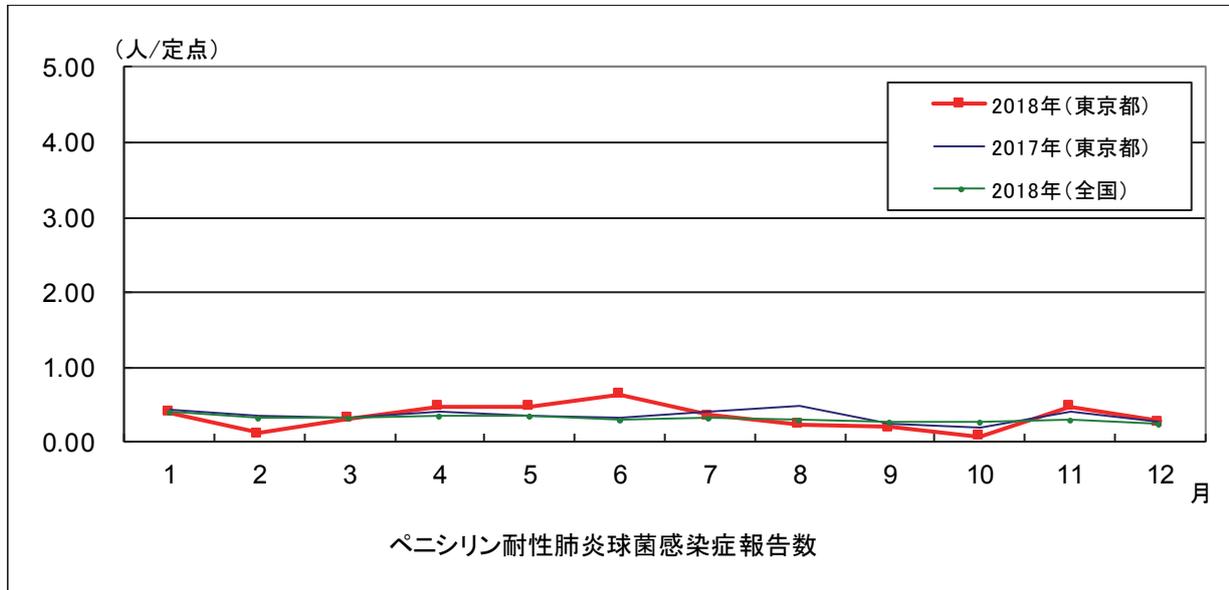
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2018年の報告数は804人、定点当たりの報告数は32.16人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は41.07人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。



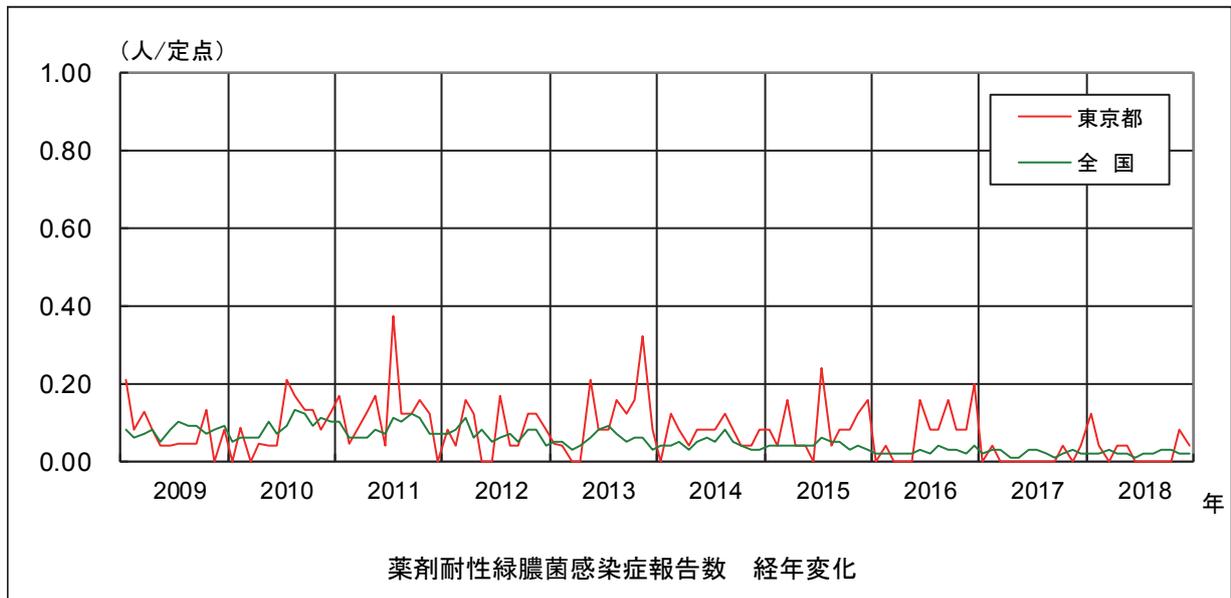
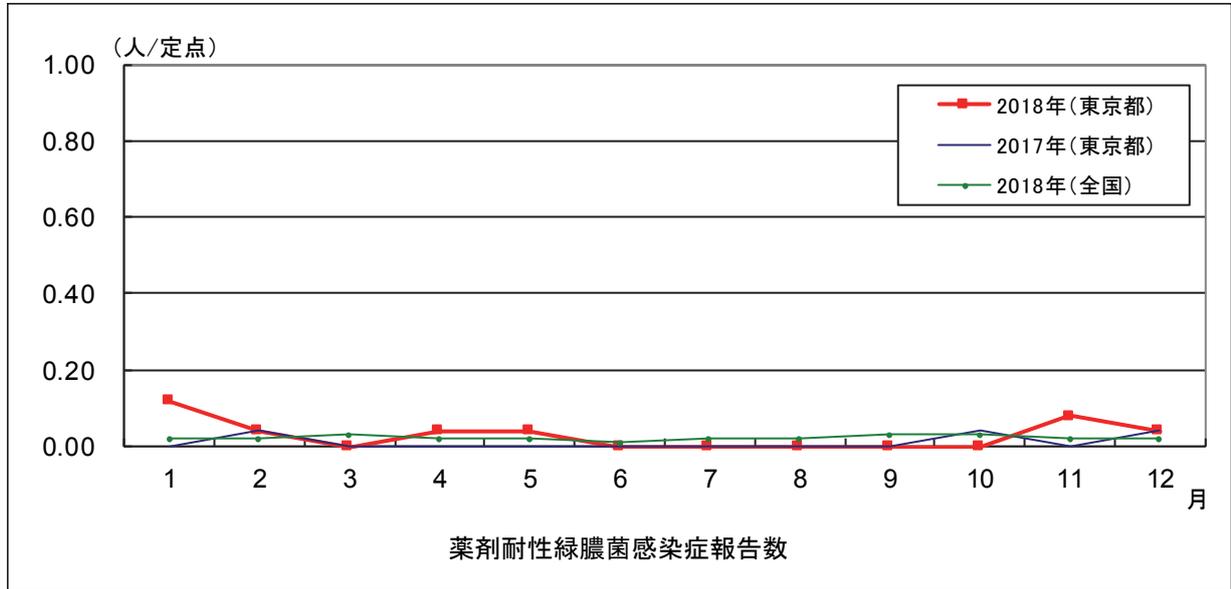
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2018年の報告数は102人、定点当たりの報告数は4.08人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は13.89人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2018年の報告数は9人、定点当たりの報告数は0.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.91人であり、ここ10年では2017年に次いで少ない報告数であった。



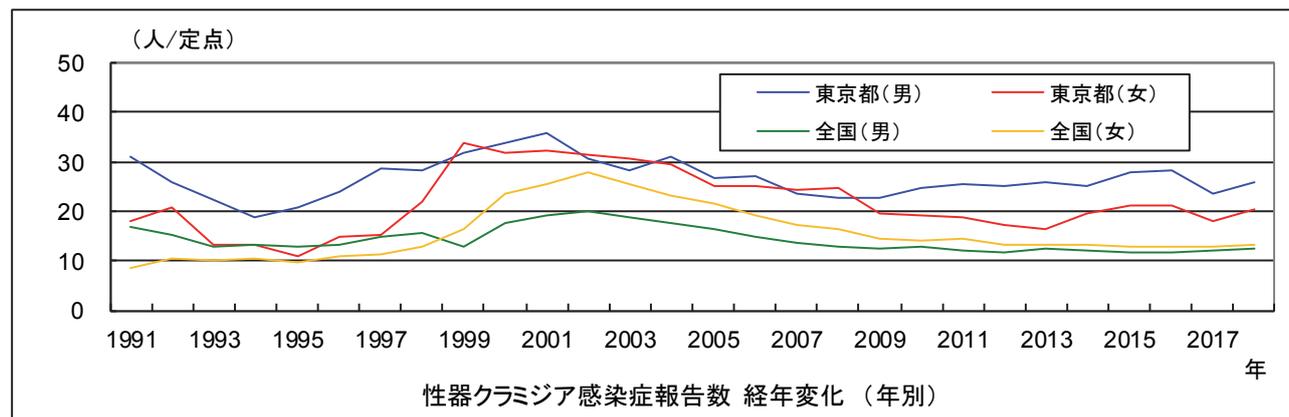
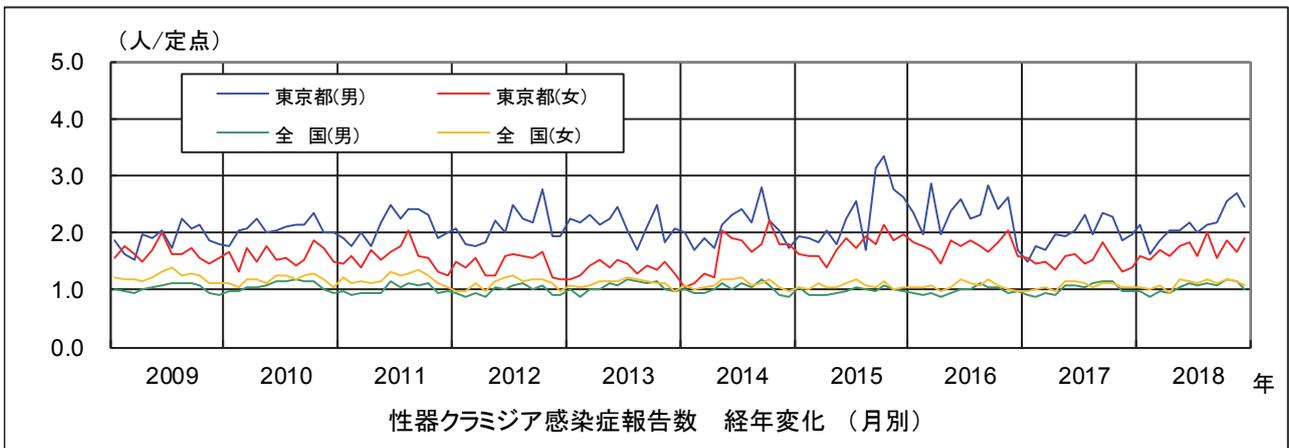
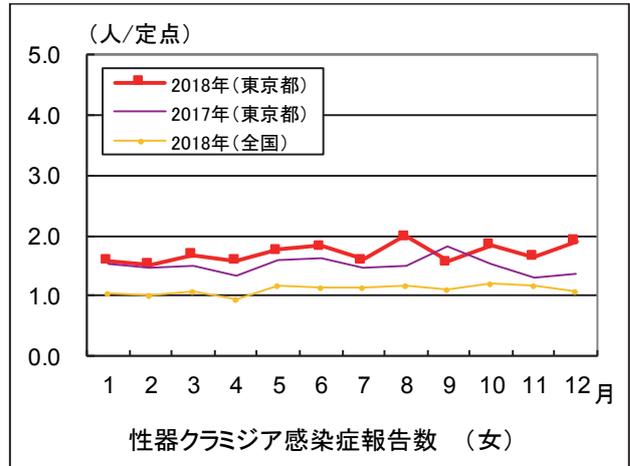
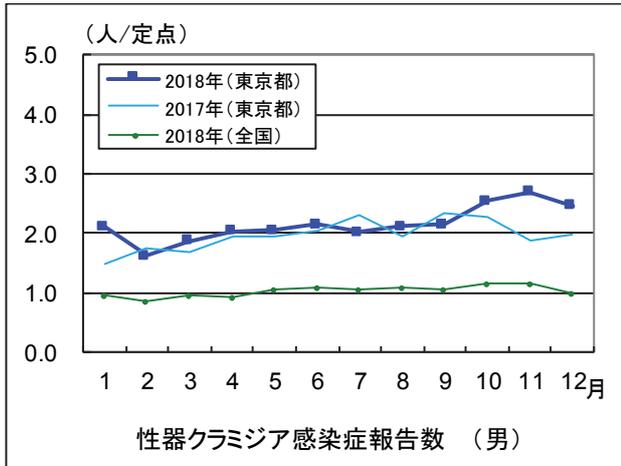
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

2018年の報告数は2,551人、定点当たり46.46人であり、前年より増加が見られた。男性の報告数は1,422人、定点当たり25.90人（前年比1.09）、女性の報告数は1,129人、定点当たり20.56人（前年比1.14）であった。

定点当たり報告数を月別に見ると、最多は10月で4.40人、最少は2月で3.16人であった。保健所別では、男性は千代田の82.00人、女性は多摩立川の78.00人が最多で、報告がゼロだった保健所は男性では、八王子市、町田市、多摩立川、多摩小平、女性では文京、中野区、北区、多摩府中であった。

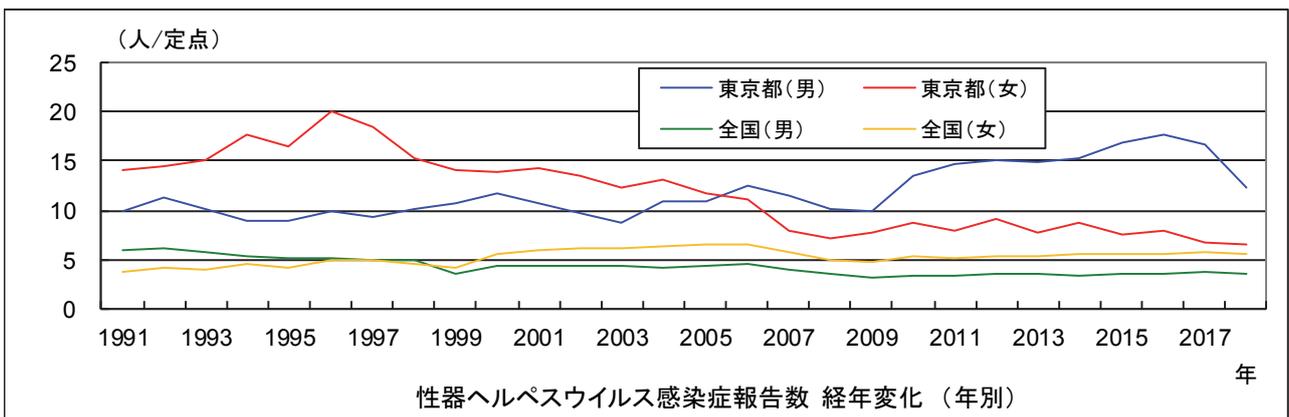
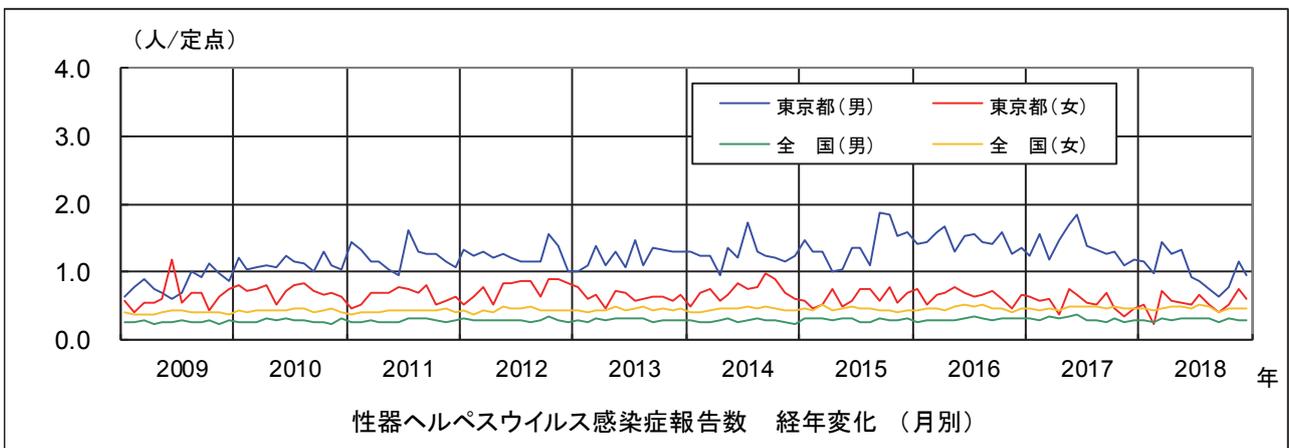
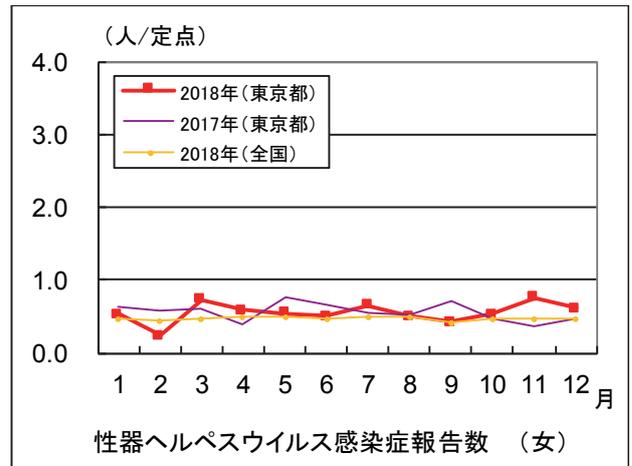
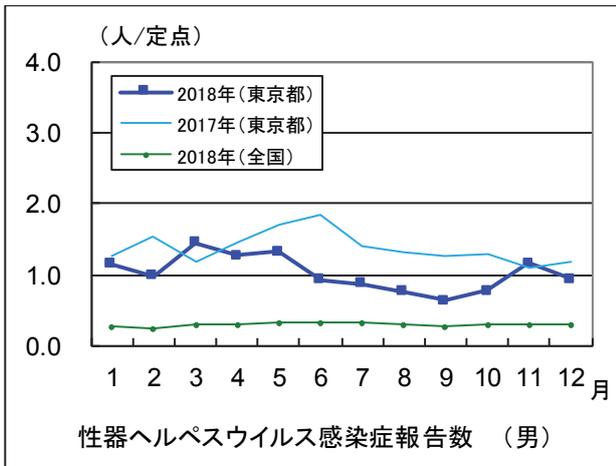
年齢階級別報告数では、男性は20から40歳代にかけて報告数が多く、25～29歳が最多で323人であった。女性では20から30歳代の報告数が多く、20～24歳の341人が最多であった。



イ 性器ヘルペスウイルス感染症

2018年の報告数は1,037人、定点当たり18.88人であり、男性の報告数は674人、定点当たり12.27人（前年比0.74）、女性の報告数は363人、定点当たり6.61人（前年比0.99）で、男性に多い状況が続いている。

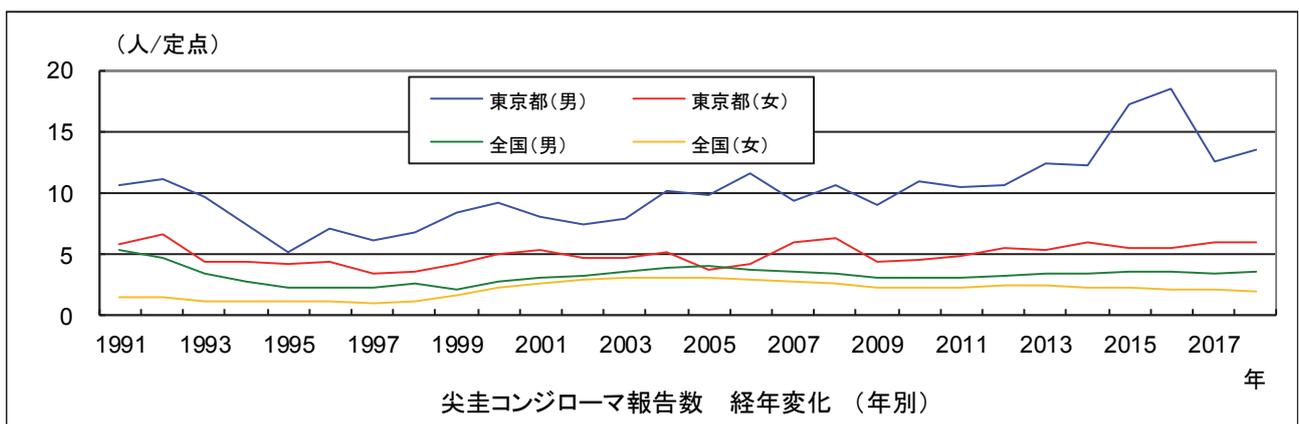
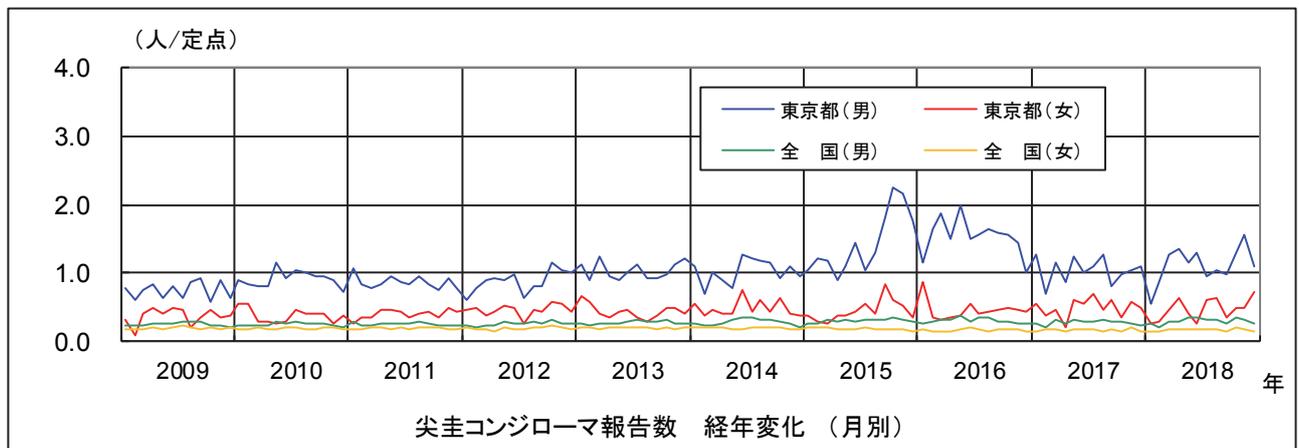
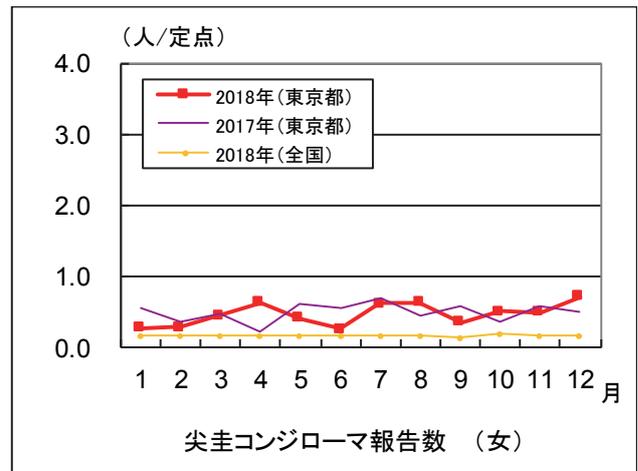
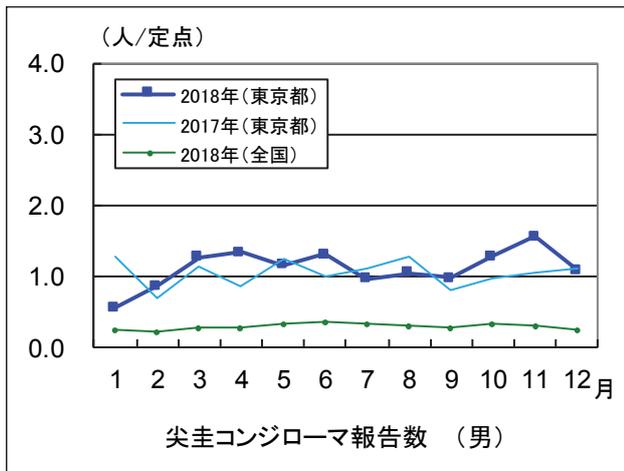
月別の定点当たり報告数は、男性では最多が3月で1.45人、最少は9月で0.64人、女性では最多は11月が0.76人、最少は2月で0.24人であった。保健所別では、男性の最多はみなとで90.00人、女性の最多は町田市で17.00人であった。報告がゼロだった保健所は男性では、大田区、北区、荒川区、足立、八王子市、町田市、多摩立川、多摩府中、多摩小平で、女性では文京、中野区、北区、多摩小平であった。年齢階級別報告数では、男性は35～44歳の報告数が多く、最多は35～39歳で114人であった。女性では20～29歳の報告数が多く、最多は25～29歳の80人であった。



ウ 尖圭コンジローマ

2018年の報告数は1,051人、定点当たり19.14人であり、男性の報告数は740人、定点当たり13.47人（前年比1.07）、女性の報告数は311人、定点当たりでは前年と変わらず5.99人（前年比1.00）で男性の定点当たりの数が増加し、男性が女性の倍以上届け出がなされていた。

月別定点当たり報告数は、男性は11月が最多で1.56人、1月が最小で0.56人だった。女性は12月が最多で0.72人、6月が最少で0.25人であった。保健所別定点報告数は、男女とも新宿区が最多（男性60.64人、26.43人）であった。報告がゼロだった保健所は男性では大田区、荒川区、足立、八王子市、町田市、多摩立川、多摩小平で、女性では文京、品川区、大田区、中野区、北区、荒川区、多摩小平であった。年齢階級別報告数では、男性は25～39歳が多く、最多は25～29歳の139人であった。女性では20歳代が多く、最多は25～29歳の89人であった。

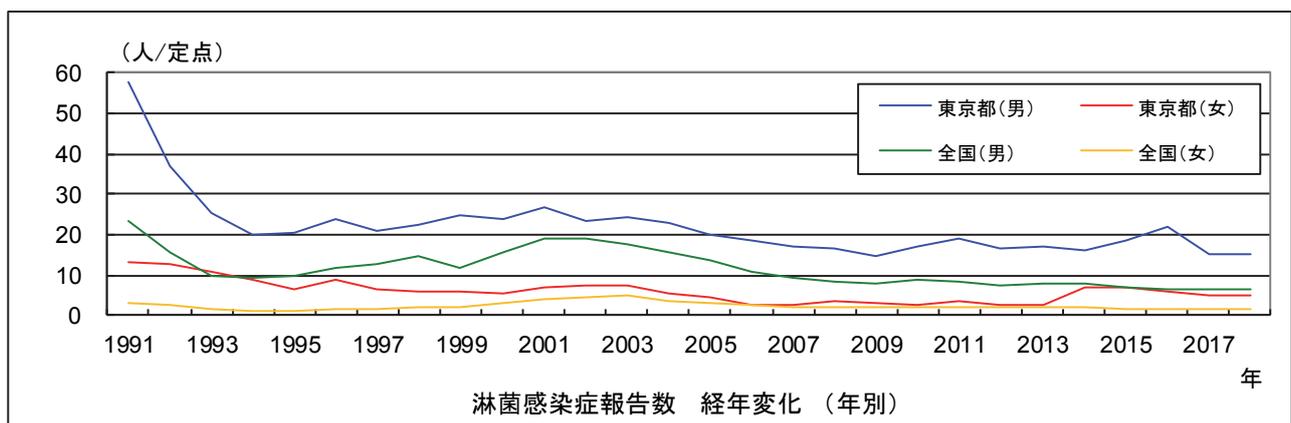
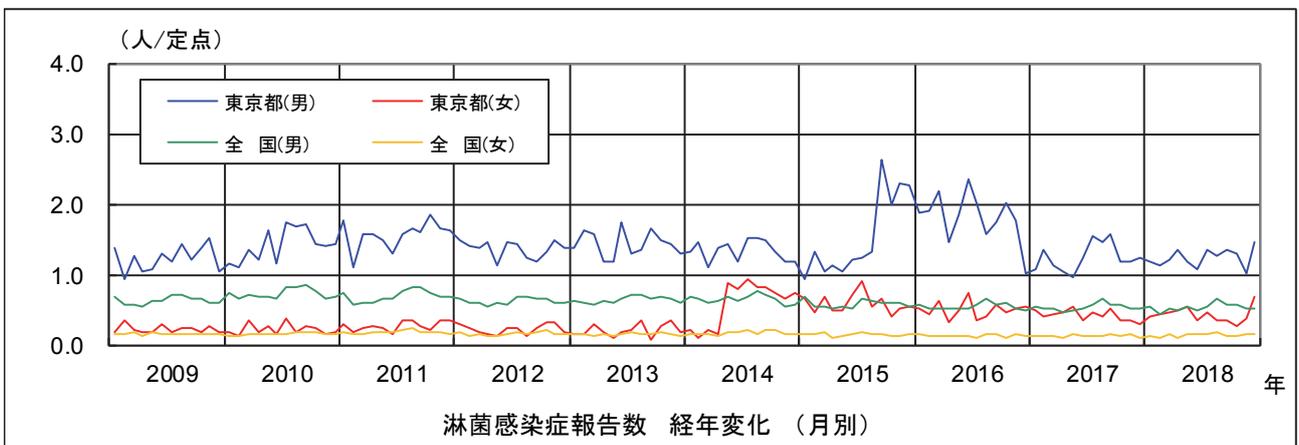
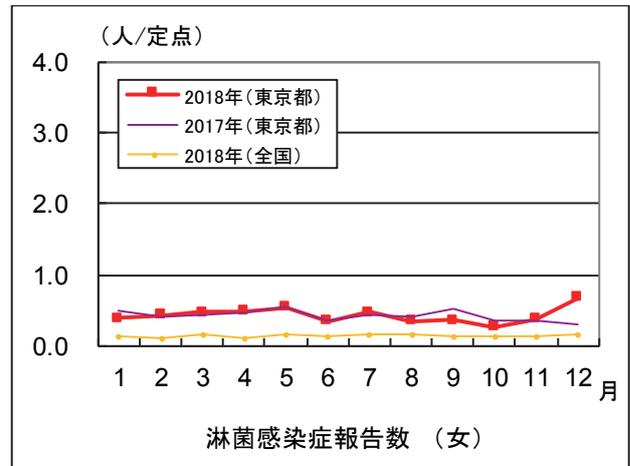
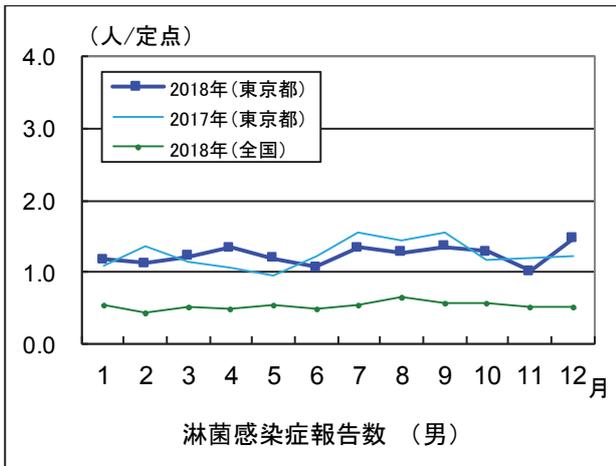


エ 淋菌感染症

2018年の報告数は1,104人、定点当たり20.11人であり、男性の報告数は818人、定点当たり14.90人（前年比0.99）、女性の報告数は286人、定点当たり5.21人（前年比1.01）で女性の報告数にわずかな増加が見られた。

月別定点当たり報告数は、男女とも12月が最多（男性1.46人、女性0.69人）で最少は男性が11月（1.02人）女性が10月（0.96人）であった。保健所別定点報告数では、男性は千代田区の43.50人、女性は台東の70.00人が最多であった。報告がゼロだった保健所は男性は北区、八王子市、町田市、多摩小平、女性は千代田区、文京、品川区、北区、荒川区、町田市、多摩府中、多摩小平であった。

年齢階級別報告数では、男性は20～44歳と比較的幅の広い年齢階級で届け出が多くみられたが、女性は20歳代で届け出が多くみられた。



オ 臙トリコモナス症

2018年の報告数は128人、定点当たり2.33人で昨年に比べ報告数は18人増加した。男性の報告数は6人、定点当たり0.11人（前年比3.00）、女性の報告数は122人、定点当たり2.22人（前年比1.13）と男女ともに前年を上回った。

男性は報告数が少なく明らかな傾向を判断するのは困難だったが、女性では、月別定点当たり患者報告数は5月が最多で0.31人、8月が最少で0.09人であった。保健所別では、男性は千代田、中央区、池袋、八王子市以外は届け出がなかった。女性では台東がもっとも届け出が多く19.00人で、報告がゼロだった保健所は千代田、みなと、文京、江東区、品川区、大田区、北区、荒川区、多摩府中であった。年齢階級別報告数では男性では25～54歳までで報告があった。女性では15～70歳以上まで幅広い年齢で報告があったが、20歳代が多く、25～29歳が31人と最多であった。

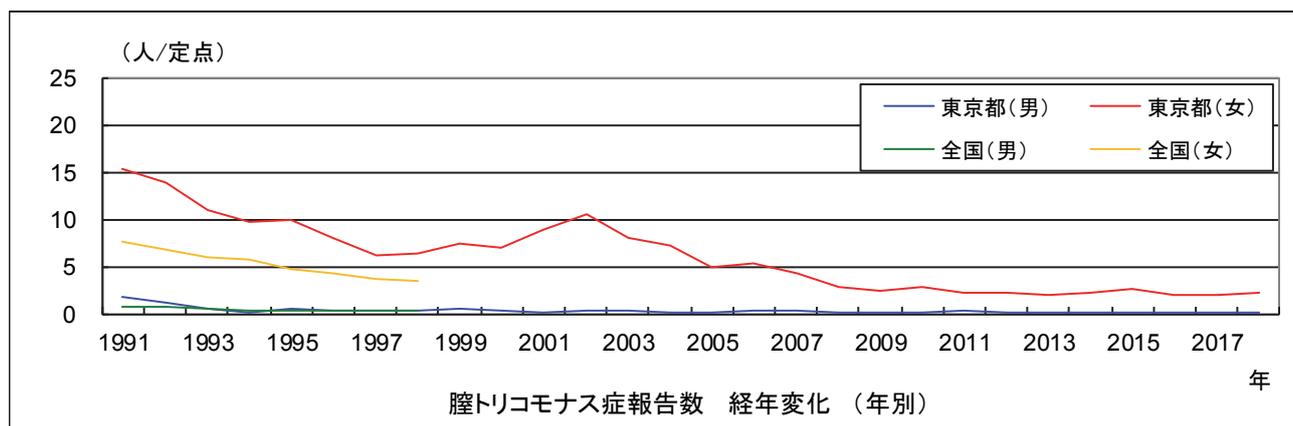
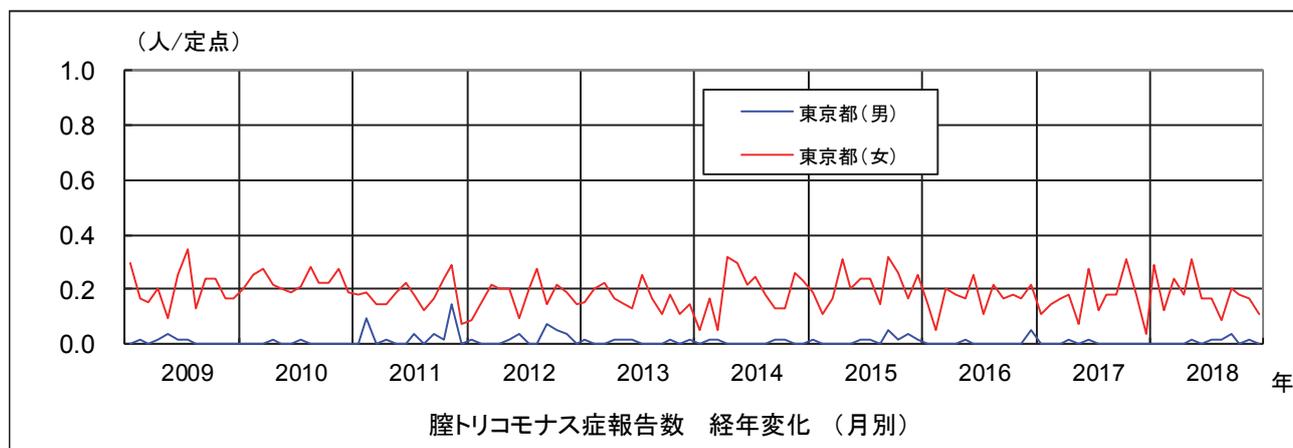
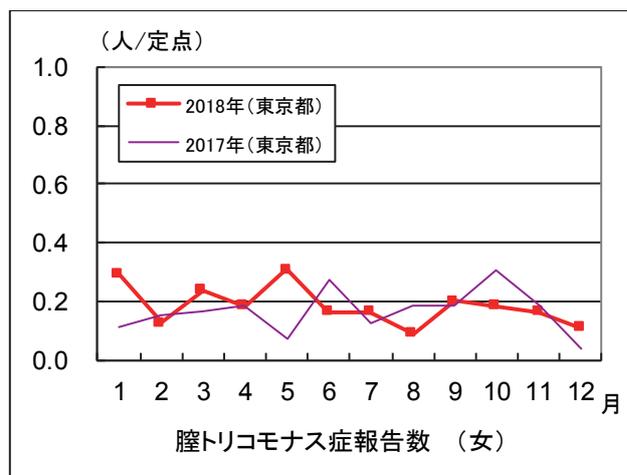
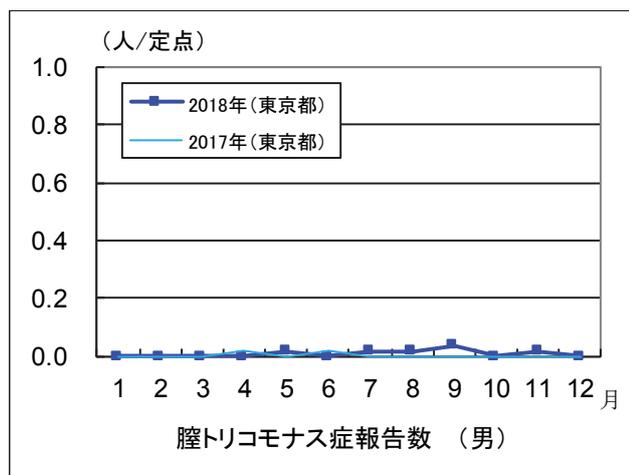


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

週	期間	報告定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	報告定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 球菌 溶血性 レンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
1	1. 1~ 1. 7	404	4,357	253	54	46	227	763	108	10	19	52		16
2	1. 8~ 1.14	414	9,456	261	51	72	486	1,676	110	26	33	121	3	18
3	1.15~ 1.21	415	20,612	262	70	67	712	1,844	81	22	50	122	2	14
4	1.22~ 1.28	416	22,504	263	87	44	720	1,426	53	23	32	109	1	25
5	1.29~ 2. 4	416	22,104	263	83	45	625	1,518	71	20	26	76	3	19
6	2. 5~ 2.11	414	16,376	262	68	54	733	1,313	65	13	23	109	9	22
7	2.12~ 2.18	416	9,137	263	57	37	575	1,096	66	4	19	92		22
8	2.19~ 2.25	414	6,963	261	55	40	677	1,290	53	8	18	93	3	20
9	2.26~ 3. 4	414	4,988	261	75	31	685	1,321	78	6	18	100	6	17
10	3. 5~ 3.11	414	3,272	261	57	39	628	1,235	84	12	20	102		20
11	3.12~ 3.18	414	2,185	261	100	48	684	1,369	80	6	29	100	3	26
12	3.19~ 3.25	413	1,204	262	77	42	588	1,179	65	17	24	119	1	14
13	3.26~ 4. 1	415	788	261	68	51	553	1,184	84	9	48	123	1	14
14	4. 2~ 4. 8	413	452	259	54	27	481	1,217	80	14	60	118	5	19
15	4. 9~ 4.15	416	358	262	90	58	620	1,369	76	16	66	140	5	19
16	4.16~ 4.22	417	374	264	90	64	788	1,715	84	22	64	149	1	31
17	4.23~ 4.29	412	299	260	74	100	909	1,777	71	29	101	195	5	24
18	4.30~ 5. 6	405	96	253	41	68	357	840	58	15	72	106	8	12
19	5. 7~ 5.13	418	93	264	33	116	911	1,822	122	28	99	215	6	28
20	5.14~ 5.20	416	74	263	71	157	923	2,067	83	52	187	173	11	22
21	5.21~ 5.27	415	66	261	46	204	833	2,017	165	42	160	181	26	33
22	5.28~ 6. 3	416	63	262	46	193	929	1,925	66	65	164	197	32	30
23	6. 4~ 6.10	417	50	263	51	232	949	1,988	127	90	199	177	60	28
24	6.11~ 6.17	416	29	262	62	207	876	1,742	113	90	170	180	118	46
25	6.18~ 6.24	416	35	262	82	198	830	1,787	84	117	299	183	139	43
26	6.25~ 7. 1	411	13	262	96	199	772	1,674	105	192	322	177	356	44
27	7. 2~ 7. 8	417	28	263	90	170	688	1,467	98	240	289	180	500	33
28	7. 9~ 7.15	411	22	260	151	154	634	1,401	79	334	265	167	817	38
29	7.16~ 7.22	411	6	259	179	135	465	1,063	75	297	199	123	811	49
30	7.23~ 7.29	410	8	257	245	126	456	1,104	61	308	207	159	978	28
31	7.30~ 8. 5	411	10	258	372	98	404	1,013	53	298	269	139	908	21
32	8. 6~ 8.12	367	9	239	395	58	304	832	41	270	187	104	627	21
33	8.13~ 8.19	380	12	230	320	50	203	559	29	160	141	71	340	12
34	8.20~ 8.26	399	4	248	378	59	314	832	57	201	276	126	408	13
35	8.27~ 9. 2	408	10	254	509	68	324	911	45	229	260	134	379	29
36	9. 3~ 9. 9	414	34	261	544	63	401	1,114	57	298	277	145	311	28
37	9.10~ 9.16	414	87	259	549	75	387	1,009	41	348	255	125	261	34
38	9.17~ 9.23	413	79	260	362	50	341	902	54	321	219	126	163	28
39	9.24~ 9.30	413	71	259	326	51	374	891	57	308	227	118	165	27
40	10. 1~10. 7	412	100	260	340	55	405	1,073	56	483	339	136	168	30
41	10. 8~10.14	418	42	263	249	48	372	956	79	362	240	99	119	16
42	10.15~10.21	415	56	260	228	52	500	1,153	68	373	262	114	129	21
43	10.22~10.28	416	67	262	172	48	602	1,338	57	372	337	129	81	20
44	10.29~11. 4	412	83	261	108	53	593	1,339	89	342	284	109	56	13
45	11. 5~11.11	413	186	263	107	60	700	1,791	121	301	404	137	31	22
46	11.12~11.18	416	251	262	85	99	713	2,058	89	374	387	140	36	20
47	11.19~11.25	417	208	262	66	103	770	2,013	113	303	417	131	25	14
48	11.26~12. 2	418	392	263	71	114	851	2,838	200	296	575	138	18	27
49	12. 3~12. 9	417	654	262	64	126	914	3,151	146	214	625	124	22	33
50	12.10~12.16	417	1,117	263	72	138	856	3,319	202	209	538	106	18	15
51	12.17~12.23	415	3,233	262	64	106	940	3,573	175	181	549	103	8	16
52	12.24~12.30	394	4,545	249	46	73	538	2,428	141	82	383	79	5	12
合計			137,262		7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 1～ 1. 7	253	3		38		16	25	1		1	1	1	25	92
2	1. 8～ 1.14	261	6	2	38		26	25				2	3	25	104
3	1.15～ 1.21	262	7	2	38		14	25		2	2		1	25	140
4	1.22～ 1.28	263	4	2	38		9	25			3	1		25	110
5	1.29～ 2. 4	263	12	1	38		9	25	1	1		1	3	25	123
6	2. 5～ 2.11	262	10	2	38		12	25	1	1			4	25	122
7	2.12～ 2.18	263	9	7	38		12	25	1		1	2		25	98
8	2.19～ 2.25	261	10	9	38		12	25	1	1	3		1	25	69
9	2.26～ 3. 4	261	8	5	37	1	10	25					5	25	49
10	3. 5～ 3.11	261	7	6	38	1	6	25			3	5	6	25	36
11	3.12～ 3.18	261	13	4	38		8	25		1	3	1	10	25	27
12	3.19～ 3.25	262	9	4	38	1	6	25		1	1	1	12	25	8
13	3.26～ 4. 1	261	8	2	38		8	25	2		3	1	7	25	11
14	4. 2～ 4. 8	259	5	5	38		20	25		2	5	2	3	25	6
15	4. 9～ 4.15	262	12	12	38		21	25					7	25	7
16	4.16～ 4.22	264	13	4	38		20	25	2		1		8	25	7
17	4.23～ 4.29	260	14	6	38		22	25	1		1	1	6	25	5
18	4.30～ 5. 6	253	5	3	37		11	25					6	25	3
19	5. 7～ 5.13	264	25	3	38	1	36	25		1	2	2	8	25	2
20	5.14～ 5.20	263	17	3	38	1	35	25			3	1	2	25	2
21	5.21～ 5.27	261	11	6	38		23	25	1	2	1		3	25	0
22	5.28～ 6. 3	262	20	2	38		23	25	1		3	1	4	25	1
23	6. 4～ 6.10	263	17	6	38	2	19	25			2			25	0
24	6.11～ 6.17	262	20	5	38		25	25	1	2	1	1	2	25	2
25	6.18～ 6.24	262	15	5	38		24	25	2		2	1	1	25	1
26	6.25～ 7. 1	262	26	6	37		17	25			1	2		25	0
27	7. 2～ 7. 8	263	35	4	38		28	25			8	1	1	25	0
28	7. 9～ 7.15	260	31	3	38	1	20	25	1		4			25	0
29	7.16～ 7.22	259	27	1	38	1	26	25	1	3			1	25	0
30	7.23～ 7.29	257	36	2	38		34	25	1	1	2			25	2
31	7.30～ 8. 5	258	40	5	38		35	25	2		3	1		25	0
32	8. 6～ 8.12	239	24	3	36		38	25			2	1		25	0
33	8.13～ 8.19	230	17	2	33		15	25	2	3	5	1		25	0
34	8.20～ 8.26	248	40	7	36	1	50	25			5			25	1
35	8.27～ 9. 2	254	42	8	38		36	25	1		6	1		25	0
36	9. 3～ 9. 9	261	51	5	37		30	25			6			25	0
37	9.10～ 9.16	259	38	6	38		30	25		1	1			25	0
38	9.17～ 9.23	260	25	2	38		9	25		3	6			25	1
39	9.24～ 9.30	259	28	4	38		14	25	1		6	3		25	0
40	10. 1～10. 7	260	34	2	38		25	25			4			25	1
41	10. 8～10.14	263	44	3	38	1	21	25		2	7			25	0
42	10.15～10.21	260	43	3	38		20	25	1		5	1		25	0
43	10.22～10.28	262	38	4	38	2	23	25		1	16			25	1
44	10.29～11. 4	261	33	2	38	1	22	25	3	1	12			25	0
45	11. 5～11.11	263	30	3	38		21	25	1	3	12			25	1
46	11.12～11.18	262	17	6	37		12	25			13	1	1	25	1
47	11.19～11.25	262	22	4	38		15	25			10		1	25	0
48	11.26～12. 2	263	21	3	38		22	25	1		17	3		25	15
49	12. 3～12. 9	262	16	7	38		13	25	1		8			25	3
50	12.10～12.16	263	14	4	37		20	25			7		1	25	5
51	12.17～12.23	262	8	8	38		21	25	1		17	1	2	25	20
52	12.24～12.30	249	13	1	33		16	25		1	6			25	37
合 計		1,073	214			14	1,060		32	33	230	40	110		1,113

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

週	期間	報告 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 1~ 1. 7	404	10.78	253	0.21	0.18	0.90	3.02	0.43	0.04	0.08	0.21		0.06
2	1. 8~ 1.14	414	22.84	261	0.20	0.28	1.86	6.42	0.42	0.10	0.13	0.46	0.01	0.07
3	1.15~ 1.21	415	49.67	262	0.27	0.26	2.72	7.04	0.31	0.08	0.19	0.47	0.01	0.05
4	1.22~ 1.28	416	54.10	263	0.33	0.17	2.74	5.42	0.20	0.09	0.12	0.41	0.00	0.10
5	1.29~ 2. 4	416	53.13	263	0.32	0.17	2.38	5.77	0.27	0.08	0.10	0.29	0.01	0.07
6	2. 5~ 2.11	414	39.56	262	0.26	0.21	2.80	5.01	0.25	0.05	0.09	0.42	0.03	0.08
7	2.12~ 2.18	416	21.96	263	0.22	0.14	2.19	4.17	0.25	0.02	0.07	0.35		0.08
8	2.19~ 2.25	414	16.82	261	0.21	0.15	2.59	4.94	0.20	0.03	0.07	0.36	0.01	0.08
9	2.26~ 3. 4	414	12.05	261	0.29	0.12	2.62	5.06	0.30	0.02	0.07	0.38	0.02	0.07
10	3. 5~ 3.11	414	7.90	261	0.22	0.15	2.41	4.73	0.32	0.05	0.08	0.39		0.08
11	3.12~ 3.18	414	5.28	261	0.38	0.18	2.62	5.25	0.31	0.02	0.11	0.38	0.01	0.10
12	3.19~ 3.25	413	2.92	262	0.29	0.16	2.24	4.50	0.25	0.06	0.09	0.45	0.00	0.05
13	3.26~ 4. 1	415	1.90	261	0.26	0.20	2.12	4.54	0.32	0.03	0.18	0.47	0.00	0.05
14	4. 2~ 4. 8	413	1.09	259	0.21	0.10	1.86	4.70	0.31	0.05	0.23	0.46	0.02	0.07
15	4. 9~ 4.15	416	0.86	262	0.34	0.22	2.37	5.23	0.29	0.06	0.25	0.53	0.02	0.07
16	4.16~ 4.22	417	0.90	264	0.34	0.24	2.98	6.50	0.32	0.08	0.24	0.56	0.00	0.12
17	4.23~ 4.29	412	0.73	260	0.28	0.38	3.50	6.83	0.27	0.11	0.39	0.75	0.02	0.09
18	4.30~ 5. 6	405	0.24	253	0.16	0.27	1.41	3.32	0.23	0.06	0.28	0.42	0.03	0.05
19	5. 7~ 5.13	418	0.22	264	0.13	0.44	3.45	6.90	0.46	0.11	0.38	0.81	0.02	0.11
20	5.14~ 5.20	416	0.18	263	0.27	0.60	3.51	7.86	0.32	0.20	0.71	0.66	0.04	0.08
21	5.21~ 5.27	415	0.16	261	0.18	0.78	3.19	7.73	0.63	0.16	0.61	0.69	0.10	0.13
22	5.28~ 6. 3	416	0.15	262	0.18	0.74	3.55	7.35	0.25	0.25	0.63	0.75	0.12	0.11
23	6. 4~ 6.10	417	0.12	263	0.19	0.88	3.61	7.56	0.48	0.34	0.76	0.67	0.23	0.11
24	6.11~ 6.17	416	0.07	262	0.24	0.79	3.34	6.65	0.43	0.34	0.65	0.69	0.45	0.18
25	6.18~ 6.24	416	0.08	262	0.31	0.76	3.17	6.82	0.32	0.45	1.14	0.70	0.53	0.16
26	6.25~ 7. 1	411	0.03	262	0.37	0.76	2.95	6.39	0.40	0.73	1.23	0.68	1.36	0.17
27	7. 2~ 7. 8	417	0.07	263	0.34	0.65	2.62	5.58	0.37	0.91	1.10	0.68	1.90	0.13
28	7. 9~ 7.15	411	0.05	260	0.58	0.59	2.44	5.39	0.30	1.28	1.02	0.64	3.14	0.15
29	7.16~ 7.22	411	0.01	259	0.69	0.52	1.80	4.10	0.29	1.15	0.77	0.47	3.13	0.19
30	7.23~ 7.29	410	0.02	257	0.95	0.49	1.77	4.30	0.24	1.20	0.81	0.62	3.81	0.11
31	7.30~ 8. 5	411	0.02	258	1.44	0.38	1.57	3.93	0.21	1.16	1.04	0.54	3.52	0.08
32	8. 6~ 8.12	367	0.02	239	1.65	0.24	1.27	3.48	0.17	1.13	0.78	0.44	2.62	0.09
33	8.13~ 8.19	380	0.03	230	1.39	0.22	0.88	2.43	0.13	0.70	0.61	0.31	1.48	0.05
34	8.20~ 8.26	399	0.01	248	1.52	0.24	1.27	3.35	0.23	0.81	1.11	0.51	1.65	0.05
35	8.27~ 9. 2	408	0.02	254	2.00	0.27	1.28	3.59	0.18	0.90	1.02	0.53	1.49	0.11
36	9. 3~ 9. 9	414	0.08	261	2.08	0.24	1.54	4.27	0.22	1.14	1.06	0.56	1.19	0.11
37	9.10~ 9.16	414	0.21	259	2.12	0.29	1.49	3.90	0.16	1.34	0.98	0.48	1.01	0.13
38	9.17~ 9.23	413	0.19	260	1.39	0.19	1.31	3.47	0.21	1.23	0.84	0.48	0.63	0.11
39	9.24~ 9.30	413	0.17	259	1.26	0.20	1.44	3.44	0.22	1.19	0.88	0.46	0.64	0.10
40	10. 1~10. 7	412	0.24	260	1.31	0.21	1.56	4.13	0.22	1.86	1.30	0.52	0.65	0.12
41	10. 8~10.14	418	0.10	263	0.95	0.18	1.41	3.63	0.30	1.38	0.91	0.38	0.45	0.06
42	10.15~10.21	415	0.13	260	0.88	0.20	1.92	4.43	0.26	1.43	1.01	0.44	0.50	0.08
43	10.22~10.28	416	0.16	262	0.66	0.18	2.30	5.11	0.22	1.42	1.29	0.49	0.31	0.08
44	10.29~11. 4	412	0.20	261	0.41	0.20	2.27	5.13	0.34	1.31	1.09	0.42	0.21	0.05
45	11. 5~11.11	413	0.45	263	0.41	0.23	2.66	6.81	0.46	1.14	1.54	0.52	0.12	0.08
46	11.12~11.18	416	0.60	262	0.32	0.38	2.72	7.85	0.34	1.43	1.48	0.53	0.14	0.08
47	11.19~11.25	417	0.50	262	0.25	0.39	2.94	7.68	0.43	1.16	1.59	0.50	0.10	0.05
48	11.26~12. 2	418	0.94	263	0.27	0.43	3.24	10.79	0.76	1.13	2.19	0.52	0.07	0.10
49	12. 3~12. 9	417	1.57	262	0.24	0.48	3.49	12.03	0.56	0.82	2.39	0.47	0.08	0.13
50	12.10~12.16	417	2.68	263	0.27	0.52	3.25	12.62	0.77	0.79	2.05	0.40	0.07	0.06
51	12.17~12.23	415	7.79	262	0.24	0.40	3.59	13.64	0.67	0.69	2.10	0.39	0.03	0.06
52	12.24~12.30	394	11.54	249	0.18	0.29	2.16	9.75	0.57	0.33	1.54	0.32	0.02	0.05
	平均		6.38		0.59	0.35	2.37	5.86	0.33	0.63	0.80	0.50	0.62	0.09

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週~第52週

週	期 間	報告 定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎 病	報告 定点数 (眼科)	急性 出血性 結膜炎	流行 性角 結膜炎	報告 定点数 (基幹)	細菌 性髄 膜炎	無菌 性髄 膜炎	マイ コプラ ズマ 肺炎	(オウム 病を除く) クラミ ジア 肺炎	(ロタウ イルス による) 感染 性胃 腸炎	報告 定点数 (基幹)	イン フル エン ザ 入 院
1	1. 1~ 1. 7	253	0.01		38		0.42	25	0.04		0.04	0.04	0.04	25	3.68
2	1. 8~ 1.14	261	0.02	0.01	38		0.68	25				0.08	0.12	25	4.16
3	1.15~ 1.21	262	0.03	0.01	38		0.37	25		0.08	0.08		0.04	25	5.60
4	1.22~ 1.28	263	0.02	0.01	38		0.24	25			0.12	0.04		25	4.40
5	1.29~ 2. 4	263	0.05	0.00	38		0.24	25	0.04	0.04		0.04	0.12	25	4.92
6	2. 5~ 2.11	262	0.04	0.01	38		0.32	25	0.04	0.04			0.16	25	4.88
7	2.12~ 2.18	263	0.03	0.03	38		0.32	25	0.04		0.04	0.08		25	3.92
8	2.19~ 2.25	261	0.04	0.03	38		0.32	25	0.04	0.04	0.12		0.04	25	2.76
9	2.26~ 3. 4	261	0.03	0.02	37	0.03	0.27	25					0.20	25	1.96
10	3. 5~ 3.11	261	0.03	0.02	38	0.03	0.16	25			0.12	0.20	0.24	25	1.44
11	3.12~ 3.18	261	0.05	0.02	38		0.21	25		0.04	0.12	0.04	0.40	25	1.08
12	3.19~ 3.25	262	0.03	0.02	38	0.03	0.16	25		0.04	0.04	0.04	0.48	25	0.32
13	3.26~ 4. 1	261	0.03	0.01	38		0.21	25	0.08		0.12	0.04	0.28	25	0.44
14	4. 2~ 4. 8	259	0.02	0.02	38		0.53	25		0.08	0.20	0.08	0.12	25	0.24
15	4. 9~ 4.15	262	0.05	0.05	38		0.55	25					0.28	25	0.28
16	4.16~ 4.22	264	0.05	0.02	38		0.53	25	0.08		0.04		0.32	25	0.28
17	4.23~ 4.29	260	0.05	0.02	38		0.58	25	0.04		0.04	0.04	0.24	25	0.20
18	4.30~ 5. 6	253	0.02	0.01	37		0.30	25					0.24	25	0.12
19	5. 7~ 5.13	264	0.09	0.01	38	0.03	0.95	25		0.04	0.08	0.08	0.32	25	0.08
20	5.14~ 5.20	263	0.06	0.01	38	0.03	0.92	25			0.12	0.04	0.08	25	0.08
21	5.21~ 5.27	261	0.04	0.02	38		0.61	25	0.04	0.08	0.04		0.12	25	
22	5.28~ 6. 3	262	0.08	0.01	38		0.61	25	0.04		0.12	0.04	0.16	25	0.04
23	6. 4~ 6.10	263	0.06	0.02	38	0.05	0.50	25			0.08			25	
24	6.11~ 6.17	262	0.08	0.02	38		0.66	25	0.04	0.08	0.04	0.04	0.08	25	0.08
25	6.18~ 6.24	262	0.06	0.02	38		0.63	25	0.08		0.08	0.04	0.04	25	0.04
26	6.25~ 7. 1	262	0.10	0.02	37		0.46	25			0.04	0.08		25	
27	7. 2~ 7. 8	263	0.13	0.02	38		0.74	25			0.32	0.04	0.04	25	
28	7. 9~ 7.15	260	0.12	0.01	38	0.03	0.53	25	0.04		0.16			25	
29	7.16~ 7.22	259	0.10	0.00	38	0.03	0.68	25	0.04	0.12			0.04	25	
30	7.23~ 7.29	257	0.14	0.01	38		0.89	25	0.04	0.04	0.08			25	0.08
31	7.30~ 8. 5	258	0.16	0.02	38		0.92	25	0.08		0.12	0.04		25	
32	8. 6~ 8.12	239	0.10	0.01	36		1.06	25			0.08	0.04		25	
33	8.13~ 8.19	230	0.07	0.01	33		0.45	25	0.08	0.12	0.20	0.04		25	
34	8.20~ 8.26	248	0.16	0.03	36	0.03	1.39	25			0.20			25	0.04
35	8.27~ 9. 2	254	0.17	0.03	38		0.95	25	0.04		0.24	0.04		25	
36	9. 3~ 9. 9	261	0.20	0.02	37		0.81	25			0.24			25	
37	9.10~ 9.16	259	0.15	0.02	38		0.79	25		0.04	0.04			25	
38	9.17~ 9.23	260	0.10	0.01	38		0.24	25		0.12	0.24			25	0.04
39	9.24~ 9.30	259	0.11	0.02	38		0.37	25	0.04		0.24	0.12		25	
40	10. 1~10. 7	260	0.13	0.01	38		0.66	25			0.16			25	0.04
41	10. 8~10.14	263	0.17	0.01	38	0.03	0.55	25		0.08	0.28			25	
42	10.15~10.21	260	0.17	0.01	38		0.53	25	0.04		0.20	0.04		25	
43	10.22~10.28	262	0.15	0.02	38	0.05	0.61	25		0.04	0.64			25	0.04
44	10.29~11. 4	261	0.13	0.01	38	0.03	0.58	25	0.12	0.04	0.48			25	
45	11. 5~11.11	263	0.11	0.01	38		0.55	25	0.04	0.12	0.48			25	0.04
46	11.12~11.18	262	0.06	0.02	37		0.32	25			0.52	0.04	0.04	25	0.04
47	11.19~11.25	262	0.08	0.02	38		0.39	25			0.40		0.04	25	
48	11.26~12. 2	263	0.08	0.01	38		0.58	25	0.04		0.68	0.12		25	0.60
49	12. 3~12. 9	262	0.06	0.03	38		0.34	25	0.04		0.32			25	0.12
50	12.10~12.16	263	0.05	0.02	37		0.54	25			0.28		0.04	25	0.20
51	12.17~12.23	262	0.03	0.03	38		0.55	25	0.04		0.68	0.04	0.08	25	0.80
52	12.24~12.30	249	0.05	0.00	33		0.48	25		0.04	0.24			25	1.48
平 均			0.08	0.02		0.01	0.54		0.02	0.03	0.18	0.03	0.08		0.86

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)										
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	
千代田	4	1,020	3	31	10	120	215	20	43	30	37	37	6
中央区	5	1,468	3	51	80	414	1,784	87	309	151	120	95	26
みなと	9	2,559	6	304	97	714	1,379	98	205	153	138	170	40
新宿区	12	3,089	8	584	161	994	1,977	77	176	53	143	131	7
文京	7	2,155	4	46	63	329	1,087	66	153	155	120	85	17
台東	7	1,628	4	181	178	698	2,245	64	531	261	215	187	30
墨田区	8	2,170	5	192	66	264	899	54	304	223	146	135	10
江東区	14	4,065	9	356	201	1,084	4,717	131	333	445	264	212	44
品川区	12	2,040	8	201	133	516	2,133	105	179	285	173	182	19
目黒区	8	1,975	5	249	37	665	1,727	81	204	184	107	202	22
大田区	21	6,561	13	555	428	1,711	5,313	232	260	377	339	482	44
世田谷	25	7,853	16	569	260	1,938	4,593	376	424	759	308	536	55
渋谷区	7	1,363	4	29	21	143	997	61	108	138	61	81	1
中野区	11	3,612	7	176	103	1,121	2,203	124	307	214	260	203	48
杉並	16	4,862	10	183	157	674	2,625	131	224	287	203	164	30
池袋	8	1,744	5	157	50	178	452	45	46	86	23	97	4
北区	11	3,431	7	79	78	468	1,566	88	224	331	229	168	16
荒川区	7	2,614	4	340	124	748	1,498	62	492	138	202	220	19
板橋区	16	3,598	10	67	66	409	1,683	123	194	294	190	147	31
練馬区	21	6,582	13	271	205	2,592	3,758	243	378	793	341	514	87
足立	20	6,120	13	470	289	951	4,376	216	350	279	315	415	47
葛飾区	13	4,911	8	92	79	774	2,873	117	316	133	195	234	15
江戸川	19	6,428	12	278	321	1,713	4,197	176	350	261	260	591	94
八王子市	18	9,104	11	554	279	2,082	5,463	245	406	951	298	498	107
町田市	13	5,623	8	94	33	1,453	3,582	245	205	417	207	232	69
西多摩	14	4,982	8	49	117	695	1,324	88	107	242	119	104	30
南多摩	14	5,698	9	275	140	842	1,734	179	159	375	251	281	69
多摩立川	21	6,641	14	259	64	1,716	2,759	208	350	529	258	313	56
多摩府中	33	12,038	21	473	346	2,861	5,697	396	532	998	675	747	109
多摩小平	23	10,774	15	663	485	3,228	4,419	352	535	1,191	569	721	88
島しょ	2	554	1	2		25	7	25	48		5	4	6
合計	419	137,262	264	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246
定点当たり報告数		331.57		30.49	17.96	123.25	304.52	17.35	32.65	41.36	26.05	32.01	4.79
前年定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	26.54	11.16
当年/前年		1.06		0.88	0.64	1.05	0.93	0.88	0.25	8.21	0.96	1.21	0.43

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週~第52週

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる)感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	7	2				2			25		4	57
中央区	3	25	5	1		103							
みなと	6	7	12				1	1		37	7		55
新宿区	8	25	45	2	1	13	2	4	6	28	2	5	45
文京	4		5	1		21	1						40
台東	4	23	5										
墨田区	5	47	1	1		3	1	4		27		5	57
江東区	9	23	5	1		69							
品川区	8	7	3	1		13							
目黒区	5	18	5	1		5							
大田区	13	56	16	2		77	1						
世田谷	16	143	7	2	2	44	2	4	16	3		11	148
渋谷区	4	15		1		78	1			21		14	23
中野区	7	11	4	1		31							
杉並	10	37	14	1		38	2			8		5	137
池袋	5	1	3	1		60	1			12	10	10	
北区	7	8		1	3	19							
荒川区	4	2	2	1		42							
板橋区	10	47	2	2	2	58	1	1		4		6	58
練馬区	13	33	10	2		39							
足立	13	10	3	2		72							
葛飾区	8	47		1		11	1		1	15	2	31	109
江戸川	12	38	8	2	2	59							
八王子市	11	54	8	2	1	70	1						35
町田市	8	57	5	1									
西多摩	8		2	1		2	1		1				19
南多摩	9	2	2	1		2							
多摩立川	14	47	5	2	1	7	1			3			29
多摩府中	21	189	16	3	2	92	3	14	5	39	19	8	192
多摩小平	15	94	19	2		32	2	4	4	8		11	108
島しょ	1						1						1
合計	264	1,073	214	39	14	1,060	25	32	33	230	40	110	1,113
定点当たり報告数		4.14	0.82		0.37	28.22		1.28	1.32	9.20	1.60	4.40	44.52
前年定点当たり報告数		4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
当年/前年		0.98	1.04		1.19	0.90		0.78	0.85	0.97	0.87	0.47	1.23

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2018年第1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	255.00	3	10.33	3.33	40.00	71.67	6.67	14.33	10.00	12.33	12.33	2.00
中央区	5	295.70	3	17.50	27.00	140.00	599.33	29.50	103.17	50.50	41.00	32.00	8.67
みなと	9	284.33	6	50.67	16.17	119.00	229.83	16.33	34.17	25.50	23.00	28.33	6.67
新宿区	12	257.42	8	73.57	20.18	124.64	247.64	9.63	22.05	6.63	17.89	16.52	0.88
文京	7	307.86	4	11.83	15.83	82.50	272.42	16.58	38.75	39.25	30.33	21.50	4.25
台東	7	237.81	4	45.25	44.50	174.50	561.25	16.00	132.75	65.25	53.75	46.75	7.50
墨田区	8	271.25	5	38.40	13.20	52.80	179.80	10.80	60.80	44.60	29.20	27.00	2.00
江東区	14	291.92	9	39.69	22.44	120.89	526.43	14.64	37.10	49.71	29.46	23.64	4.89
品川区	12	170.68	8	25.39	16.78	64.89	268.83	13.26	22.78	35.97	21.76	23.71	2.43
目黒区	8	251.00	5	49.80	7.40	133.00	345.40	16.20	40.80	36.80	21.40	40.40	4.40
大田区	21	312.44	13	44.33	33.28	132.67	411.91	18.02	20.30	29.40	26.48	39.02	3.39
世田谷	25	319.30	16	36.71	16.76	123.10	293.49	24.11	27.07	48.76	19.47	34.40	3.52
渋谷区	7	194.71	4	7.25	5.25	35.75	249.25	15.25	27.00	34.50	15.25	20.25	0.25
中野区	11	361.20	7	29.47	17.17	187.27	367.67	20.67	51.27	35.77	43.43	34.40	8.00
杉並	16	290.79	10	17.48	14.73	62.36	243.18	12.11	21.01	26.64	18.93	15.93	2.77
池袋	8	250.44	5	41.70	12.10	43.80	111.37	11.45	11.90	21.83	5.65	22.00	0.95
北区	11	322.21	7	11.48	11.30	67.83	227.29	12.77	32.57	47.97	33.08	24.69	2.29
荒川区	7	376.38	4	88.67	31.42	189.33	381.50	15.75	126.83	35.75	51.50	56.50	4.75
板橋区	16	236.63	10	6.85	6.79	41.87	170.84	12.45	19.85	29.80	19.26	15.49	3.12
練馬区	21	313.44	13	22.14	16.12	201.97	292.79	18.95	30.22	64.43	26.85	43.56	6.80
足立	20	308.03	13	36.78	22.45	74.01	341.02	16.78	27.19	21.76	24.45	32.75	3.66
葛飾区	13	377.77	8	11.50	9.88	96.75	359.13	14.63	39.50	16.63	24.38	29.25	1.88
江戸川	19	341.30	12	24.28	27.31	145.57	356.04	14.88	30.28	22.04	22.23	52.10	8.08
八王子市	18	505.86	11	50.36	25.36	189.27	496.64	22.27	36.91	86.45	27.09	45.27	9.73
町田市	13	467.03	8	11.75	4.13	181.63	447.75	30.63	25.63	52.13	25.88	29.00	8.63
西多摩	14	355.87	8	6.18	14.80	87.81	168.20	11.26	13.75	31.05	15.21	14.18	3.79
南多摩	14	407.00	9	30.56	15.56	93.56	192.67	19.89	17.67	41.67	27.89	31.22	7.67
多摩立川	21	317.17	14	18.51	4.57	122.64	197.27	14.86	25.00	37.79	18.43	22.36	4.00
多摩府中	33	367.31	21	23.81	16.90	140.38	279.38	19.60	26.62	49.11	33.23	37.59	5.42
多摩小平	23	474.05	15	45.68	33.12	219.25	301.54	23.97	36.18	81.25	38.79	50.05	5.95
島しょ	2	277.00	1	2.00		25.00	7.00	25.00	48.00		5.00	4.00	6.00
定点当たり報告数		331.57		30.49	17.96	123.25	304.52	17.35	32.65	41.36	26.05	32.01	4.79
前年定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	26.54	11.16
当年/前年		1.06		0.88	0.64	1.05	0.93	0.88	0.25	8.21	0.96	1.21	0.43

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	2.33	0.67				2			12.50		2.00	28.50
中央区	3	8.33	1.67	1		103.00							
みなと	6	1.17	2.00				1	1.00	37.00	7.00			55.00
新宿区	8	3.13	5.66	2	1.00	10.50	2	2.00	3.00	14.00	1.00	2.50	22.50
文京	4		1.25	1		21.00	1						40.00
台東	4	5.75	1.25										
墨田区	5	9.40	0.20	1		3.00	1	4.00	27.00			5.00	57.00
江東区	9	2.56	0.56	1		69.00							
品川区	8	0.88	0.38	1		13.00							
目黒区	5	3.60	1.00	1		5.00							
大田区	13	4.37	1.25	2		39.00	1						
世田谷	16	9.20	0.44	2	1.00	24.00	2	2.00	8.00	1.50		5.50	74.00
渋谷区	4	3.75		1		78.00	1		21.00			14.00	23.00
中野区	7	1.83	0.67	1		31.00							
杉並	10	3.50	1.36	1		38.00	2		4.00			2.50	68.50
池袋	5	0.25	0.70	1		60.00	1		12.00	10.00	10.00		
北区	7	1.14		1	3.00	19.00							
荒川区	4	0.50	0.50	1		42.00							
板橋区	10	4.71	0.20	2	1.00	29.00	1	1.00	4.00			6.00	58.00
練馬区	13	2.67	0.78	2		20.00							
足立	13	0.78	0.24	2		36.50							
葛飾区	8	5.88		1		11.00	1		1.00	15.00	2.00	31.00	109.00
江戸川	12	3.44	0.68	2	1.00	29.50							
八王子市	11	4.91	0.73	2	0.50	35.00	1						35.00
町田市	8	7.13	0.63	1									
西多摩	8		0.25	1		2.00	1		1.00				19.00
南多摩	9	0.22	0.22	1		2.00							
多摩立川	14	3.36	0.36	2	0.50	3.50	1		3.00				29.00
多摩府中	21	9.32	0.80	3	0.67	32.00	3	4.67	1.67	13.00	6.33	2.67	64.00
多摩小平	15	6.38	1.28	2		16.50	2	2.00	2.00	4.00		5.50	54.00
島しょ	1						1						1.00
定点当たり報告数		4.14	0.82		0.37	28.22		1.28	1.32	9.20	1.60	4.40	44.52
前年定点当たり報告数		4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
当年/前年		0.98	1.04		1.19	0.90		0.78	0.85	0.97	0.87	0.47	1.23

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2018年第1週～第52週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	234	903	32	16	704	33	45	5	74	40	
12か月未満	1,133	1,849	372	155	4,918	148	686	92	1,870	775	8
1歳	3,906	3,175	1,299	1,118	10,969	225	2,460	447	3,439	2,565	46
2歳	4,743	1,148	707	1,831	8,126	181	1,786	793	868	1,806	68
3歳	5,873	438	678	3,019	7,508	320	1,194	1,381	281	1,057	129
4歳	7,601	195	554	4,308	7,301	426	783	1,719	128	768	181
5歳	8,429	59	364	4,406	6,377	501	538	1,962	53	480	198
6歳	8,770	20	193	4,157	5,243	568	333	1,438	23	275	176
7歳	8,823	10	113	3,431	4,096	646	183	1,017	19	112	112
8歳	7,568	8	82	2,610	3,484	492	113	778	4	79	110
9歳	6,682	7	56	1,851	2,805	327	90	447	6	73	73
10～14歳	21,731	8	79	3,175	7,208	544	134	485	4	78	119
15～19歳	7,371		16	268	1,699	33	13	8		17	13
20～29歳	7,017	10	126	1,775	8,844	71	94	161	2	63	13
30～39歳	8,755										
40～49歳	12,423										
50～59歳	7,628										
60～69歳	4,528										
70～79歳	2,596										
80歳以上	1,451										
合計	137,262	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
6か月未満	22	5		4	9	13	1		4	12
12か月未満	141	24		12			2		12	19
1歳	319	63		42	1	2	12		13	46
2歳	156	45		35		2	10		11	28
3歳	106	34		27			20		6	21
4歳	70	20		27	1		11		11	19
5歳	67	18	1	37		1	9		15	16
6歳	46	1		18			17		14	26
7歳	30	3		12			13		8	16
8歳	32			7	2		15		4	17
9歳	14	1		8		2	26		2	15
10～14歳	34			37		2	37	1	8	48
15～19歳	5			26		1	7			15
20～29歳	31		4	141		2	9	3		12
30～39歳				233	3	2	10	4	1	24
40～49歳			5	200		2	13	5		33
50～59歳			3	98	3		7	3		35
60～69歳			1	56	1	2	3	5		69
70～79歳				40	6	2	4	11	1	206
80歳以上					6		4	8		436
合計	1,073	214	14	1,060	32	33	230	40	110	1,113

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	8,830	20	613	428	2,275	6,710	335	1,241	750	630	574	119
2 区南部圏	33	8,601	21	756	561	2,227	7,446	337	439	662	512	664	63
3 区西南部圏	40	11,191	25	847	318	2,746	7,317	518	736	1,081	476	819	78
4 区西部圏	39	11,563	25	943	421	2,789	6,805	332	707	554	606	498	85
5 区西北部圏	56	15,355	35	574	399	3,647	7,459	499	842	1,504	783	926	138
6 区東北部圏	40	13,645	25	902	492	2,473	8,747	395	1,158	550	712	869	81
7 区東部圏	41	12,663	26	826	588	3,061	9,813	361	987	929	670	938	148
8 西多摩圏	14	4,982	8	49	117	695	1,324	88	107	242	119	104	30
9 南多摩圏	45	20,425	28	923	452	4,377	10,779	669	770	1,743	756	1,011	245
10 北多摩西部圏	21	6,641	14	259	64	1,716	2,759	208	350	529	258	313	56
11 北多摩南部圏	33	12,038	21	473	346	2,861	5,697	396	532	998	675	747	109
12 北多摩北部圏	23	10,774	15	663	485	3,228	4,419	352	535	1,191	569	721	88
13 島しょ圏	2	554	1	2		25	7	25	48		5	4	6
合計	419	137,262	264	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	62	29	2		124	4	1		62	7	4	152
2 区南部圏	21	63	19	3		90	1						
3 区西南部圏	25	176	12	4	2	127	3	4	16	24		25	171
4 区西部圏	25	73	63	4	1	82	4	4	6	36	2	10	182
5 区西北部圏	35	89	15	6	5	176	2	1		16	10	16	58
6 区東北部圏	25	59	5	4		125	1		1	15	2	31	109
7 区東部圏	26	108	14	4	2	131	1	4		27		5	57
8 西多摩圏	8		2	1		2	1		1				19
9 南多摩圏	28	113	15	4	1	72	1						35
10 北多摩西部圏	14	47	5	2	1	7	1			3			29
11 北多摩南部圏	21	189	16	3	2	92	3	14	5	39	19	8	192
12 北多摩北部圏	15	94	19	2		32	2	4	4	8		11	108
13 島しょ圏	1						1						1
合計	264	1,073	214	39	14	1,060	25	32	33	230	40	110	1,113

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	277.31	20	30.87	21.45	113.96	336.21	16.84	62.18	37.61	31.57	28.83	5.96
2 区南部圏	33	261.08	21	37.03	26.97	106.88	357.25	16.21	21.32	31.84	24.69	33.17	3.01
3 区西南部圏	40	283.50	25	34.59	12.93	110.86	296.75	20.98	29.77	43.92	19.19	33.42	3.17
4 区西部圏	39	298.87	25	38.64	17.05	112.77	274.61	13.43	28.70	22.45	24.54	20.67	3.44
5 区西北部圏	56	285.17	35	17.54	11.93	108.26	221.56	14.81	25.54	45.32	23.36	28.67	4.09
6 区東北部圏	40	342.66	25	36.69	19.81	99.61	353.39	15.91	46.93	22.22	28.74	35.33	3.26
7 区東部圏	41	310.65	26	32.49	22.87	118.94	381.02	14.00	38.66	36.18	26.05	37.05	5.77
8 西多摩圏	14	355.87	8	6.18	14.80	87.81	168.20	11.26	13.75	31.05	15.21	14.18	3.79
9 南多摩圏	45	463.70	28	32.96	16.14	156.32	384.96	23.89	27.50	62.25	27.00	36.11	8.75
10 北多摩西部圏	21	317.17	14	18.51	4.57	122.64	197.27	14.86	25.00	37.79	18.43	22.36	4.00
11 北多摩南部圏	33	367.31	21	23.81	16.90	140.38	279.38	19.60	26.62	49.11	33.23	37.59	5.42
12 北多摩北部圏	23	474.05	15	45.68	33.12	219.25	301.54	23.97	36.18	81.25	38.79	50.05	5.95
13 島しょ圏	2	277.00	1	2.00		25.00	7.00	25.00	48.00		5.00	4.00	6.00

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	ク(オウム病を除く) ラミジア肺炎	感(ロタウイルスによる) 染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	3.10	1.46	2		62.00	4	0.25		15.50	1.75	1.00	38.00
2 区南部圏	21	3.02	0.92	3		30.17	1						
3 区西南部圏	25	7.16	0.48	4	0.50	32.50	3	1.33	5.33	8.00		8.33	57.00
4 区西部圏	25	2.98	2.57	4	0.33	27.08	4	1.00	1.50	9.00	0.50	2.50	45.50
5 区西北部圏	35	2.65	0.44	6	0.87	29.65	2	0.50		8.00	5.00	8.00	29.00
6 区東北部圏	25	2.41	0.20	4		31.42	1		1.00	15.00	2.00	31.00	109.00
7 区東部圏	26	4.25	0.55	4	0.50	33.00	1	4.00		27.00		5.00	57.00
8 西多摩圏	8		0.25	1		2.00	1		1.00				19.00
9 南多摩圏	28	4.04	0.54	4	0.25	18.00	1						35.00
10 北多摩西部圏	14	3.36	0.36	2	0.50	3.50	1			3.00			29.00
11 北多摩南部圏	21	9.32	0.80	3	0.67	32.00	3	4.67	1.67	13.00	6.33	2.67	64.00
12 北多摩北部圏	15	6.38	1.28	2		16.50	2	2.00	2.00	4.00		5.50	54.00
13 島しょ圏	1						1						1.00

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2018年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	84	10	3
2月	25	61	3	1
3月	25	64	8	
4月	25	43	12	1
5月	25	62	12	1
6月	25	73	16	
7月	25	67	9	
8月	25	68	6	
9月	25	51	5	
10月	25	67	2	
11月	25	92	12	2
12月	25	72	7	1
合計		804	102	9

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2018年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	3.36	0.40	0.12
2月	25	2.44	0.12	0.04
3月	25	2.56	0.32	
4月	25	1.72	0.48	0.04
5月	25	2.48	0.48	0.04
6月	25	2.92	0.64	
7月	25	2.68	0.36	
8月	25	2.72	0.24	
9月	25	2.04	0.20	
10月	25	2.68	0.08	
11月	25	3.68	0.48	0.08
12月	25	2.88	0.28	0.04
平均		2.68	0.34	0.03
合計		32.16	4.08	0.36
前年合計		35.24	4.20	0.12
当年/前年		0.91	0.97	3.00

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2018年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	53	31	5	5	3	
2月	40	21	1	2	1	
3月	39	25	6	2		
4月	28	15	8	4	1	
5月	35	27	6	6	1	
6月	38	35	12	4		
7月	37	30	3	6		
8月	48	20	3	3		
9月	29	22	3	2		
10月	47	20	2			
11月	54	38	7	5	1	1
12月	40	32	2	5	1	
合計	488	316	58	44	8	1

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2018年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	75	58	1	3	1	
1~4歳	26	19	15	14		
5~9歳	18	9	5	2		
10~14歳	11	13	3	4		
15~19歳	7	2	1	1		
20~24歳	5	4	1	1		
25~29歳	6	7				
30~34歳	7	6	1		1	
35~39歳	5	6	1	1		
40~44歳	17	8	1			
45~49歳	22	8			2	
50~54歳	16	6				
55~59歳	21	5		1		
60~64歳	33	5	4	2		
65~69歳	35	13	6	3	1	
70歳以上	184	147	19	12	3	1
合計	488	316	58	44	8	1
定点当たり報告数	19.52	12.64	2.32	1.76	0.32	0.04
前年定点当たり報告数	22.92	12.32	2.76	1.44	0.08	0.04
当年/前年	0.85	1.03	0.84	1.22	4.00	1.00

表9-1 月別患者報告数(性感染症) 表9-2 月別定点あたり患者報告数(性感染症)

2018年1月~12月

2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロ ーマ	淋菌 感染症	臍 トリコ モナス 症
1月	55	204	92	46	87	16
2月	55	174	67	64	86	7
3月	55	196	120	95	93	13
4月	55	199	102	109	101	10
5月	55	210	103	87	96	18
6月	55	220	79	86	78	9
7月	55	199	84	87	100	10
8月	55	227	70	93	89	6
9月	55	205	58	74	95	13
10月	55	242	72	99	86	10
11月	55	239	106	113	77	10
12月	54	236	84	98	116	6
合計		2,551	1,037	1,051	1,104	128

	報告 定点 数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロ ーマ	淋菌 感染症	臍 トリコ モナス 症
1月	55	3.71	1.67	0.84	1.58	0.29
2月	55	3.16	1.22	1.16	1.56	0.13
3月	55	3.56	2.18	1.73	1.69	0.24
4月	55	3.62	1.85	1.98	1.84	0.18
5月	55	3.82	1.87	1.58	1.75	0.33
6月	55	4.00	1.44	1.56	1.42	0.16
7月	55	3.62	1.53	1.58	1.82	0.18
8月	55	4.13	1.27	1.69	1.62	0.11
9月	55	3.73	1.05	1.35	1.73	0.24
10月	55	4.40	1.31	1.80	1.56	0.18
11月	55	4.35	1.93	2.05	1.40	0.18
12月	54	4.37	1.56	1.81	2.15	0.11
平均		3.87	1.57	1.60	1.68	0.19
合計		46.46	18.88	19.14	20.11	2.33
前年合計		41.77	23.29	18.58	20.20	2.00
当年/前年		1.11	0.81	1.03	1.00	1.16

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	117	87	63	29	31	15	65	22		16
2月	55	90	84	54	13	48	16	62	24		7
3月	55	103	93	80	40	70	25	67	26		13
4月	55	112	87	70	32	74	35	74	27		10
5月	55	113	97	73	30	64	23	66	30	1	17
6月	55	119	101	51	28	72	14	59	19		9
7月	55	111	88	48	36	53	34	74	26	1	9
8月	55	117	110	42	28	58	35	70	19	1	5
9月	55	119	86	35	23	54	20	75	20	2	11
10月	55	140	102	43	29	71	28	71	15		10
11月	55	148	91	64	42	86	27	56	21	1	9
12月	54	133	103	51	33	59	39	79	37		6
合計		1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	2.13	1.58	1.15	0.53	0.56	0.27	1.18	0.40		0.29
2月	55	1.64	1.53	0.98	0.24	0.87	0.29	1.13	0.44		0.13
3月	55	1.87	1.69	1.45	0.73	1.27	0.45	1.22	0.47		0.24
4月	55	2.04	1.58	1.27	0.58	1.35	0.64	1.35	0.49		0.18
5月	55	2.05	1.76	1.33	0.55	1.16	0.42	1.20	0.55	0.02	0.31
6月	55	2.16	1.84	0.93	0.51	1.31	0.25	1.07	0.35		0.16
7月	55	2.02	1.60	0.87	0.65	0.96	0.62	1.35	0.47	0.02	0.16
8月	55	2.13	2.00	0.76	0.51	1.05	0.64	1.27	0.35	0.02	0.09
9月	55	2.16	1.56	0.64	0.42	0.98	0.36	1.36	0.36	0.04	0.20
10月	55	2.55	1.85	0.78	0.53	1.29	0.51	1.29	0.27		0.18
11月	55	2.69	1.65	1.16	0.76	1.56	0.49	1.02	0.38	0.02	0.16
12月	54	2.46	1.91	0.94	0.61	1.09	0.72	1.46	0.69		0.11

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2018年1月～12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	164	12	25	4	36	2	87		1		313	18
中央区	3	87	23	44	5	16	3	32	2	2	1	181	34
みなと	2	97	26	180	27	95	8	53	2			425	63
新宿区	7	320	126	201	87	419	181	226	45		9	1,166	448
文京	1	39		8		9		20				76	
台東	2	23	139	7	15	7	29	10	140		38	47	361
墨田区	2	20	20	9	2	10	3	14	2		3	53	30
江東区	2	98	11	30	4	37	2	70	7			235	24
品川区	1	71	4	32	5	8		28				139	9
大田区	2	26	46		1			8	1			34	48
渋谷区	5	113	91	77	71	44	25	58	6		3	292	196
中野区	2	32		1		3		17	5		5	53	10
杉並	2	80	15	4	3	10	2	27	2		1	121	23
池袋	3	158	94	48	47	21	22	112	32	2	15	341	210
北区	1	9				17						26	
荒川区	1	1	20		7			1				2	27
板橋区	2	26	49	2	13	3	4	23	5		3	54	74
足立	2	8	44		10		3	5	9		2	13	68
江戸川	2	43	115	6	5	4	6	22	4		13	75	143
八王子市	4		76		28		8		7	1	11	1	130
町田市	1		52		17		8				10		87
多摩立川	2		156		11		4	1	17		6	1	194
多摩府中	3	7			1	1	1	4				12	2
多摩小平	1		10								2		12
合 計	55	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211
定点当たり報告数		25.90	20.56	12.27	6.61	13.47	5.99	14.90	5.21	0.11	2.22	66.65	40.59
前年定点当たり報告数		23.67	18.10	16.59	6.70	12.59	5.99	15.02	5.17	0.04	1.97	67.92	37.93
当年/前年		1.09	1.14	0.74	0.99	1.07	1.00	0.99	1.01	3.00	1.13	0.98	1.07

区中央部圏	10	410	200	264	51	163	42	202	144	3	39	1,042	476
区南部圏	3	97	50	32	6	8		36	1			173	57
区西南部圏	5	113	91	77	71	44	25	58	6		3	292	196
区西部圏	11	432	141	206	90	432	183	270	52		15	1,340	481
区西北部圏	6	193	143	50	60	41	26	135	37	2	18	421	284
区東北部圏	3	9	64		17		3	6	9		2	15	95
区東部圏	6	161	146	45	11	51	11	106	13		16	363	197
南多摩圏	5		128		45		16		7	1	21	1	217
北多摩西部圏	2		156		11		4	1	17		6	1	194
北多摩南部圏	3	7			1	1	1	4				12	2
北多摩北部圏	1		10								2		12

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2018年1月～12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	82.00	6.00	12.50	2.00	18.00	1.00	43.50		0.50		156.50	9.00
中央区	3	29.00	7.67	14.67	1.67	5.33	1.00	10.67	0.67	0.67	0.33	60.33	11.33
みなと	2	48.50	13.00	90.00	13.50	47.50	4.00	26.50	1.00			212.50	31.50
新宿区	7	46.40	18.31	29.33	12.67	60.64	26.43	32.93	6.62		1.31	169.31	65.33
文京	1	39.00		8.00		9.00		20.00				76.00	
台東	2	11.50	69.50	3.50	7.50	3.50	14.50	5.00	70.00		19.00	23.50	180.50
墨田区	2	10.00	10.00	4.50	1.00	5.00	1.50	7.00	1.00		1.50	26.50	15.00
江東区	2	49.00	5.50	15.00	2.00	18.50	1.00	35.00	3.50			117.50	12.00
品川区	1	71.00	4.00	32.00	5.00	8.00		28.00				139.00	9.00
大田区	2	13.00	23.00		0.50			4.00	0.50			17.00	24.00
渋谷区	5	22.60	18.20	15.40	14.20	8.80	5.00	11.60	1.20		0.60	58.40	39.20
中野区	2	16.00		0.50		1.50		8.50	2.50		2.50	26.50	5.00
杉並	2	40.00	7.50	2.00	1.50	5.00	1.00	13.50	1.00		0.50	60.50	11.50
池袋	3	52.67	31.33	16.00	15.67	7.00	7.33	37.33	10.67	0.67	5.00	113.67	70.00
北区	1	9.00				17.00						26.00	
荒川区	1	1.00	20.00		7.00			1.00				2.00	27.00
板橋区	2	13.00	24.50	1.00	6.50	1.50	2.00	11.50	2.50		1.50	27.00	37.00
足立	2	4.00	22.00		5.00		1.50	2.50	4.50		1.00	6.50	34.00
江戸川	2	21.50	57.50	3.00	2.50	2.00	3.00	11.00	2.00		6.5	37.50	71.50
八王子市	4		19.00		7.00		2.00		1.75	0.25	2.75	0.25	32.50
町田市	1		52.00		17.00		8.00				10.00		87.00
多摩立川	2		78.00		5.50		2.00	0.50	8.50		3.00	0.50	97.00
多摩府中	3	2.33			0.33	0.33	0.33	1.33				4.00	0.67
多摩小平	1		10.00								2.00		12.00
合 計	55	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211
定点当たり報告数		25.90	20.56	12.27	6.61	13.47	5.99	14.90	5.21	0.11	2.22	66.65	40.59

区中央部圏	10	41.00	20.00	26.40	5.10	16.30	4.20	20.20	14.40	0.30	3.90	104.20	47.60
区南部圏	3	32.33	16.67	10.67	2.00	2.67		12.00	0.33			57.67	19.00
区西南部圏	5	22.60	18.20	15.40	14.20	8.80	5.00	11.60	1.20		0.60	58.40	39.20
区西部圏	11	39.63	12.97	18.98	8.28	39.57	16.85	24.84	4.82		1.37	121.82	43.73
区西北部圏	6	32.17	23.83	8.33	10.00	6.83	4.33	22.50	6.17	0.33	3.00	70.17	47.33
区東北部圏	3	3.00	21.33		5.67		1.00	2.00	3.00		0.67	5.00	31.67
区東部圏	6	26.83	24.33	7.50	1.83	8.50	1.83	17.67	2.17		2.67	60.50	32.83
南多摩圏	5		25.60		9.00		3.20		1.40	0.20	4.20	0.20	43.40
北多摩西部圏	2		78.00		5.50		2.00	0.50	8.50		3.00	0.50	97.00
北多摩南部圏	3	2.33			0.33	0.33	0.33	1.33				4.00	0.67
北多摩北部	1		10.00								2.00		12.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳												
1~4歳								1				1
5~9歳								1				1
10~14歳												
15~19歳	19	67	6	12	4	11	10	10		4	39	104
20~24歳	208	341	41	77	75	87	144	83		26	468	614
25~29歳	323	288	73	80	139	89	158	57	2	31	695	545
30~34歳	242	201	79	47	129	55	129	32		13	579	348
35~39歳	214	101	114	43	115	33	120	18	2	13	565	208
40~44歳	146	54	110	26	86	14	100	31		11	442	136
45~49歳	119	40	82	29	62	15	80	21	1	10	344	115
50~54歳	66	16	62	14	65	6	33	18	1	5	227	59
55~59歳	47	14	44	14	32	1	15	8		4	138	41
60~64歳	18	5	23	6	14		13	4		2	68	17
65~69歳	13	2	16	8	12		8	2		1	49	13
70歳以上	7		24	7	7		8			2	46	9
合計	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211

表10 検査結果別報告数(基幹) 2018年1月~12月

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	合計
<i>Staphylococcus aureus</i>	2					2
<i>Staphylococcus sp.</i>	1					1
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1					1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1					1
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1					1
<i>Cryptococcus neoformans</i>	1					1
<i>Enterococcus faecalis</i>	1					1
<i>Listeria monocytogenes</i>	2					2
Other diarrheagenic <i>E. coli</i>	3					3
Enterovirus nt.		2				2
Mumps virus		1				1
Varicella-zoster virus		1				1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			224			224
<i>Chlamydia pneumoniae</i>				40		40
Rotavirus group A nt.					4	4
Rotavirus group unknown					94	94
Negative		8				8
記載無し	19	21	6		12	58
合計	32	33	230	40	110	445

表11 疑似症サーベイランス報告数 2018年第1週～第52週

週	期 間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	1. 1～ 1. 7	443		
2	1. 8～ 1.14	443		
3	1.15～ 1.21	443		
4	1.22～ 1.28	443		
5	1.29～ 2. 4	443		1
6	2. 5～ 2.11	443	1	
7	2.12～ 2.18	443		
8	2.19～ 2.25	443		
9	2.26～ 3. 4	443		
10	3. 5～ 3.11	443		
11	3.12～ 3.18	443		
12	3.19～ 3.25	443		
13	3.26～ 4. 1	443		
14	4. 2～ 4. 8	443		
15	4. 9～ 4.15	443		
16	4.16～ 4.22	443		
17	4.23～ 4.29	443		
18	4.30～ 5. 6	443		
19	5. 7～ 5.13	443		
20	5.14～ 5.20	443	1	
21	5.21～ 5.27	443		
22	5.28～ 6. 3	443		
23	6. 4～ 6.10	443		
24	6.11～ 6.17	443		
25	6.18～ 6.24	443		
26	6.25～ 7. 1	443		
27	7. 2～ 7. 8	443		
28	7. 9～ 7.15	443		
29	7.16～ 7.22	443		
30	7.23～ 7.29	443		
31	7.30～ 8. 5	443	1	
32	8. 6～ 8.12	443		
33	8.13～ 8.19	443		1
34	8.20～ 8.26	443		
35	8.27～ 9. 2	443		
36	9. 3～ 9. 9	443		
37	9.10～ 9.16	443		
38	9.17～ 9.23	443		
39	9.24～ 9.30	443		
40	10. 1～10. 7	443		
41	10. 8～10.14	443		
42	10.15～10.21	443		
43	10.22～10.28	443		1
44	10.29～11. 4	443		
45	11. 5～11.11	443		
46	11.12～11.18	443		
47	11.19～11.25	443		
48	11.26～12. 2	443		
49	12. 3～12. 9	443		
50	12.10～12.16	443		
51	12.17～12.23	443		
52	12.24～12.30	443		1
合 計			3	4

保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
千代田	4		
中央区	5		
みなと	9		
新宿区	13		
文京	8		
台東	7		
墨田区	9		
江東区	14		
品川区	13		
目黒区	8		
大田区	22		
世田谷	28		
渋谷区	9	3	
中野区	11		
杉並	16		
池袋	9		
北区	11		
荒川区	7		
板橋区	18		
練馬区	21		
足立	21		
葛飾区	13		
江戸川	19		
八王子市	19		1
町田市	13		
西多摩	15		1
南多摩	15		
多摩立川	23		
多摩府中	36		
多摩小平	24		2
島しょ	3		
合 計	443	3	4

年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
0歳	1	
1歳	2	1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		1
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合 計	3	4